

volume

2

COMIC
Yansae
STORY
Tarcho

生
と
ば
く
銭
賭
博

volume

2

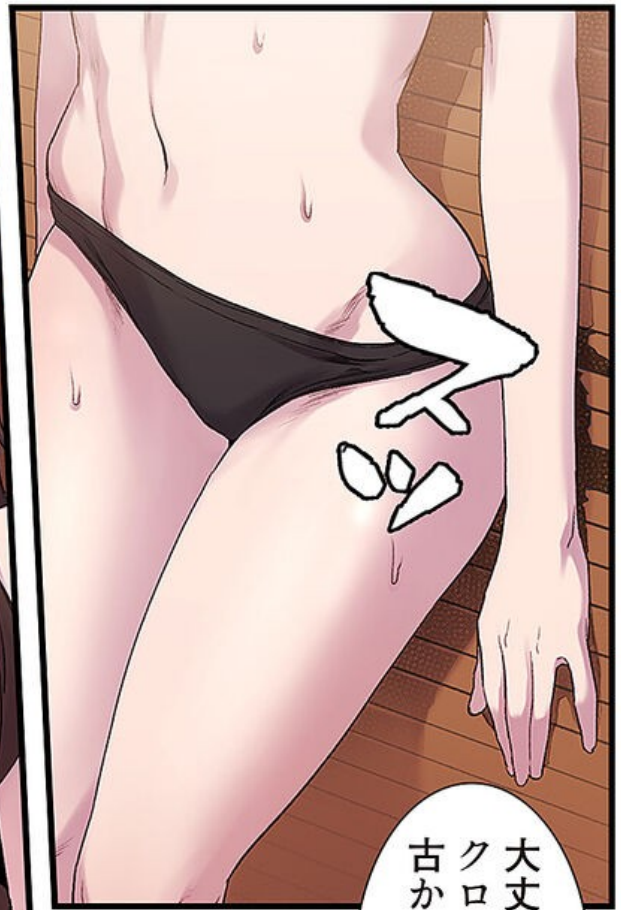
CONTENTS

- 第5話 最悪 せ
- 第6話 全部、女だ
- 第7話 新しい「仲間」
- 第8話 ねるの?

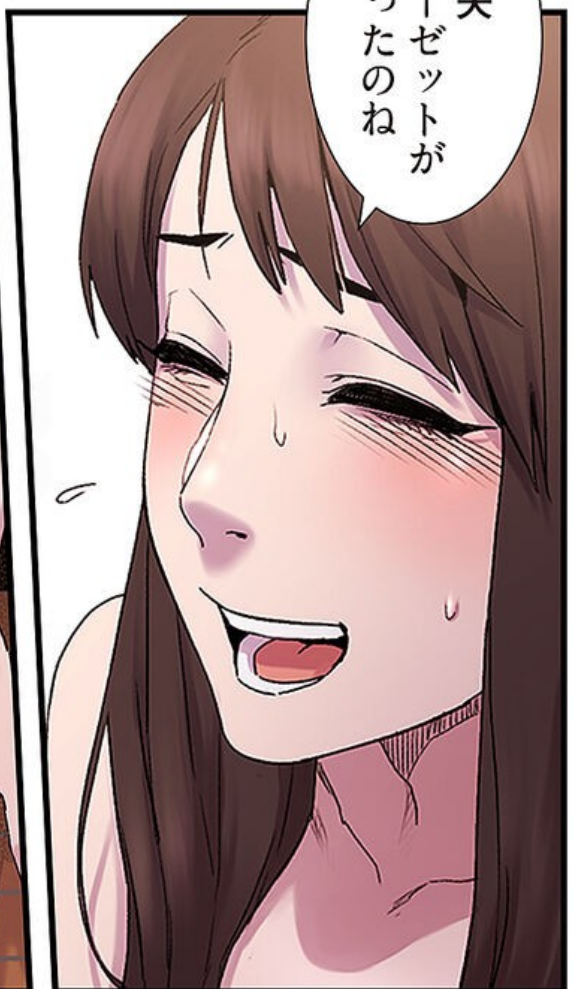
銭賭

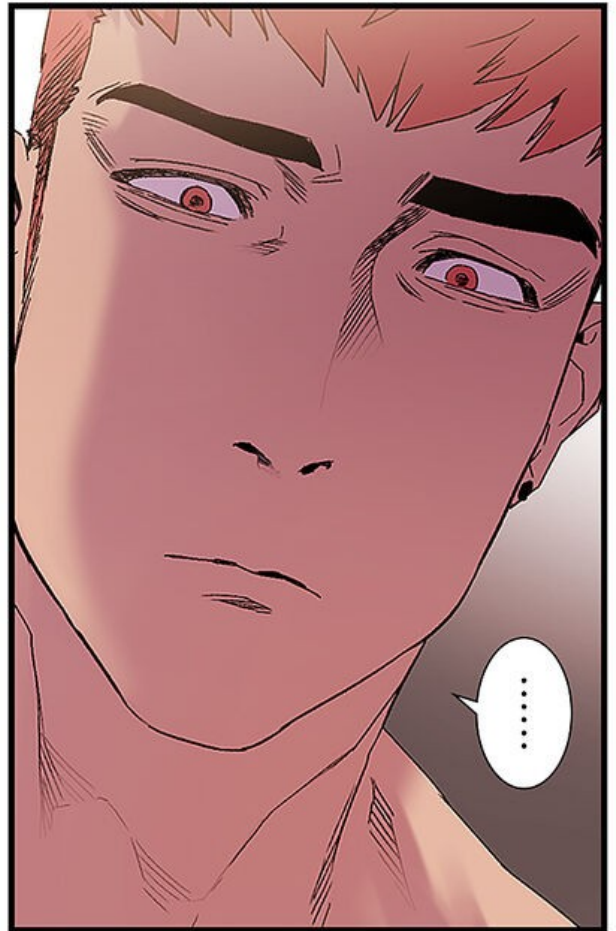


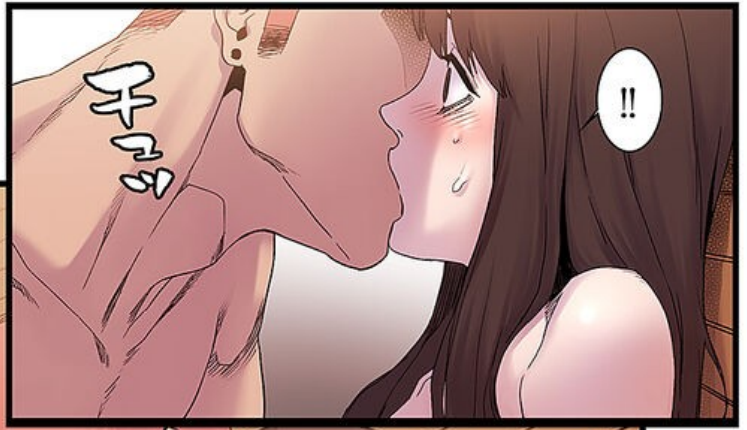
いっけい...
いっけい...

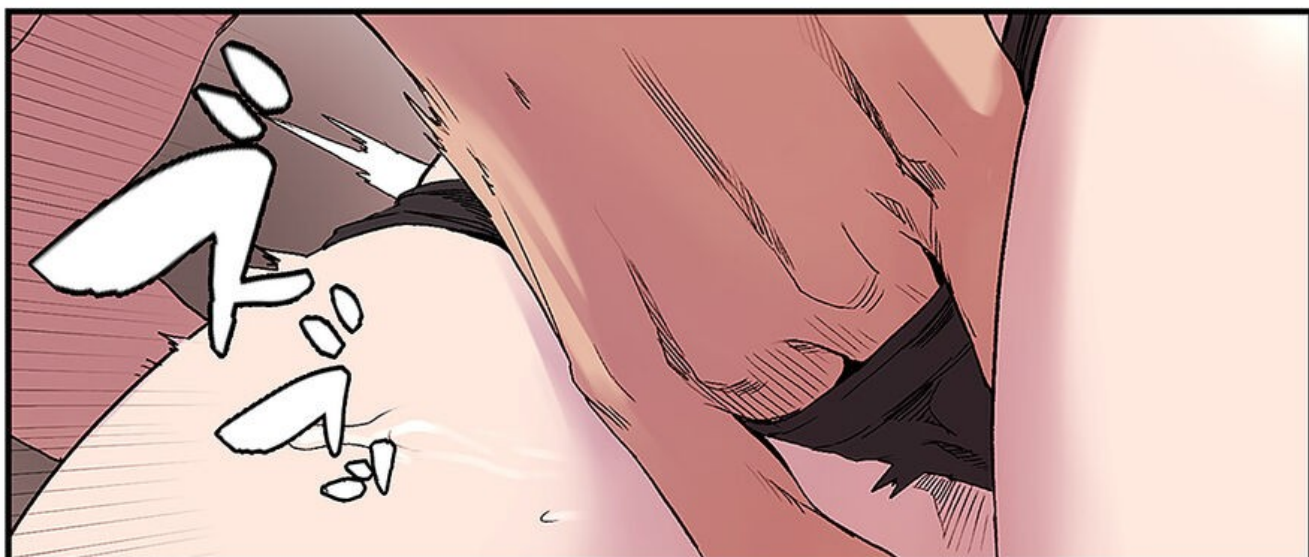


大丈夫
クローゼットが
古かったのね











日菜子ち...

こんな乱暴に扱われるべき人じゃないんだ

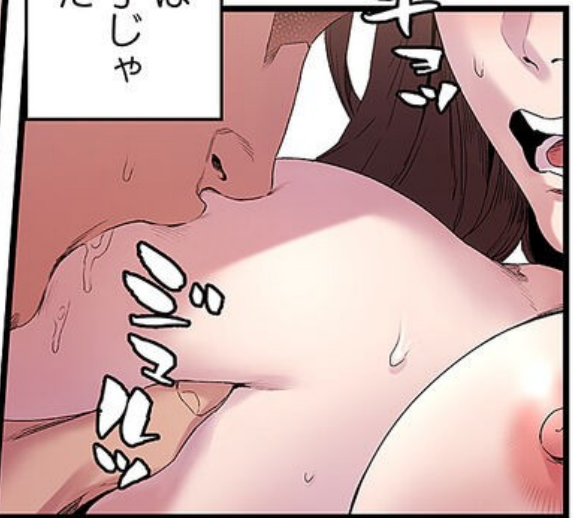


ダメだ...

日菜子はこんな扱いを受けないべきじゃない

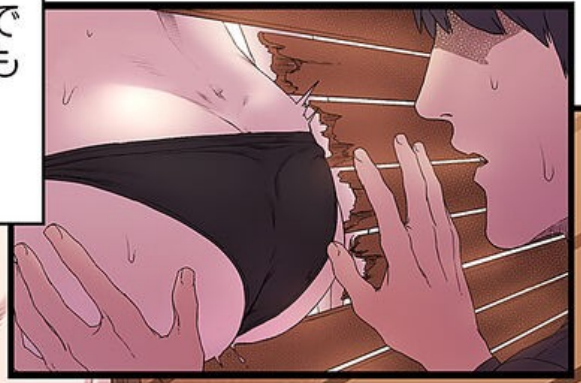


日菜子はそんな子じゃないんだ





でも
このお尻…

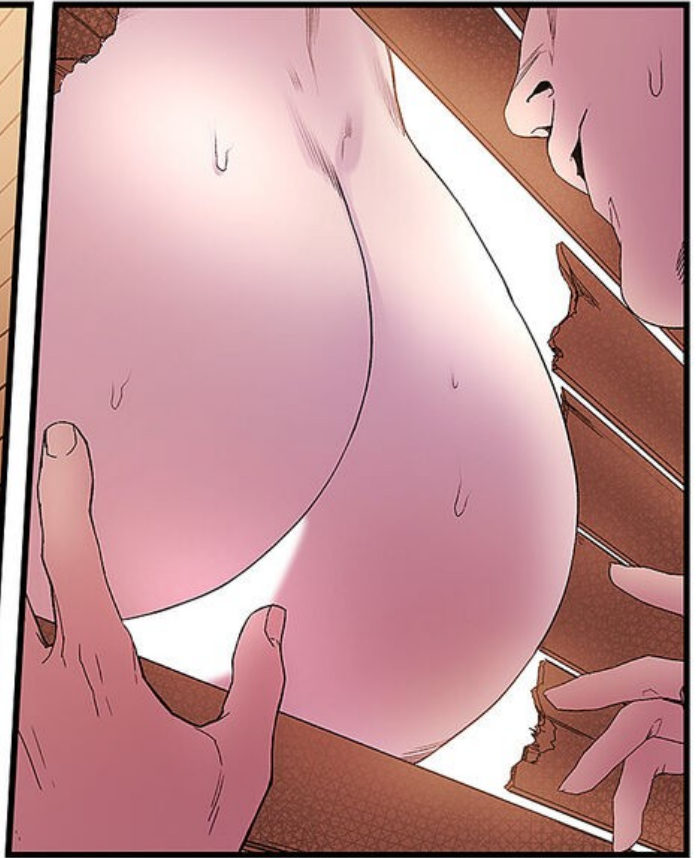


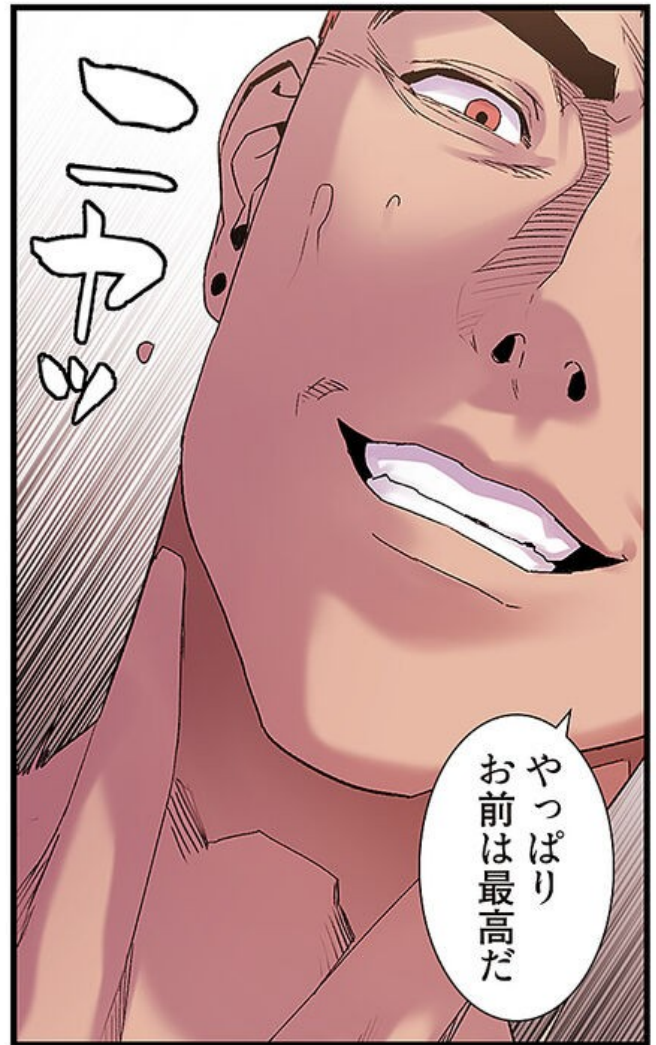
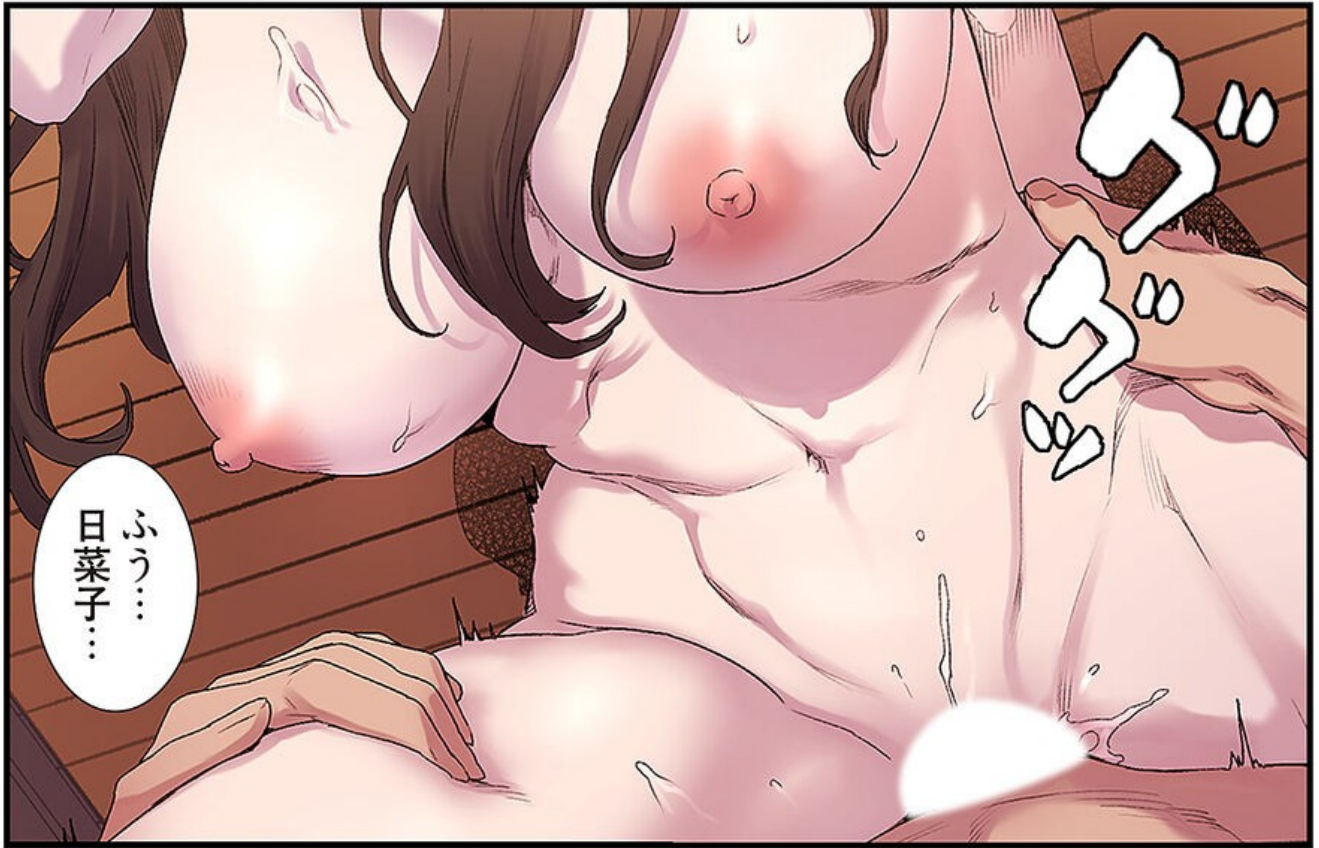
グ
グ



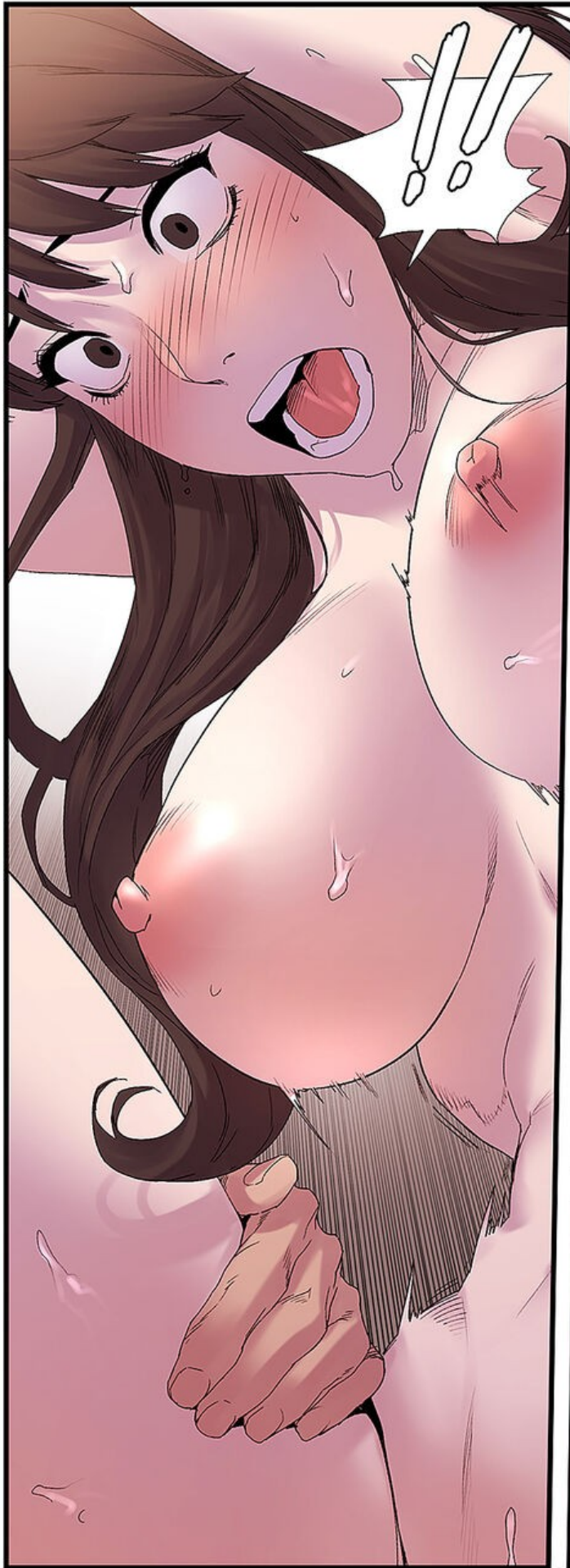
!!







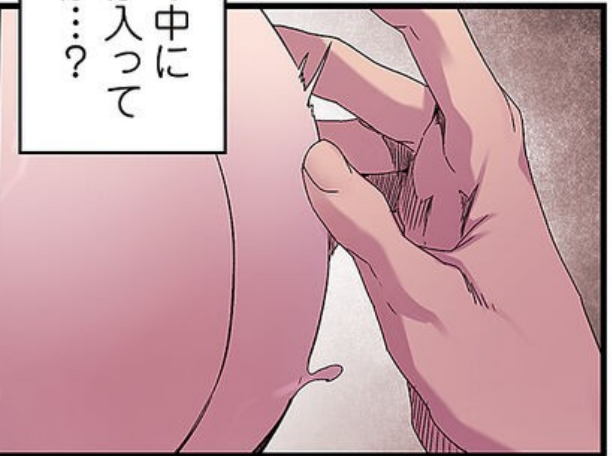


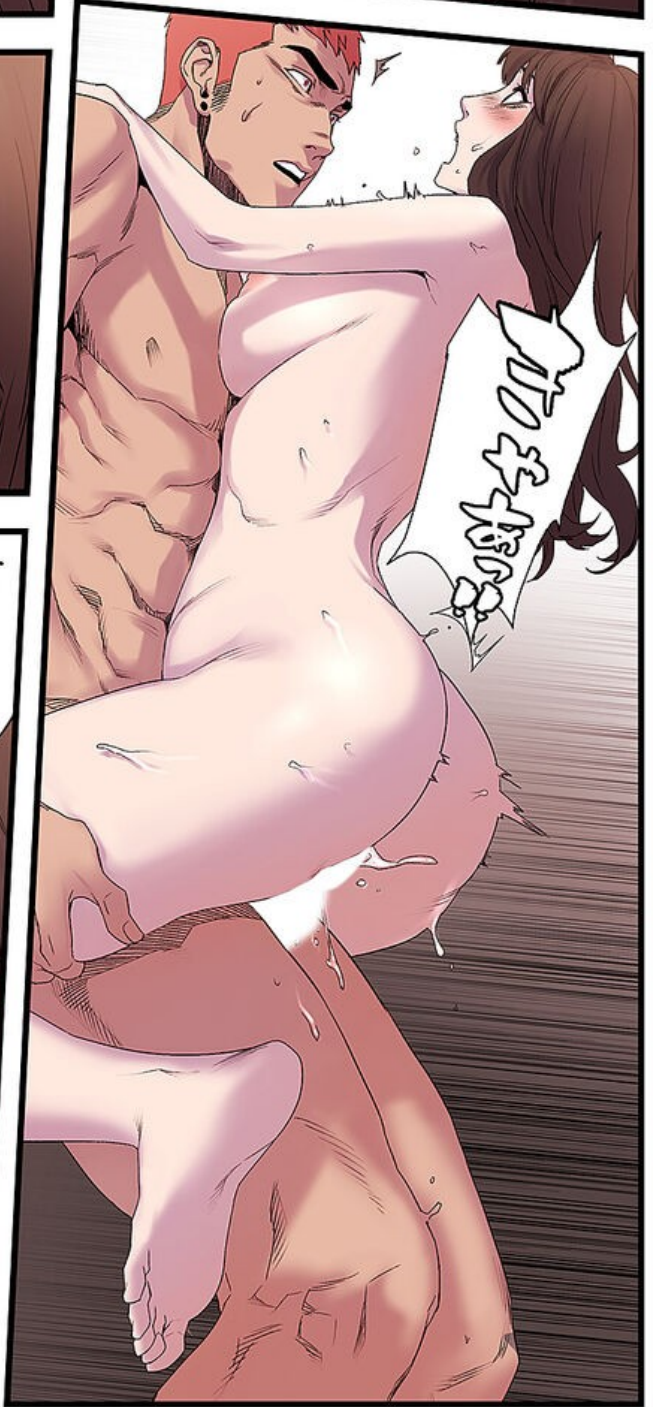
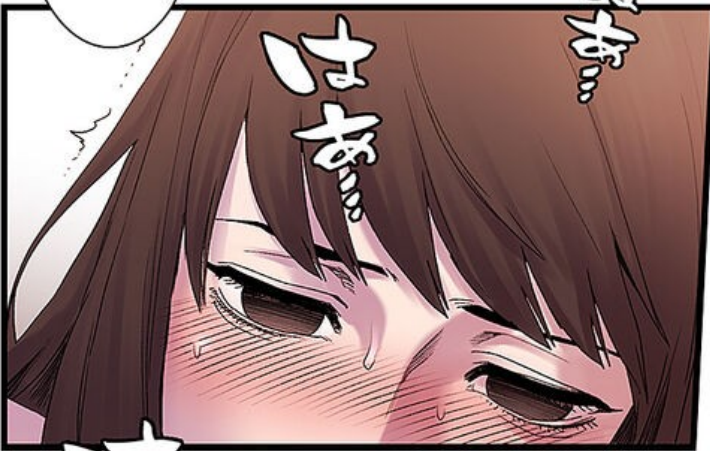
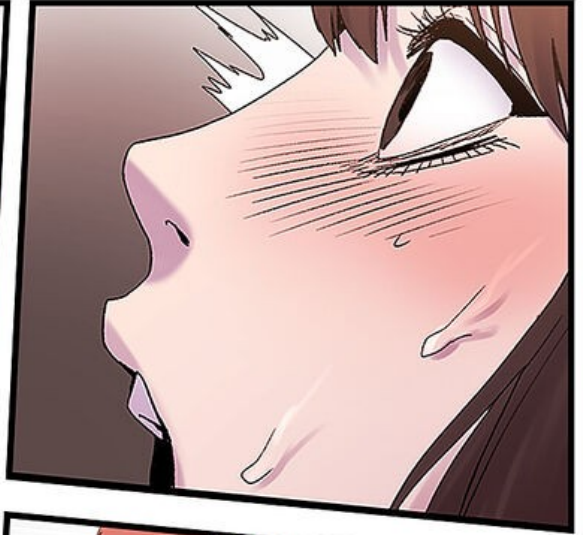
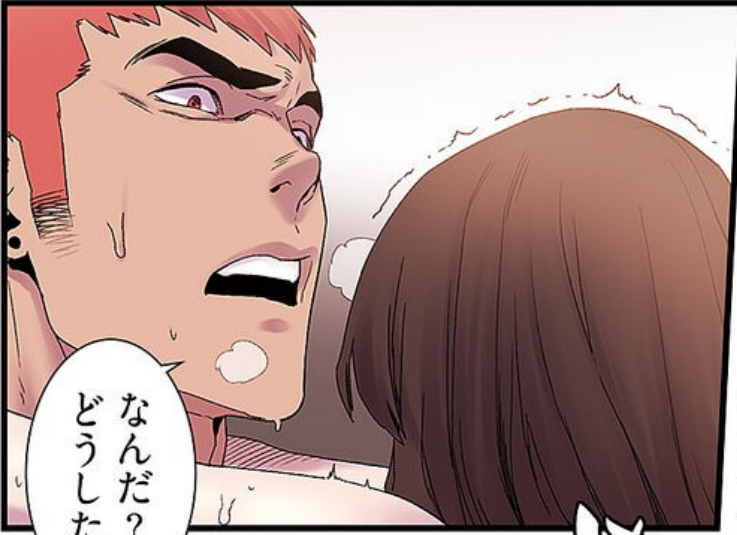


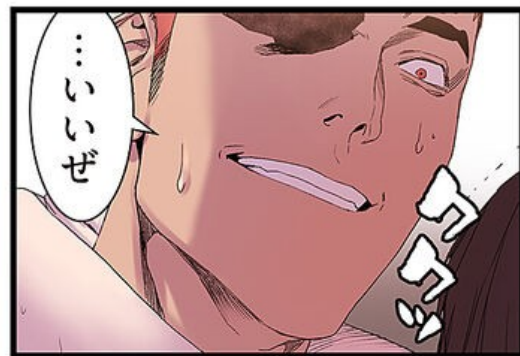
あ…
日菜子の
お尻…

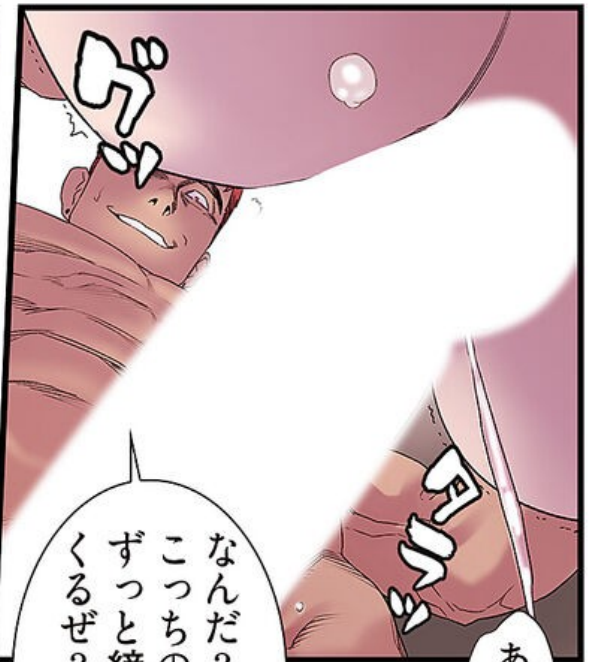
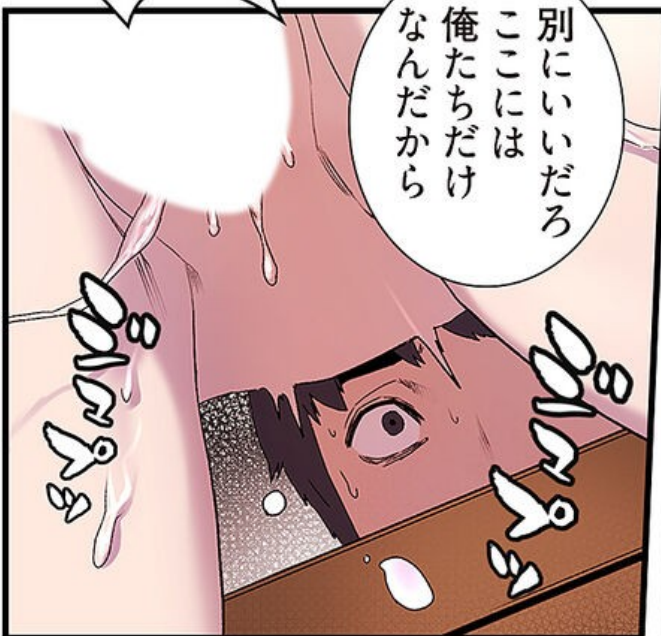
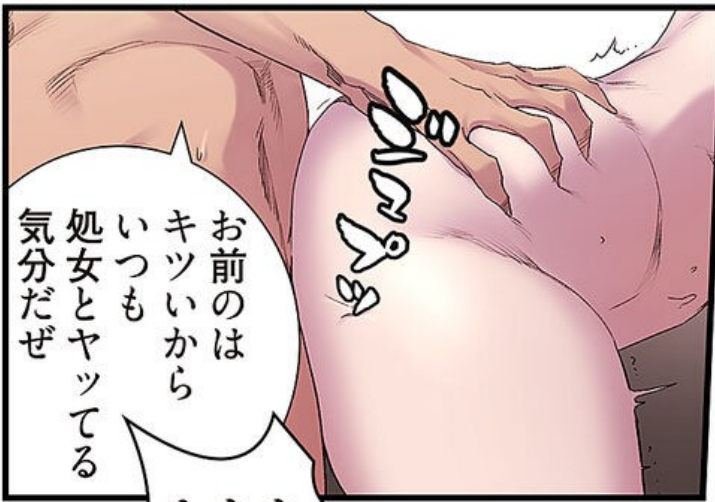


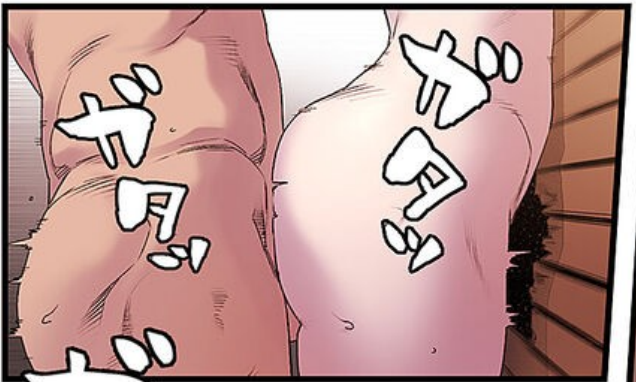
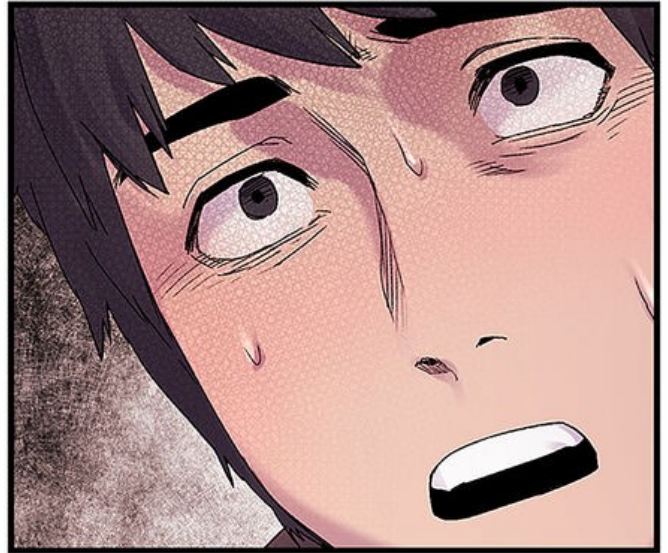
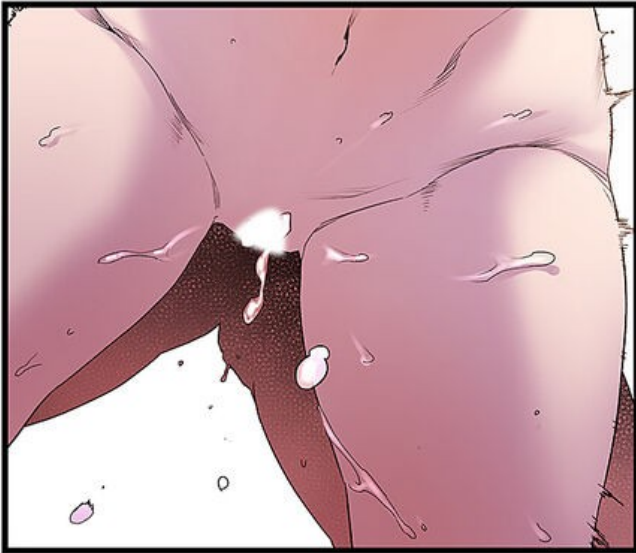
今この中に
あれが入って
るのか…？







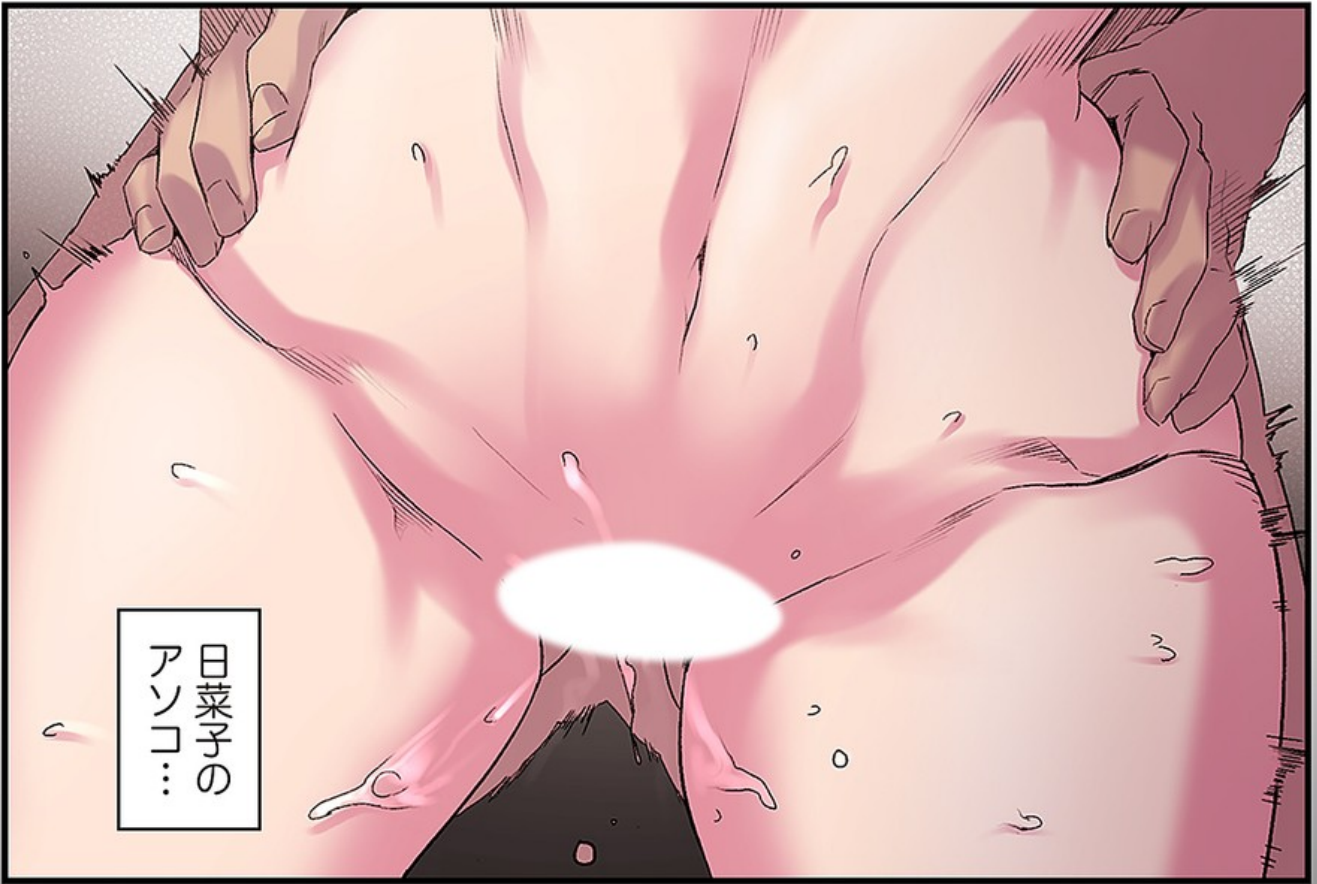


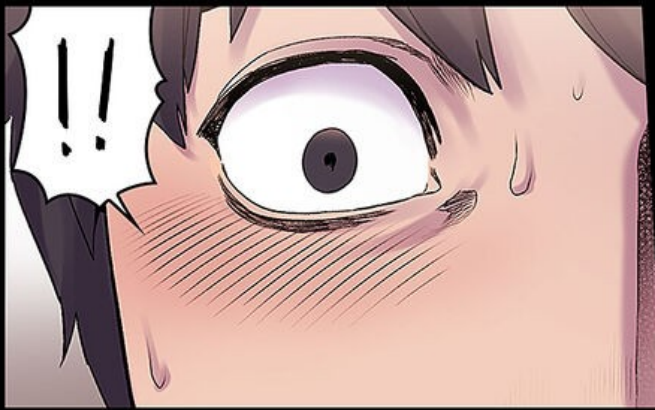
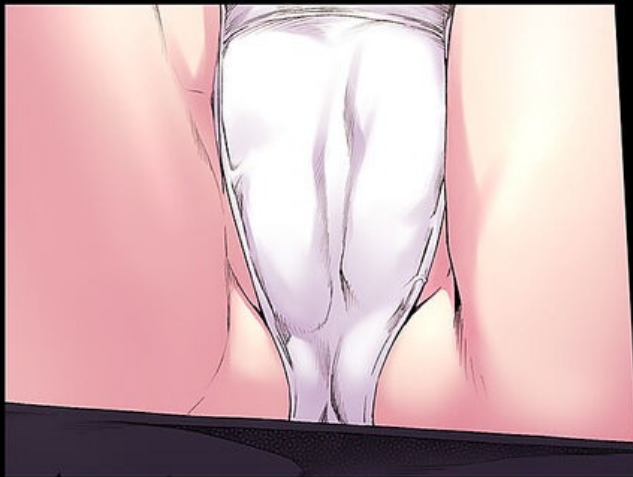


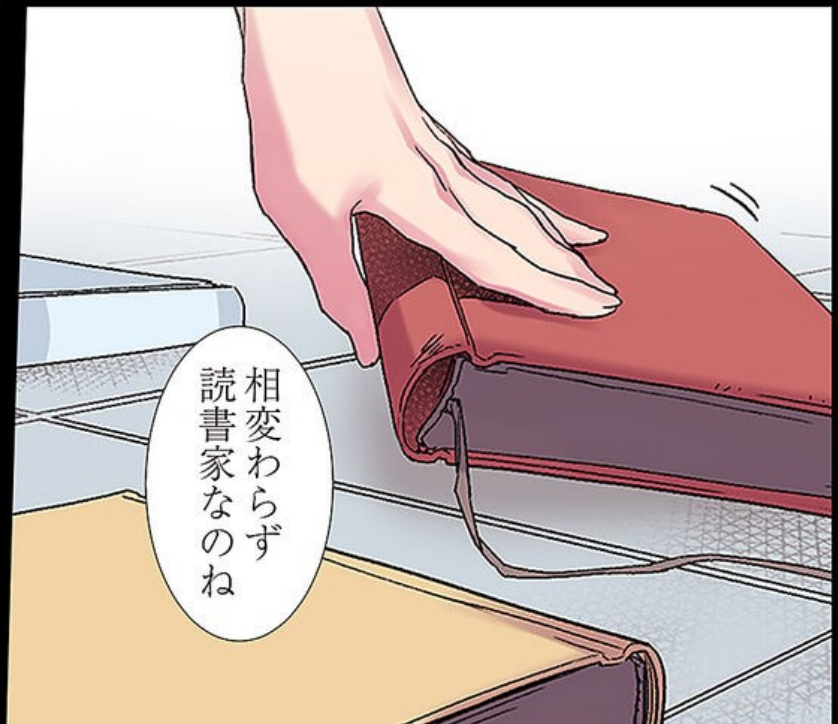


生殘賭博

生殘賭博





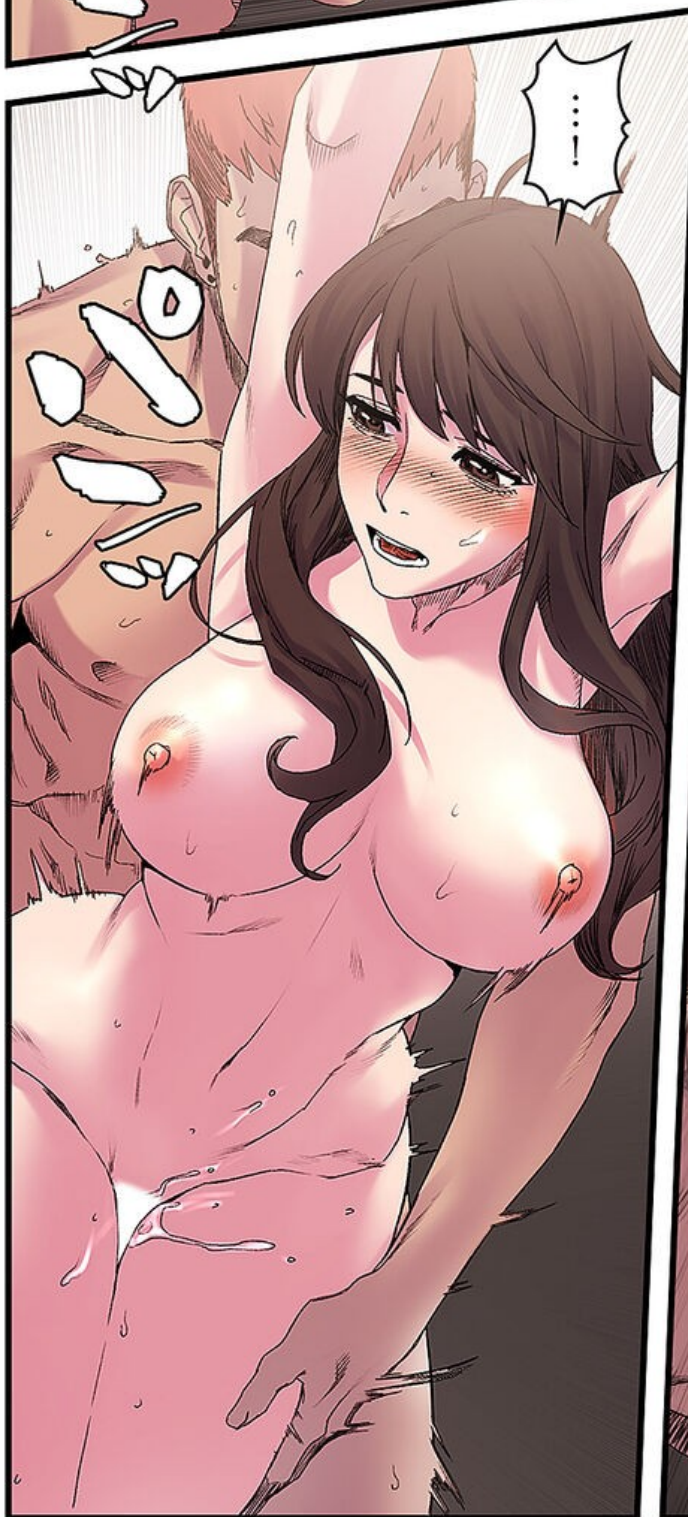
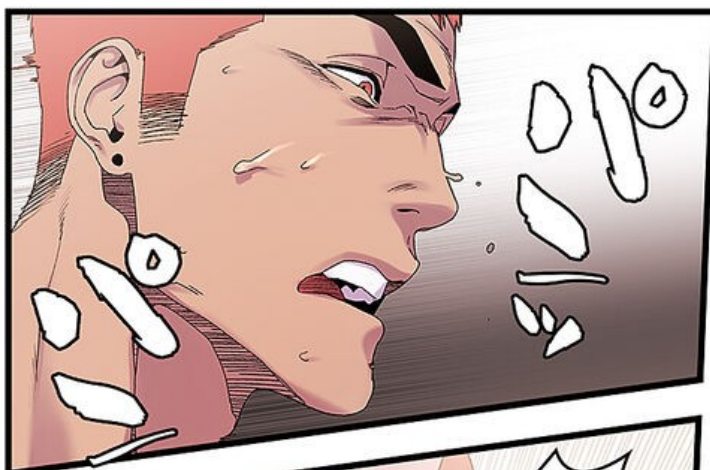


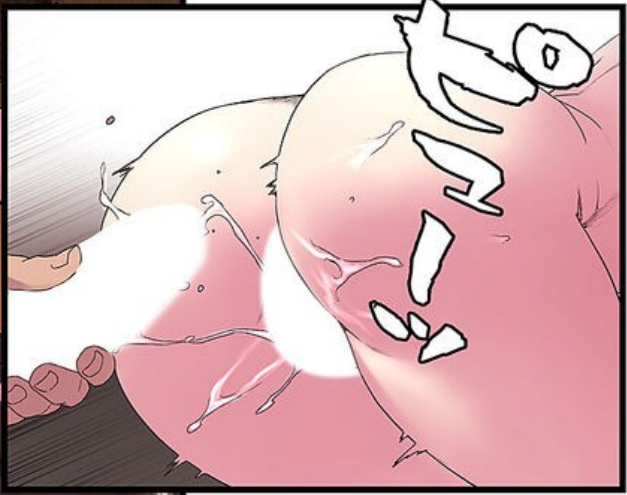


イクぞ!

ダメ!
今日私
危険日なの!

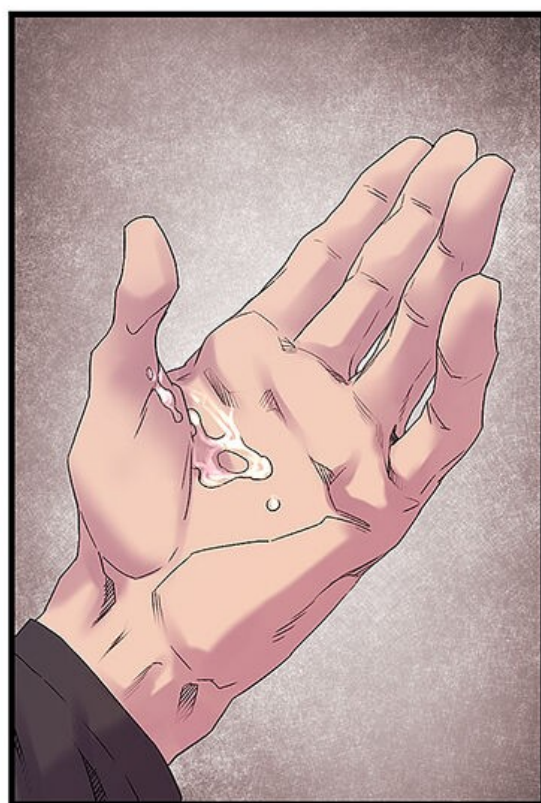
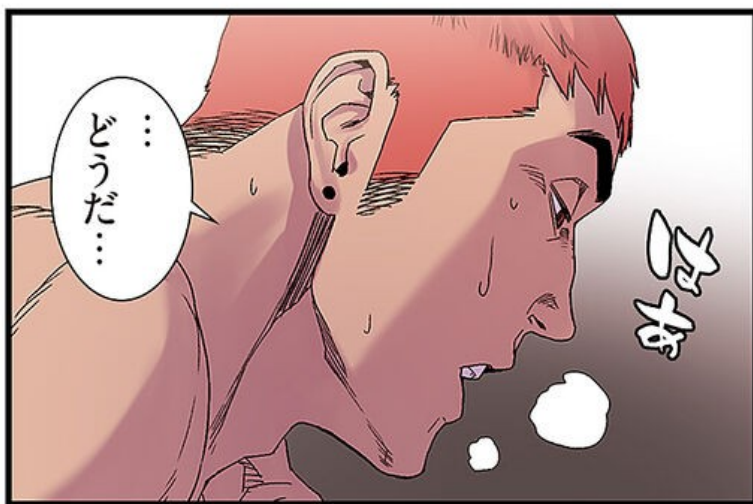


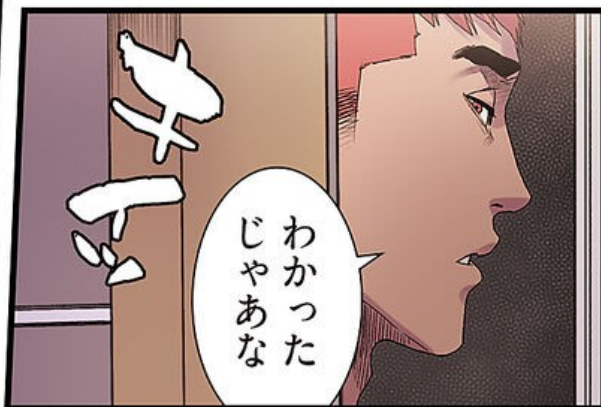
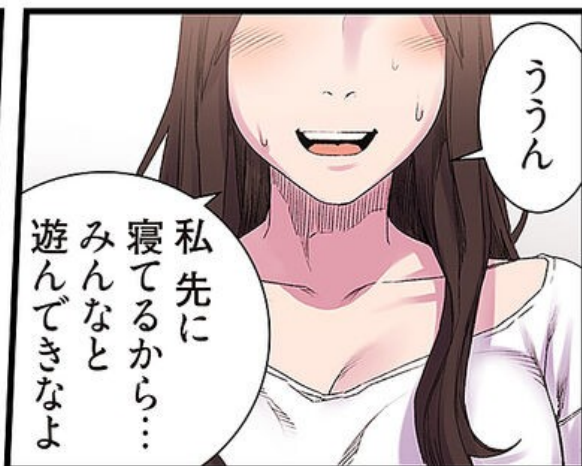


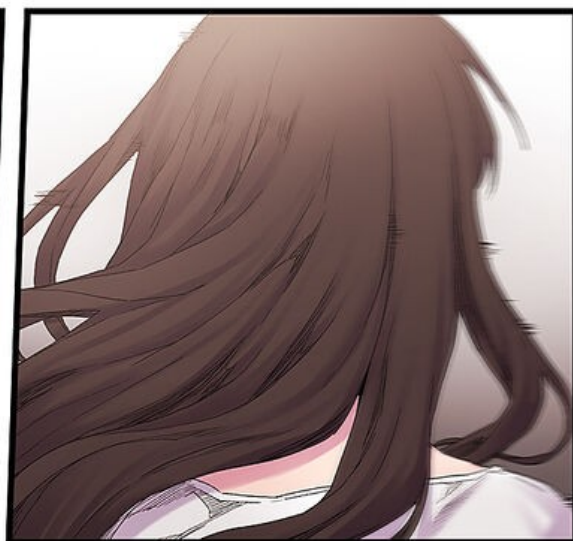
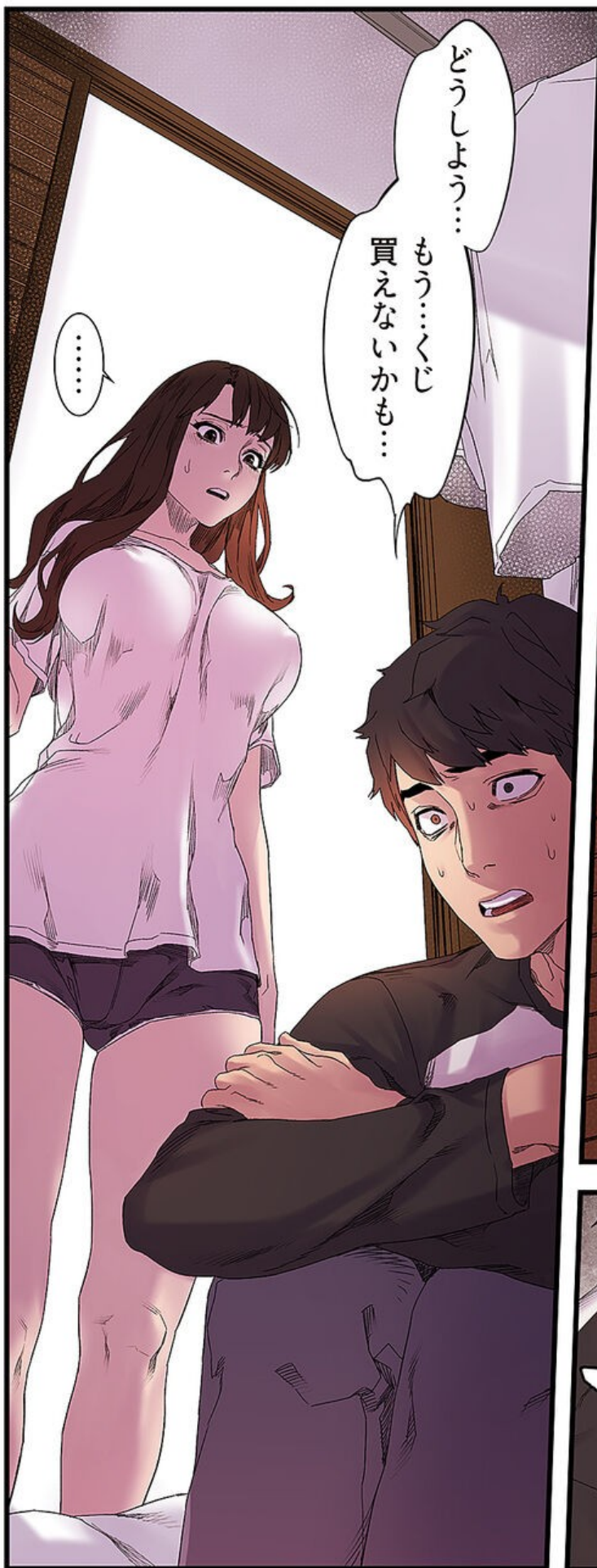


きやあつ!!

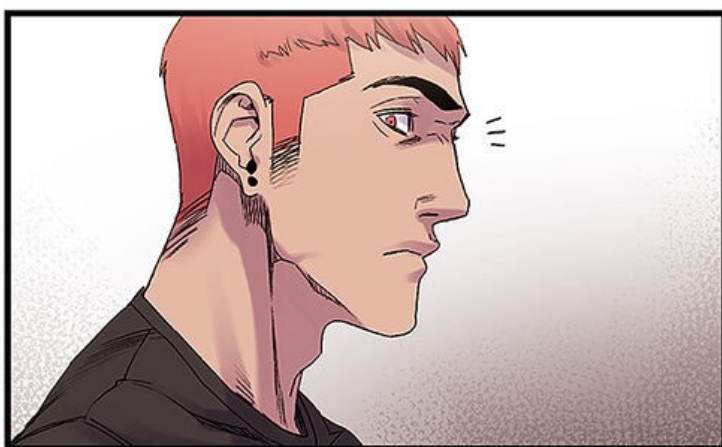
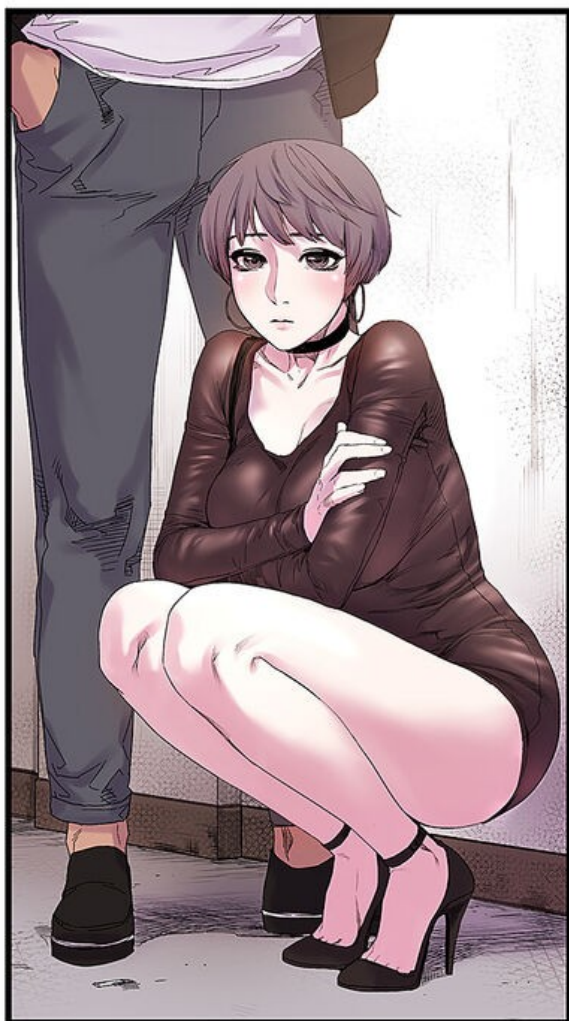




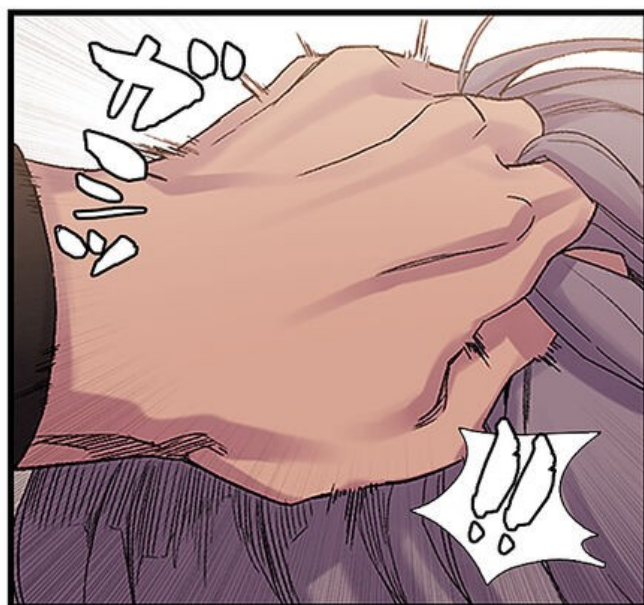
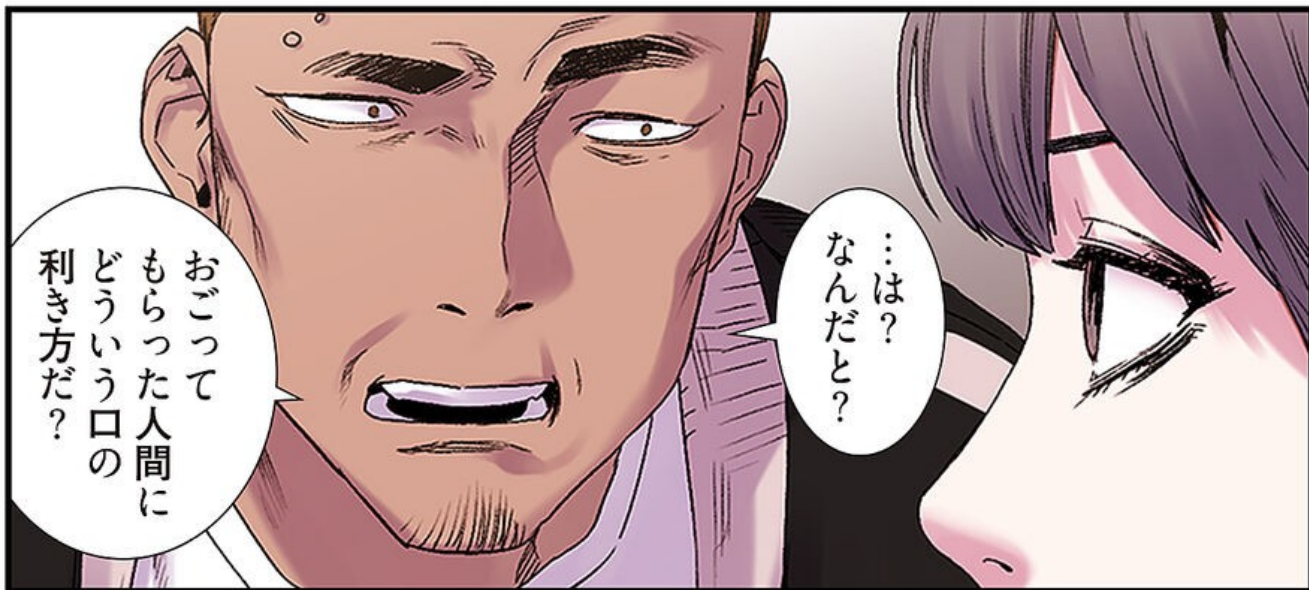


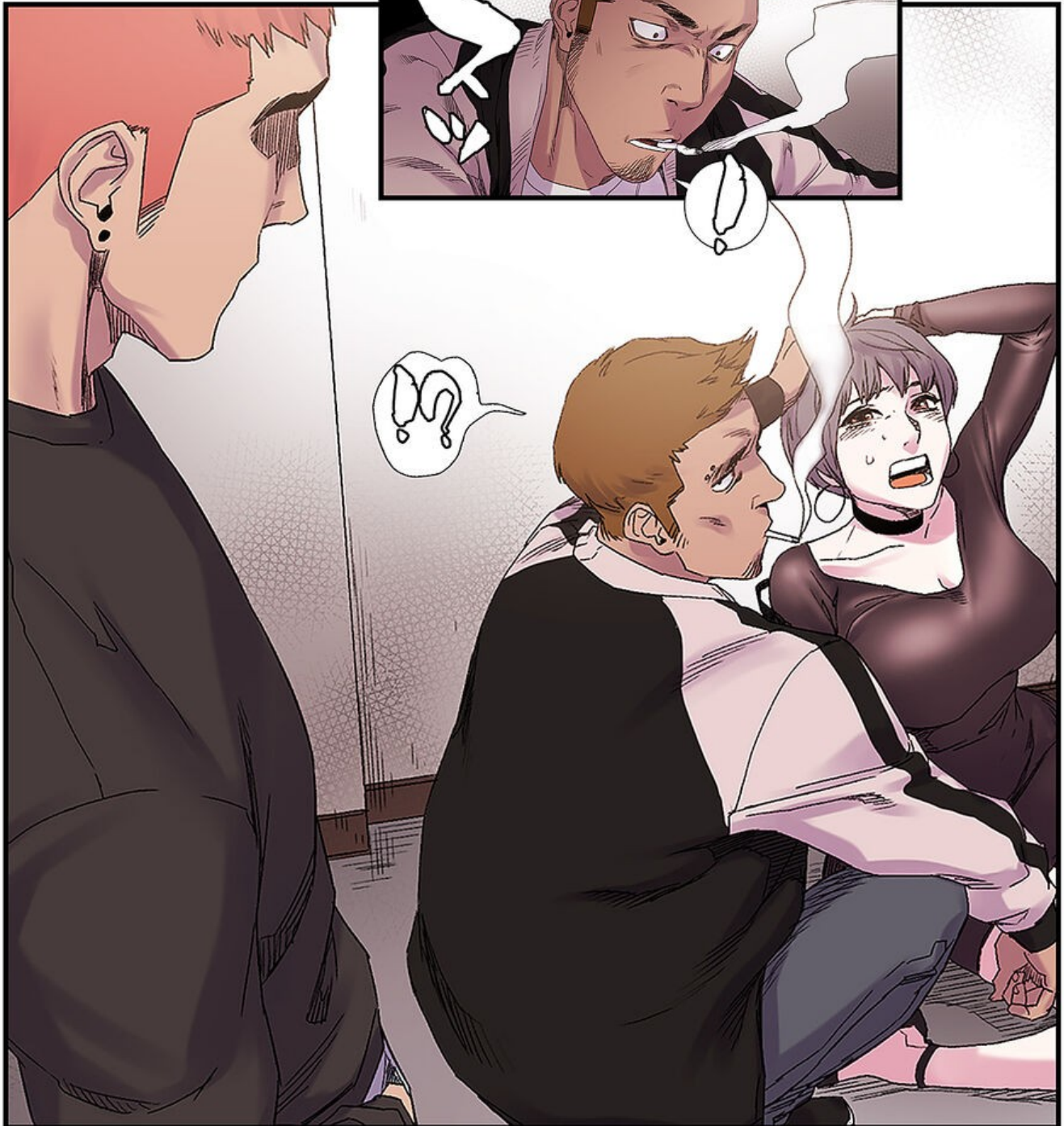
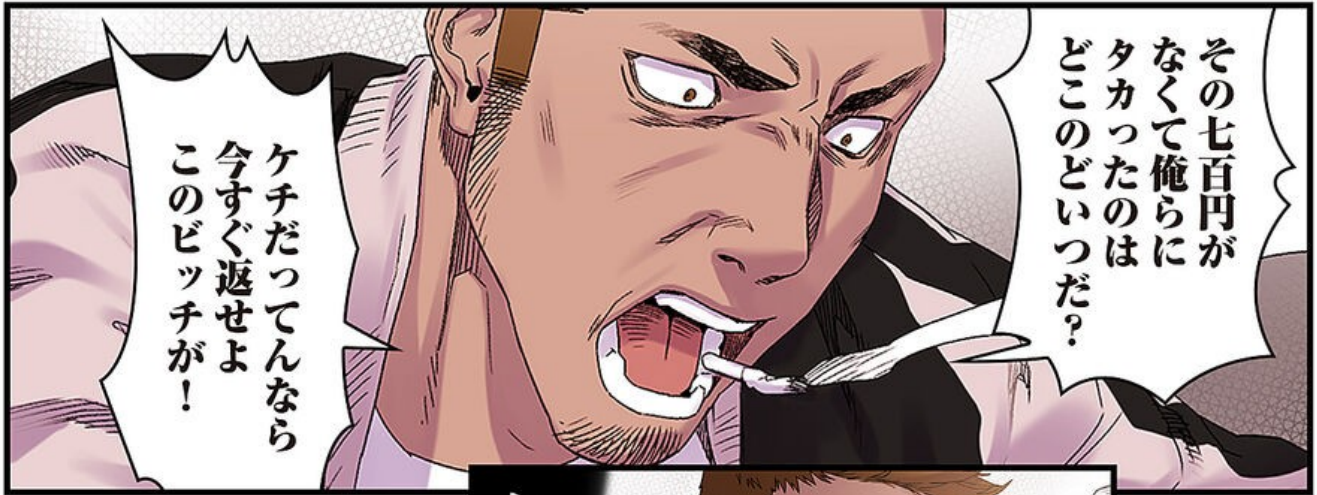


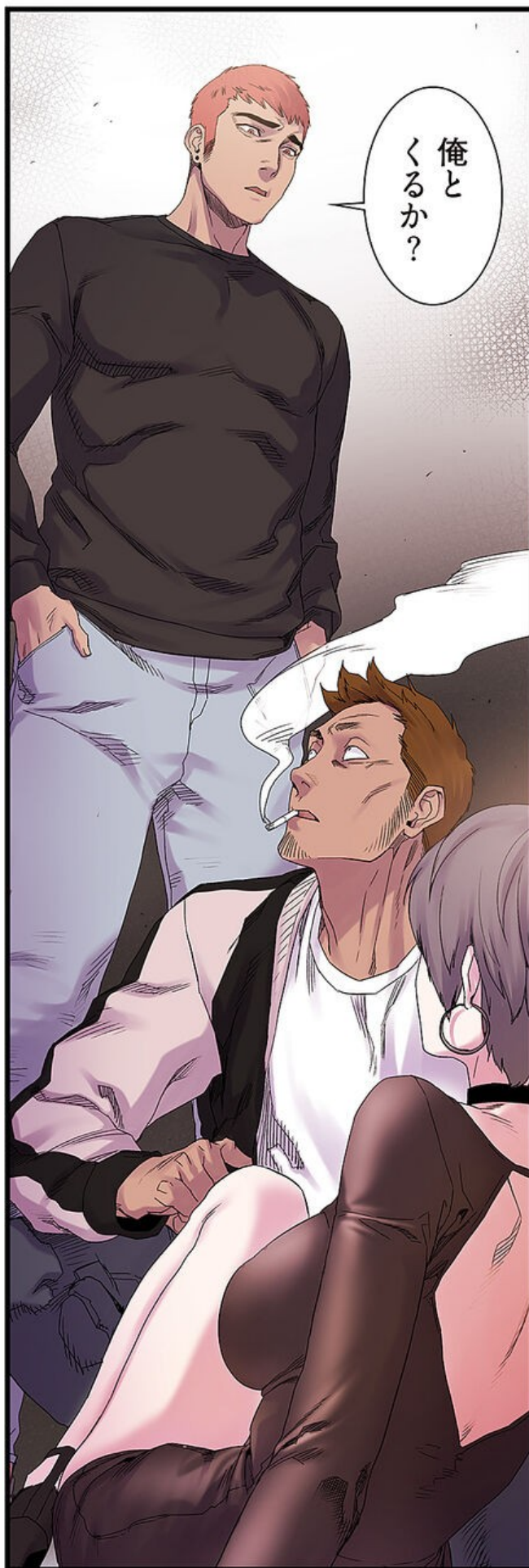




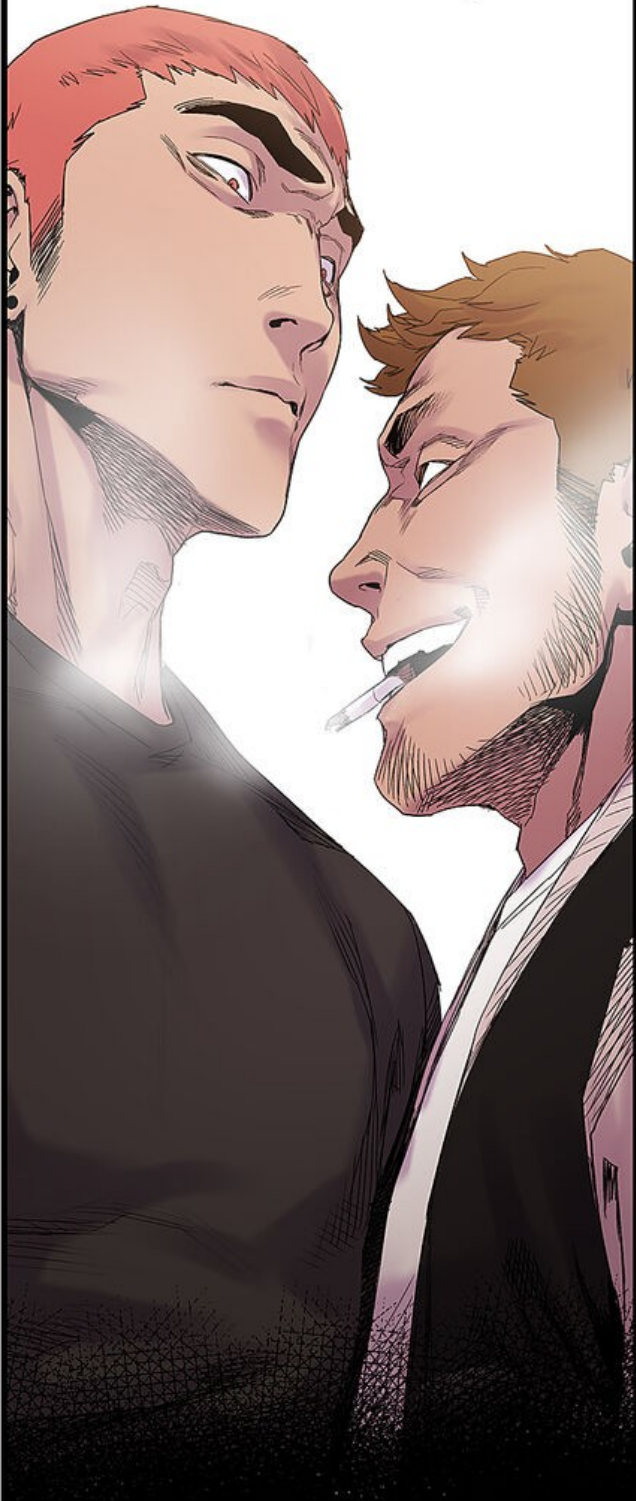








大人の話に
割り込んで
くんじゃ
ねえよ



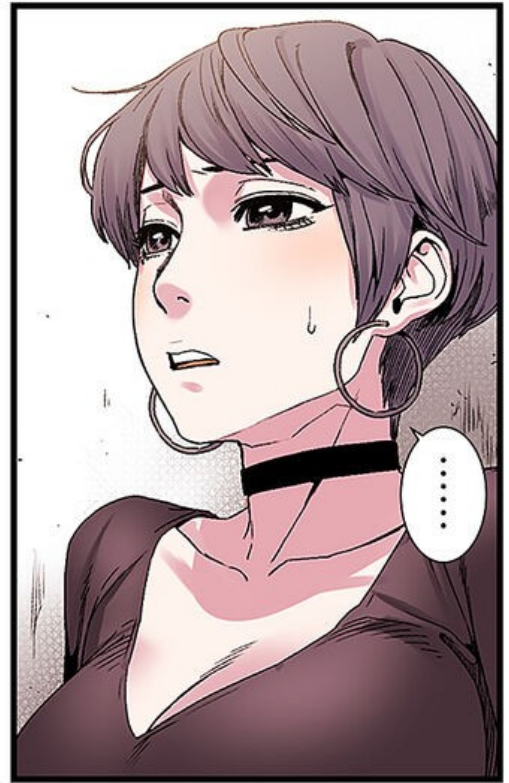
ふん

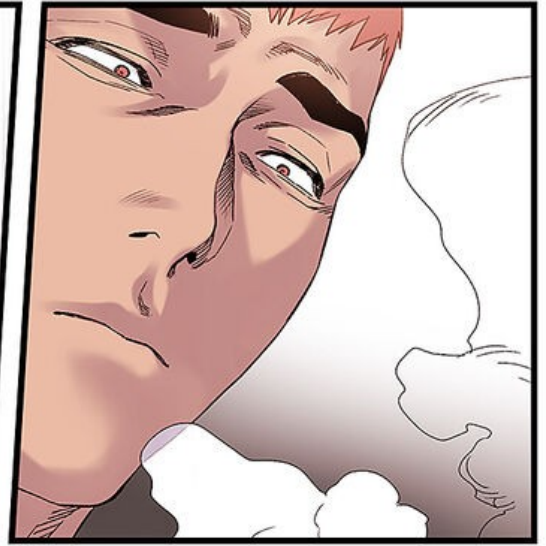
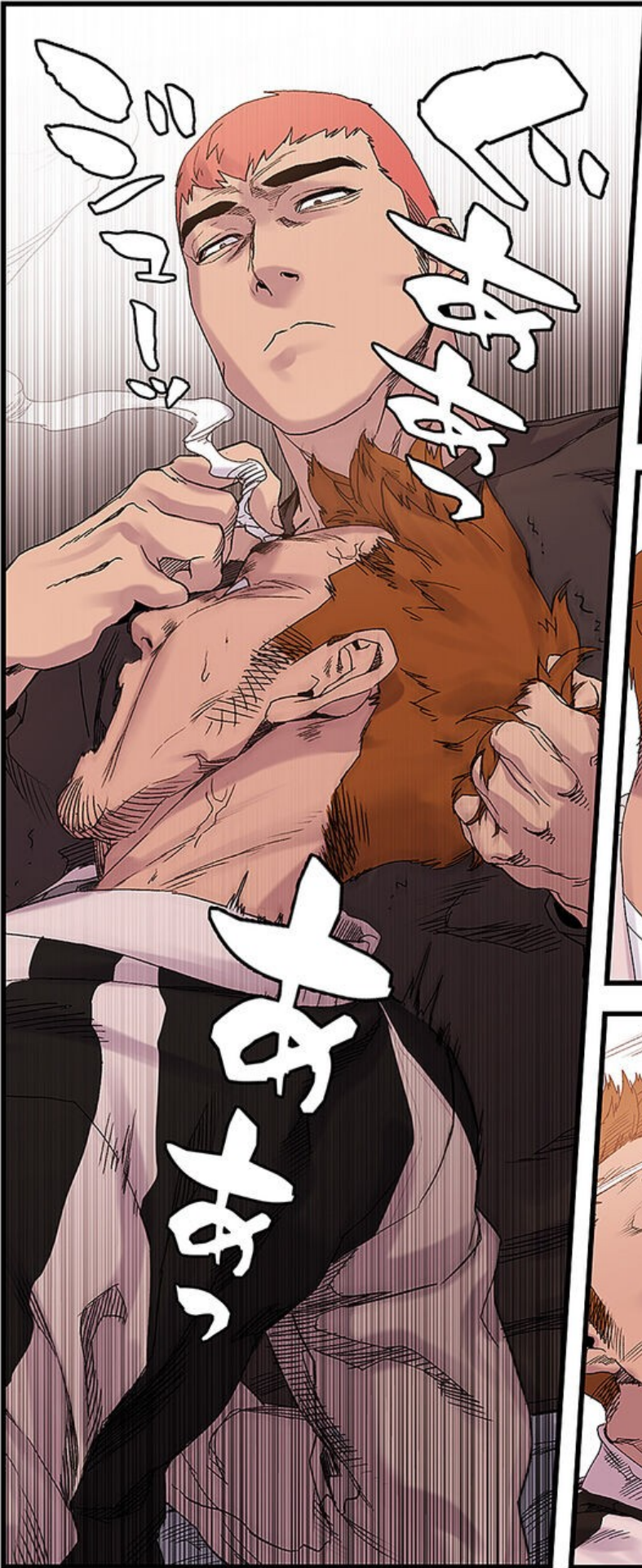


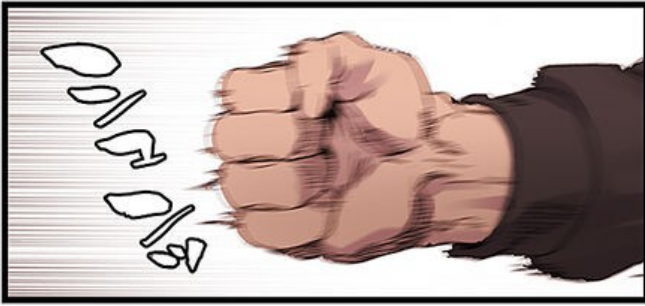
ケツの青い
小僧が…

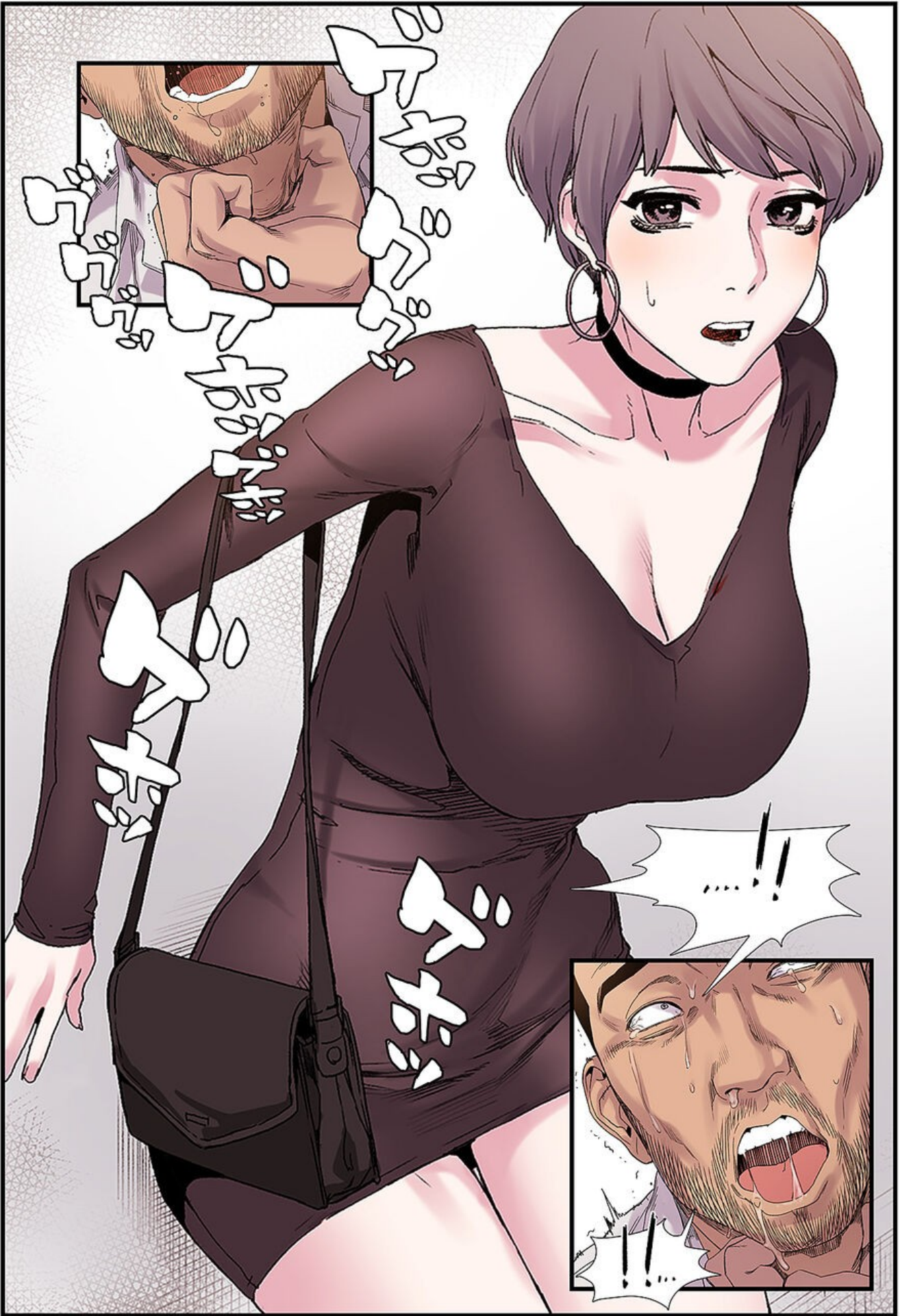


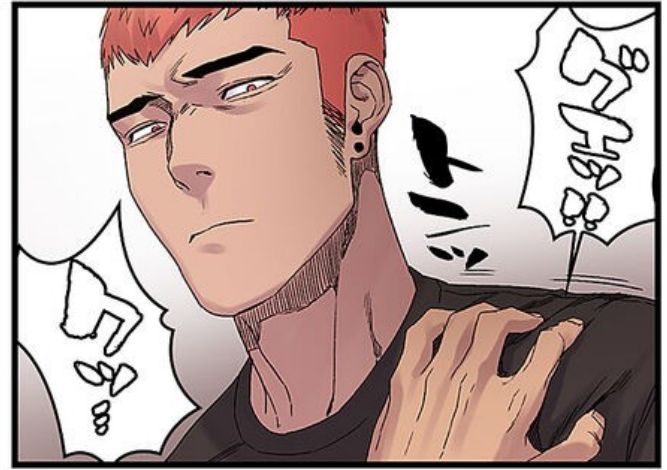
生殘賭博

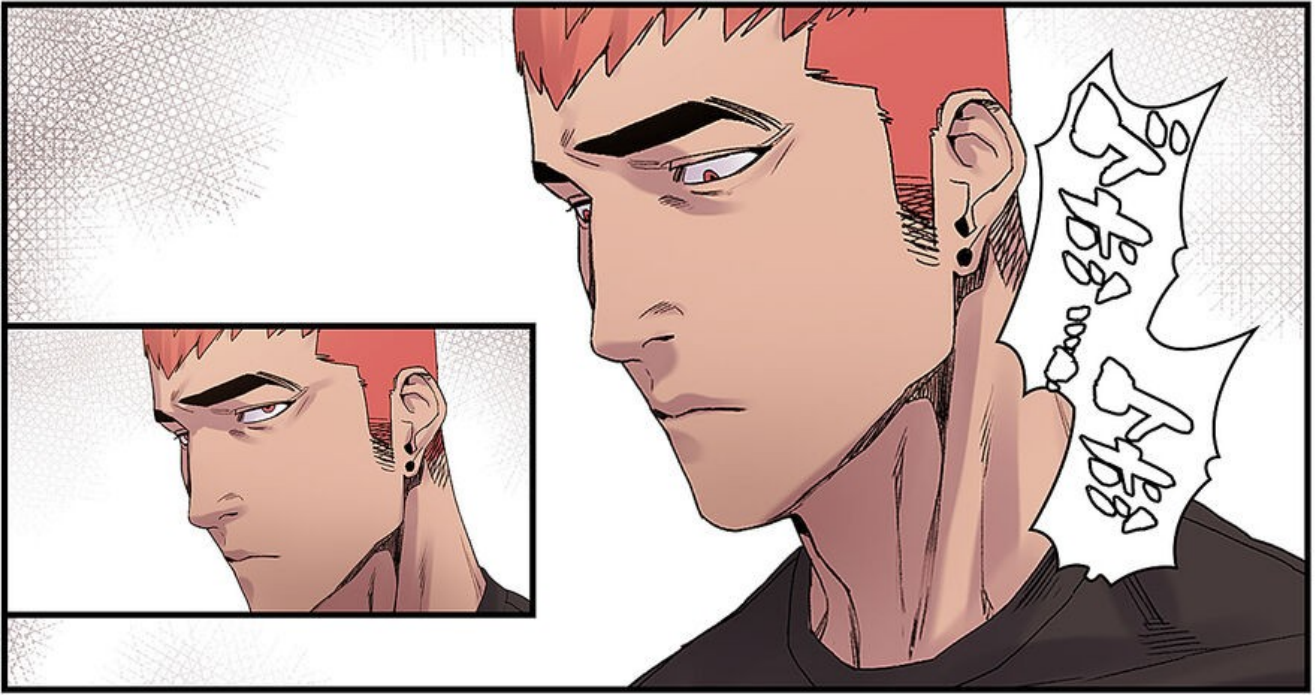




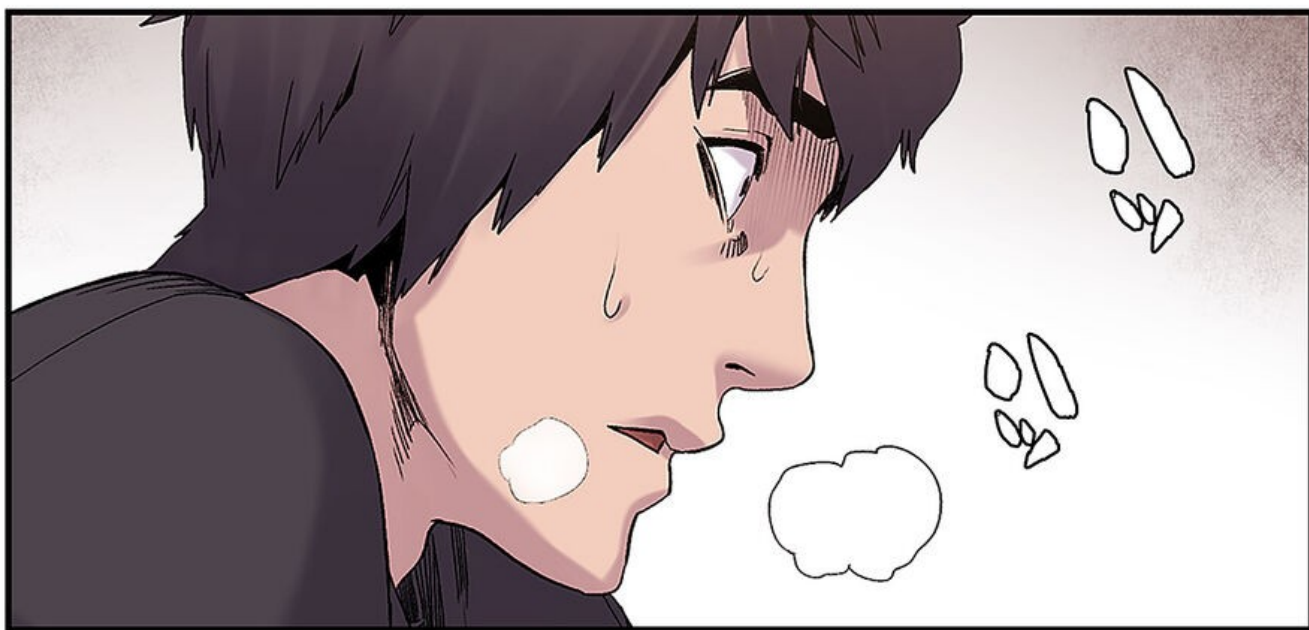
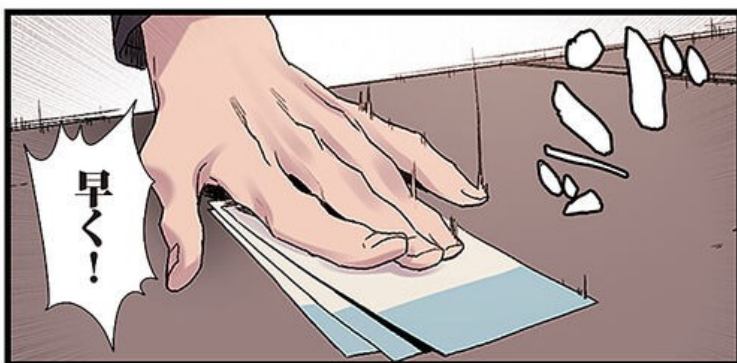


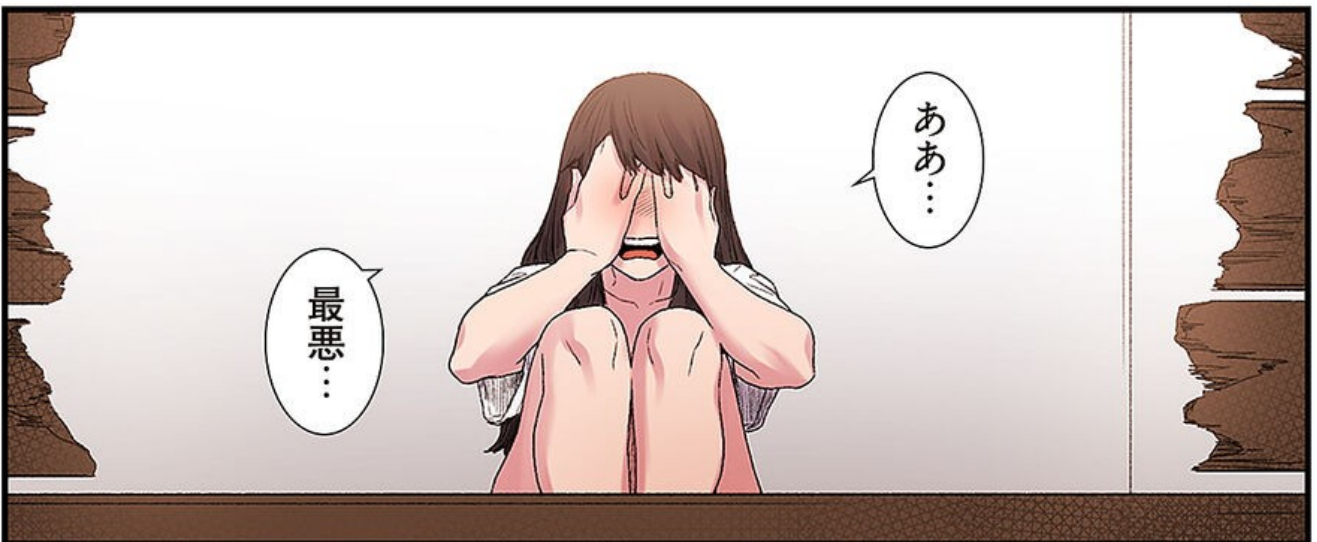
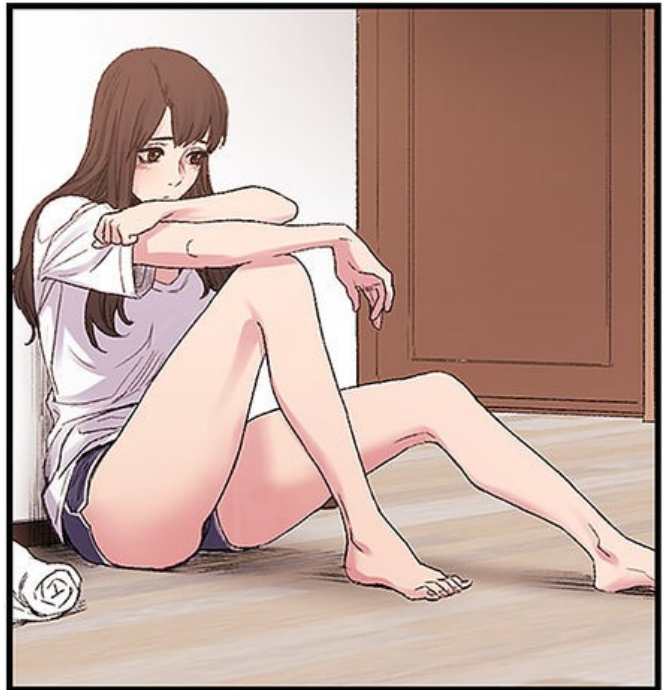
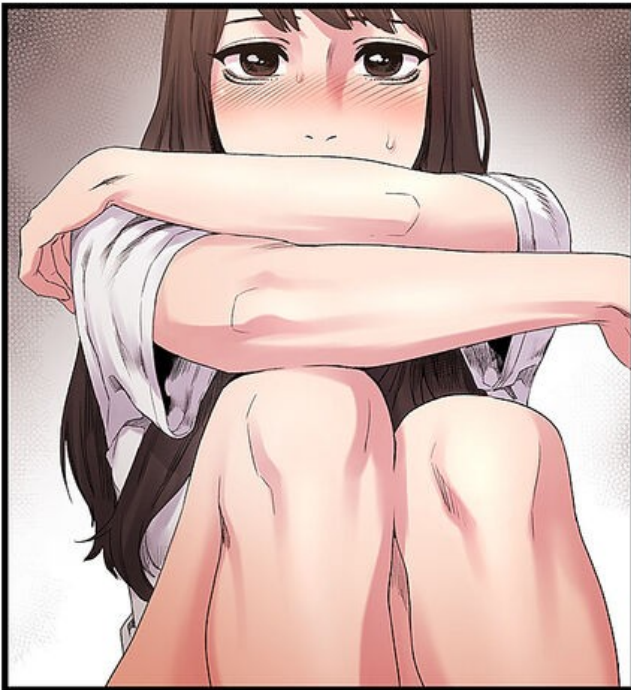
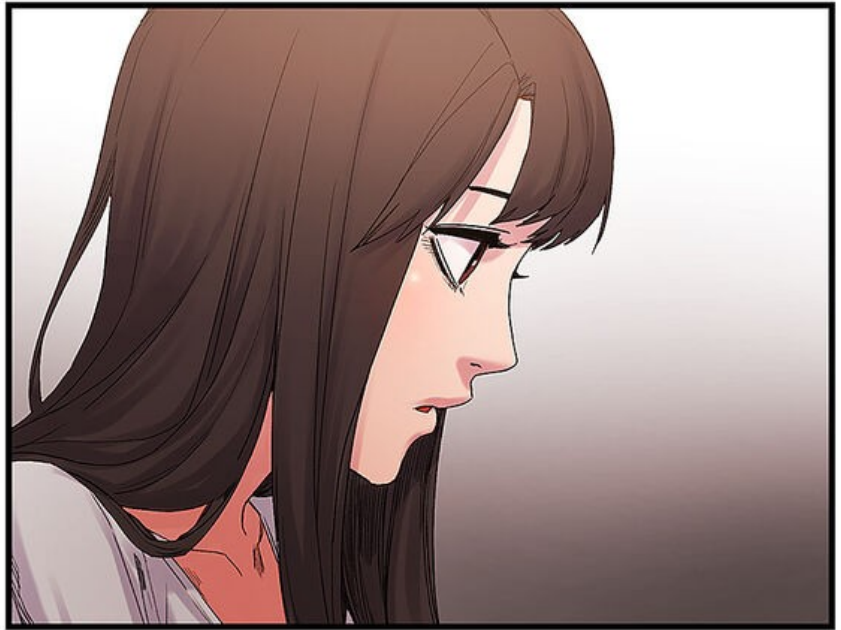




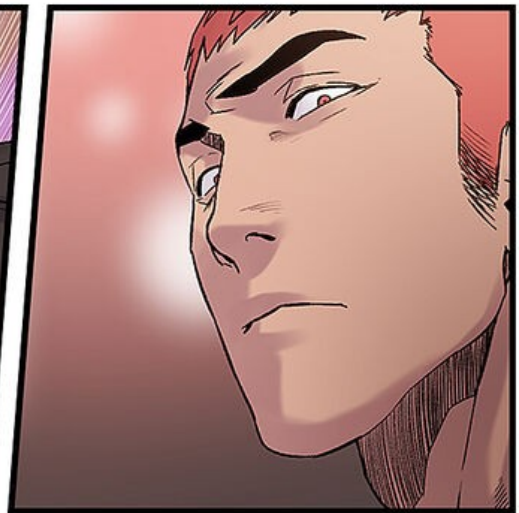
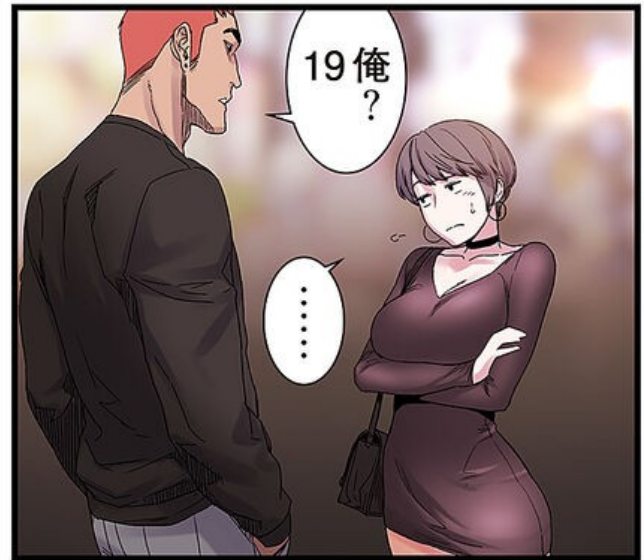






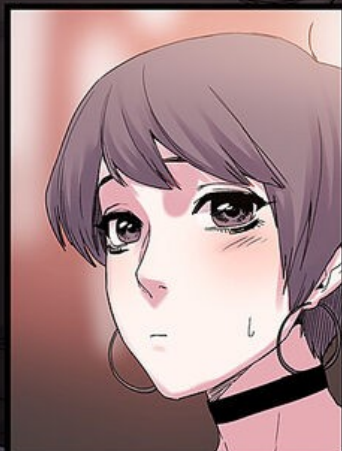




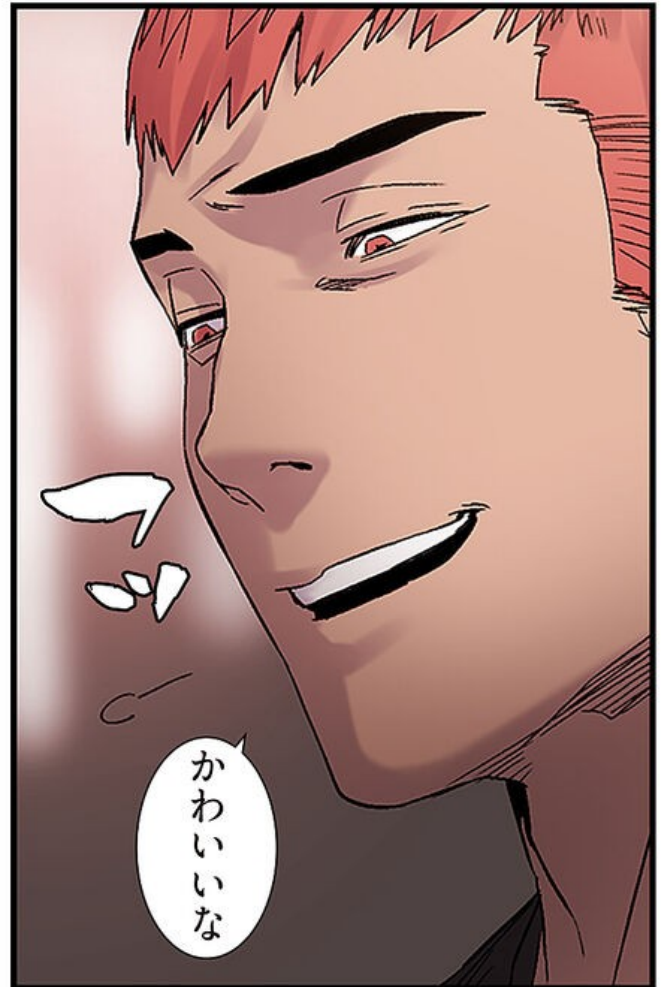




残りは全部女だ



何すんのよ!

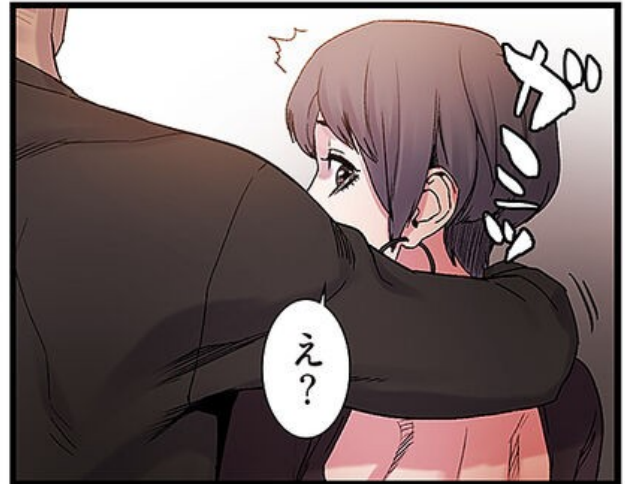
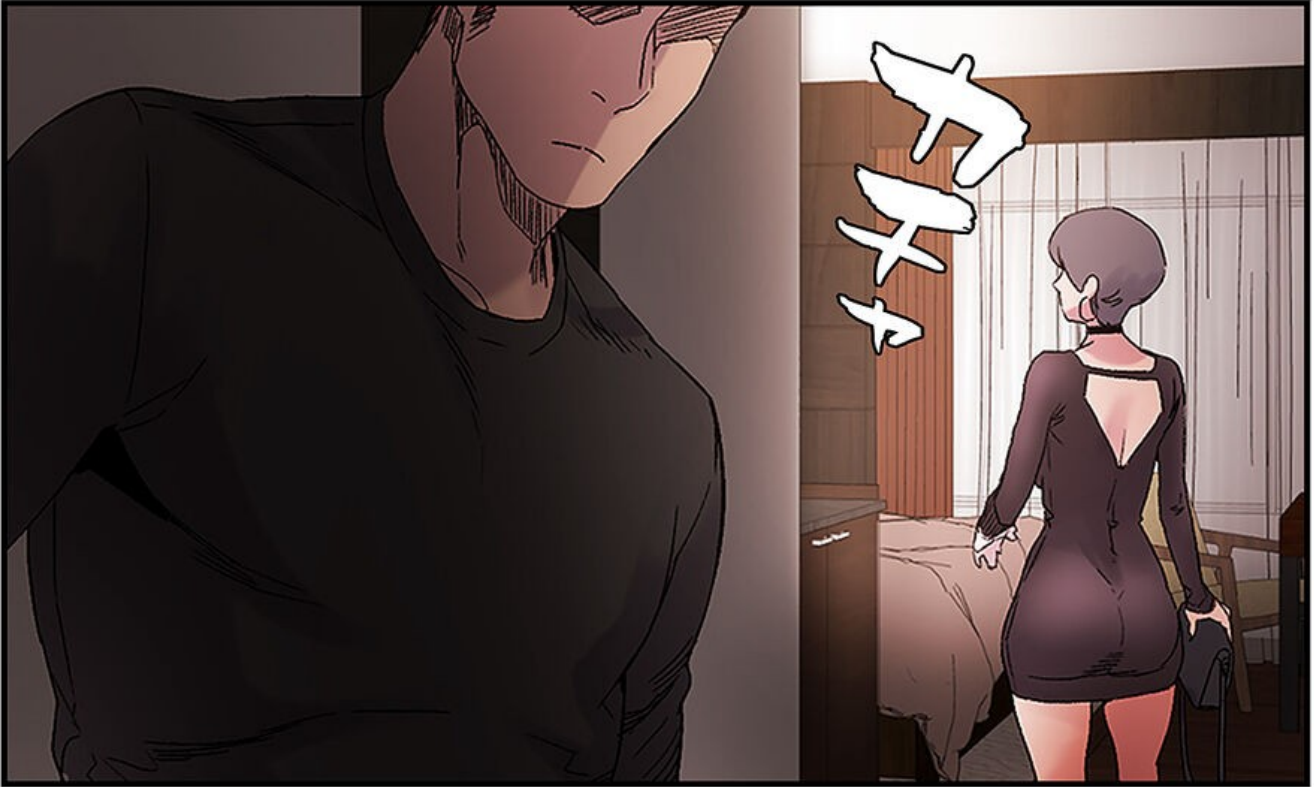


かわいいな



.....

俺の姉はこの世に一人だけだ





な…
なんの確認？

心配するな
ただの確認だ



!!

ズ
ズ



姉貴のケツには
デカイほくろが
あるんだ

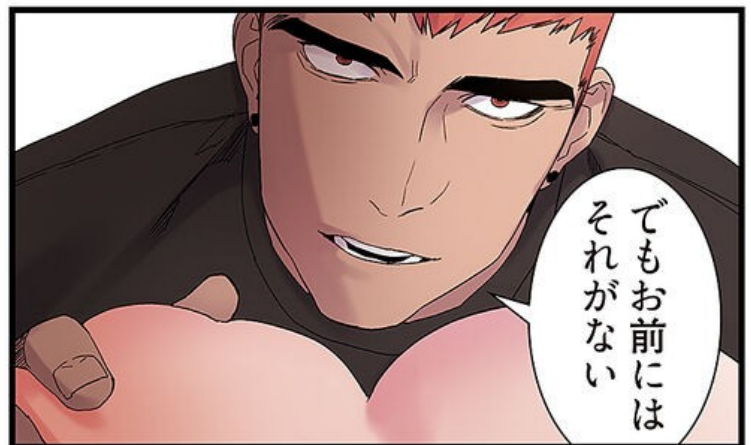
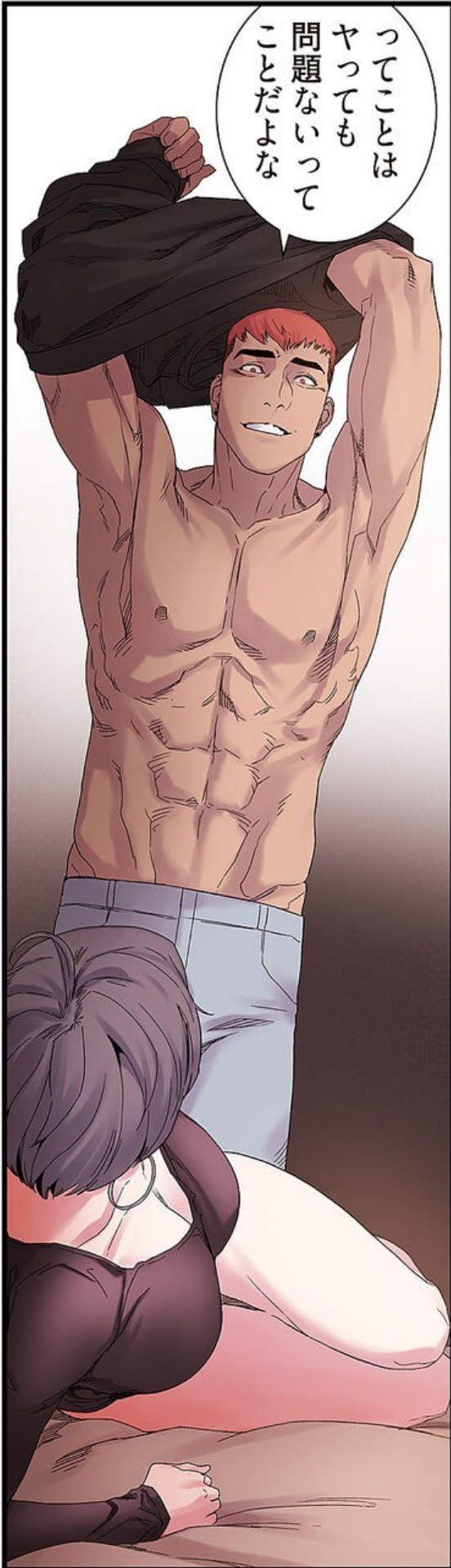
!!

もしもって
こともあるだろ



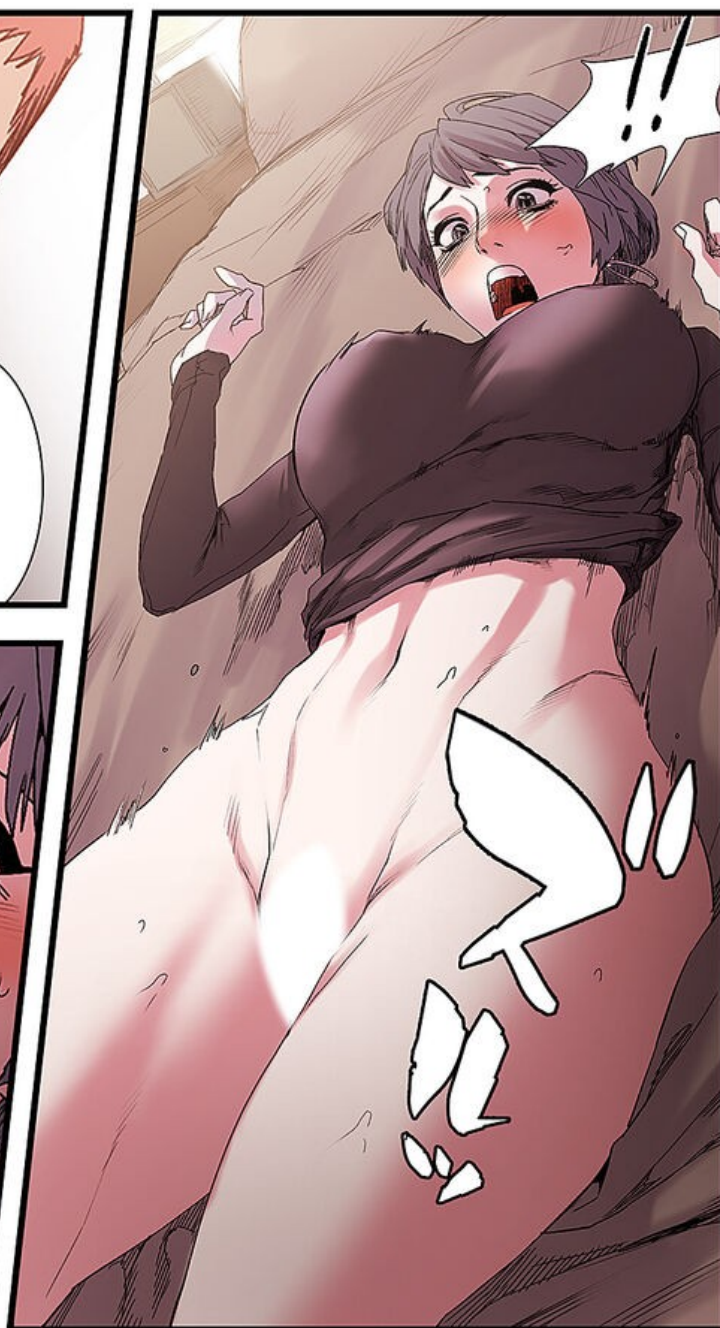
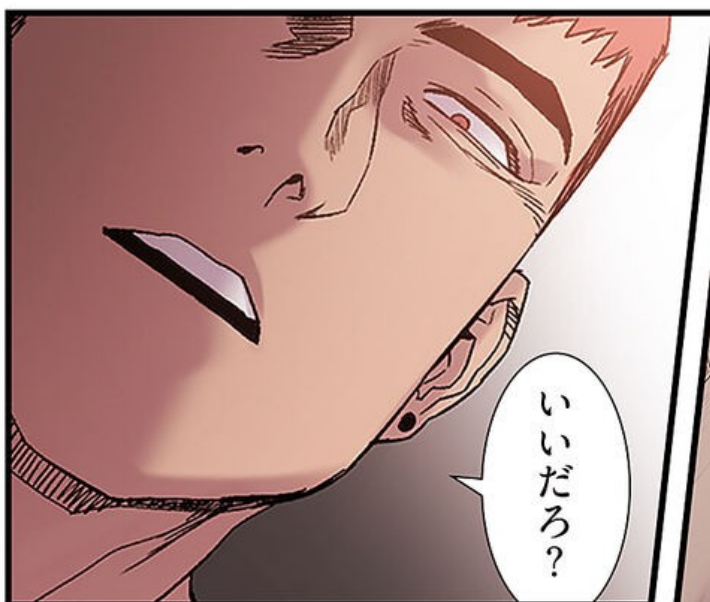
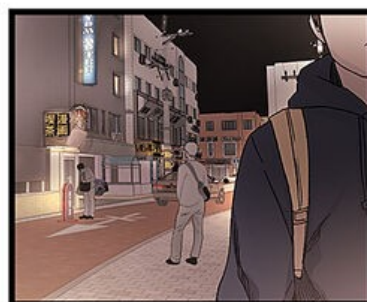
さっきも
言ったが
俺には
姉がいる

お前と同じ
2歳差：
子供のころ
親が離婚して
生き別れに
なった





生殘賭博





それなら
なおさら
問題ない

カチカチ



!!

カチカチ



カチカチ



逃げない
から...

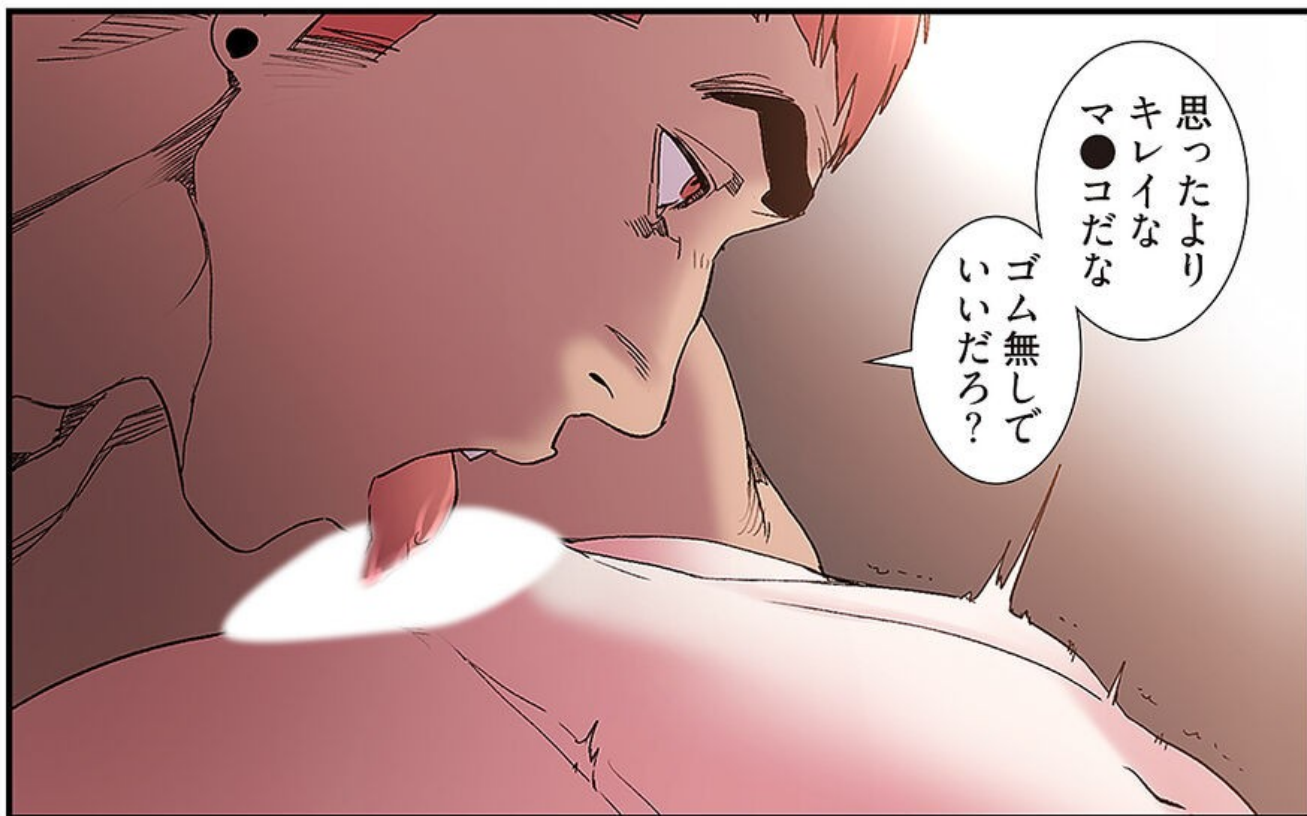
シヤ：
シヤワーだけ
させて...



ダメだ
俺はこのまま
やりたい

なんでよ!!

私今日
いっぱい
汗かいたん
だつてば!!





ふああっ...!

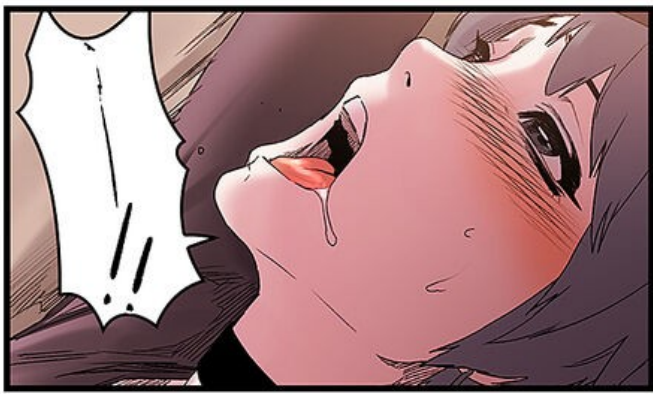
お...
おおき...



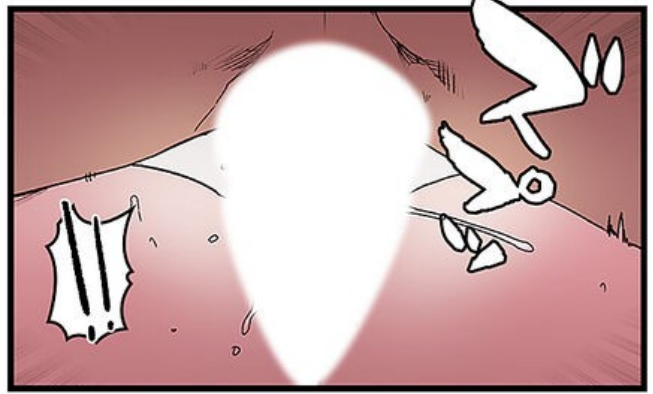
肌が油を
塗ったみたい
に

ヌルヌルして
気持ちいいんだ...

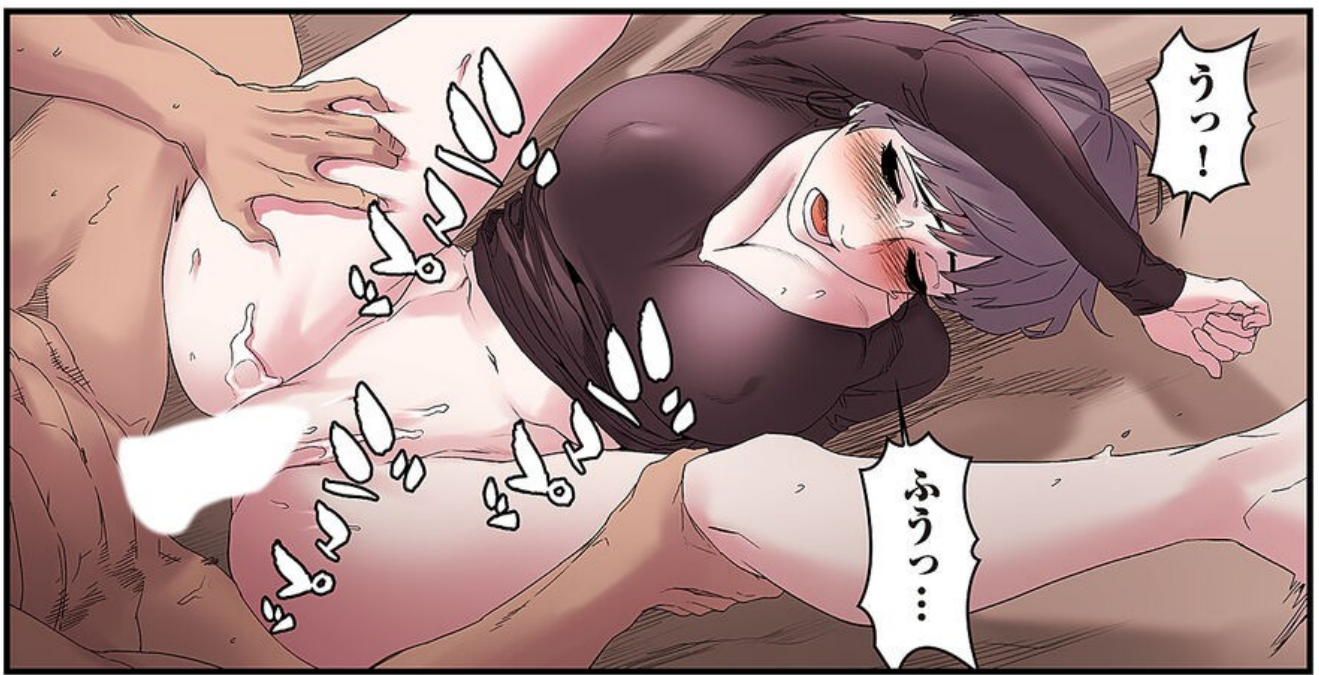
うっ...



!!



!!



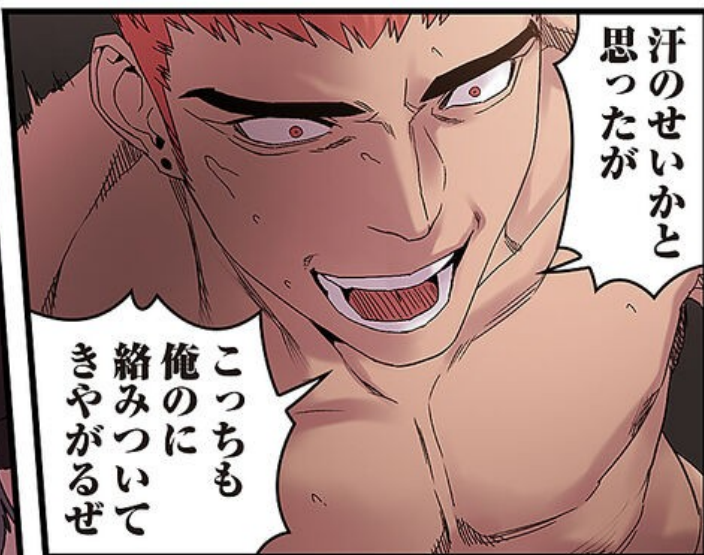
うっ!

ふっ...



はっ…
ああっ!!

子供のくせに…!
女のイカせ方し…知ってるのね?



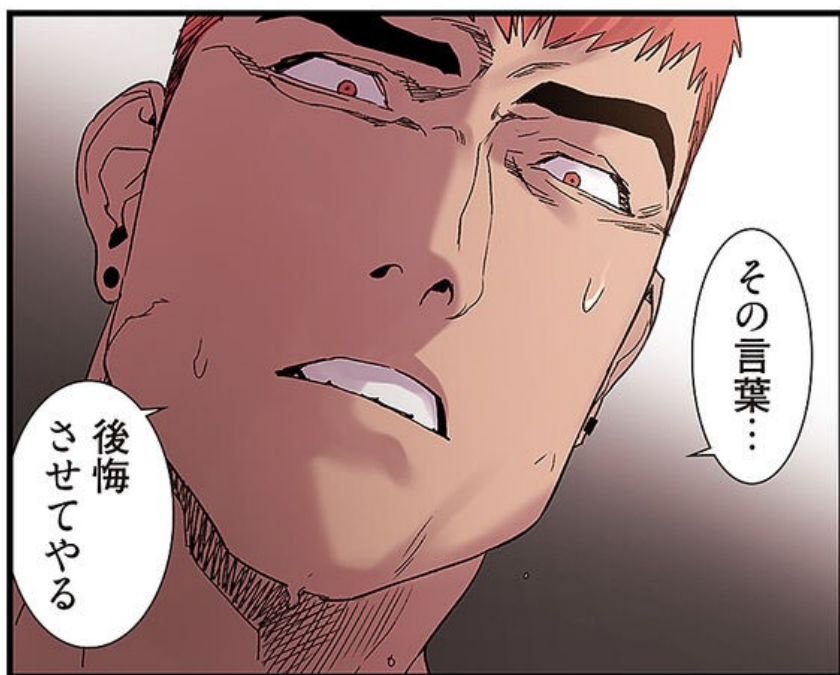
汗のせいかと
思ったが

こっちも
俺のに
絡みついて
きやがるぜ



んんっ!

!!

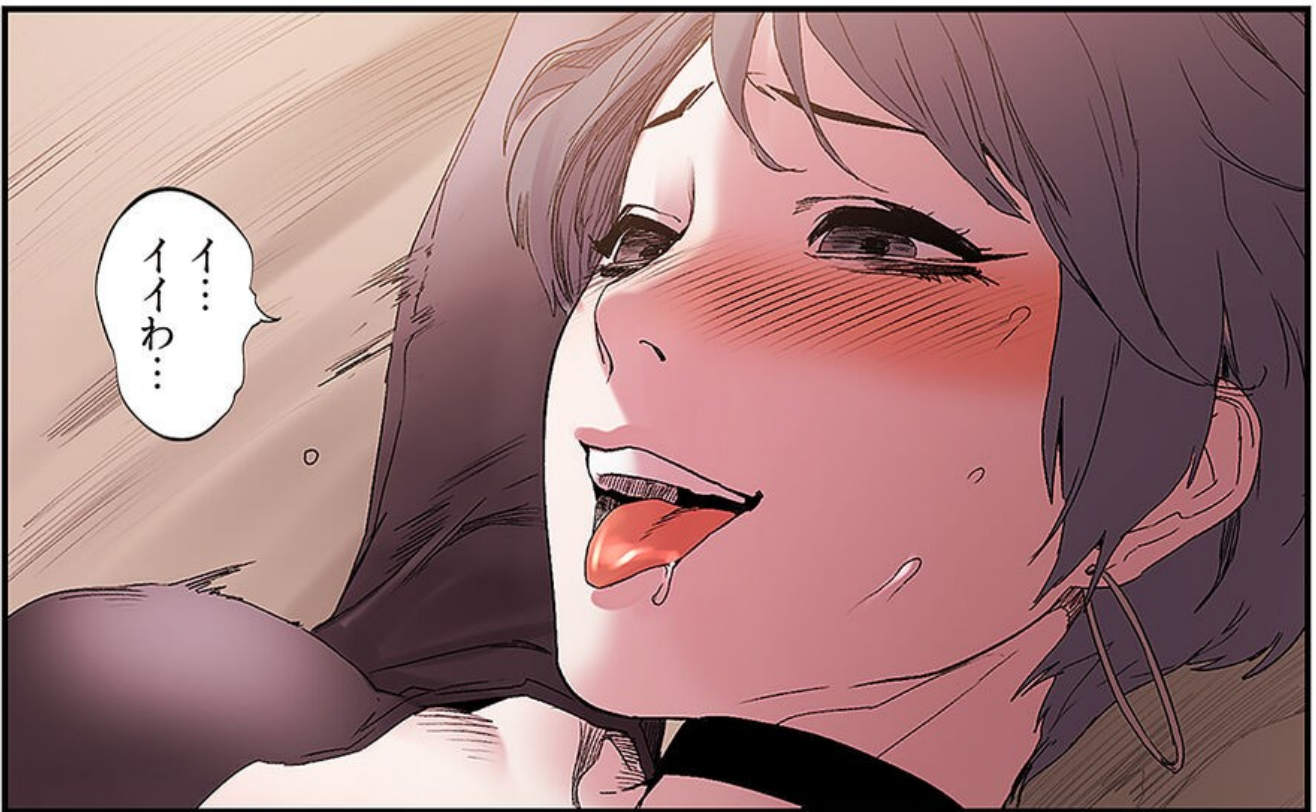


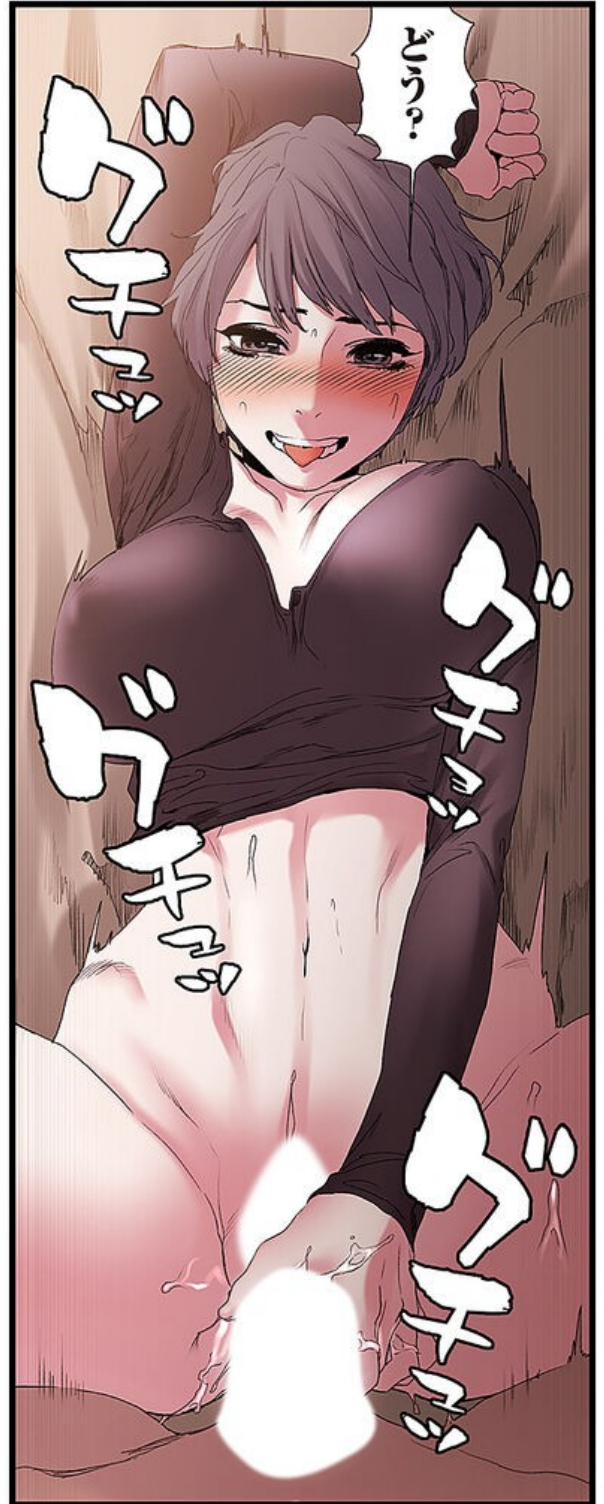
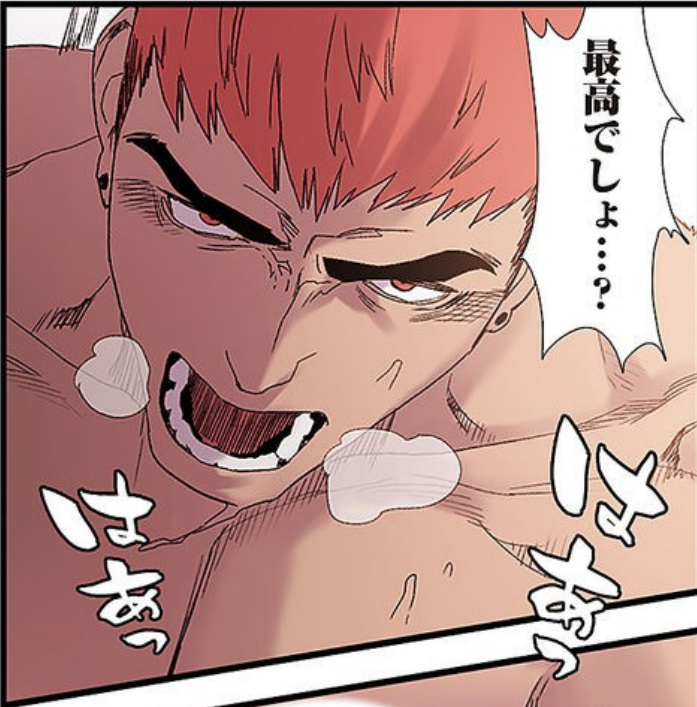
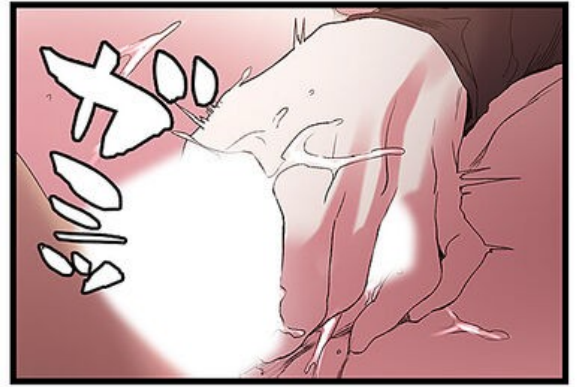
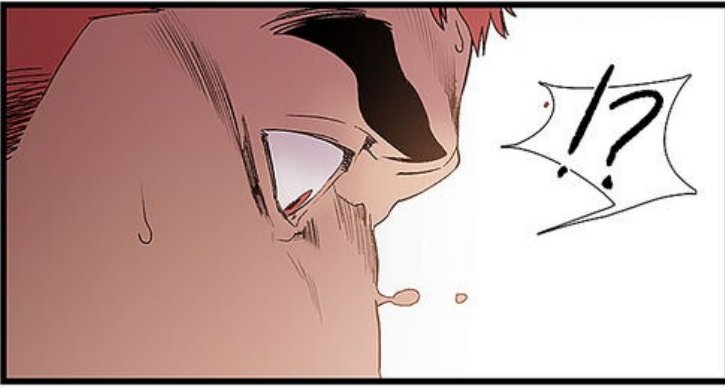
その言葉…

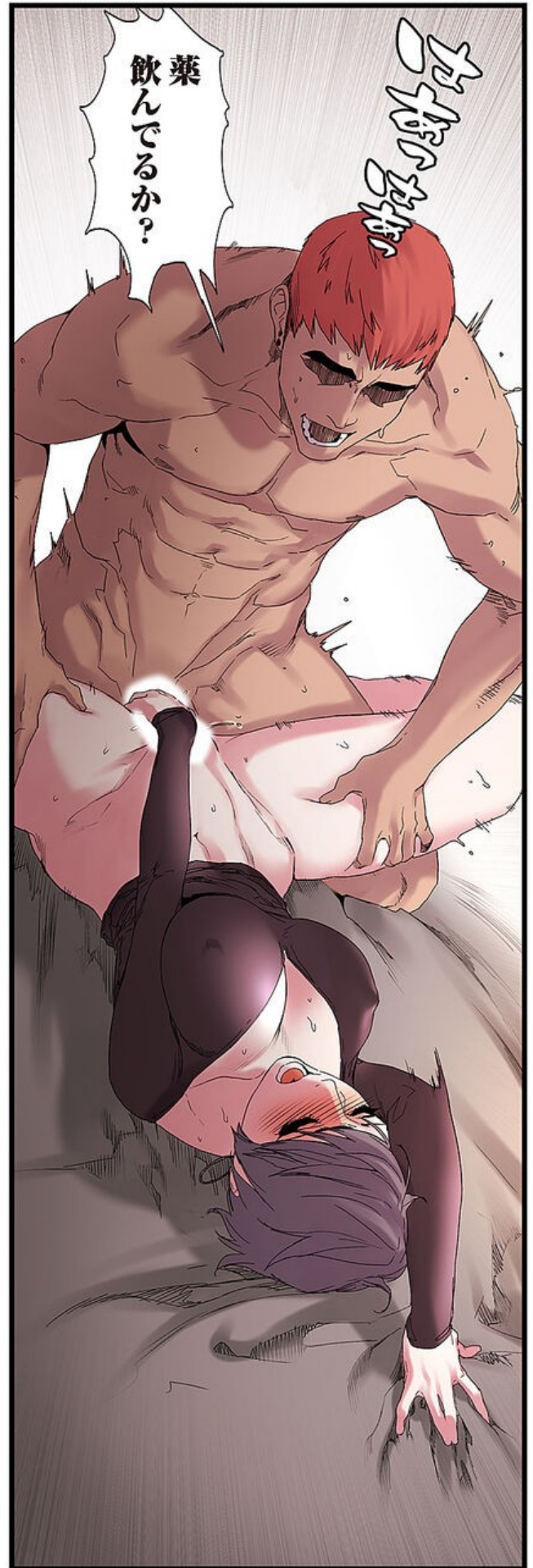
後悔
させてやる

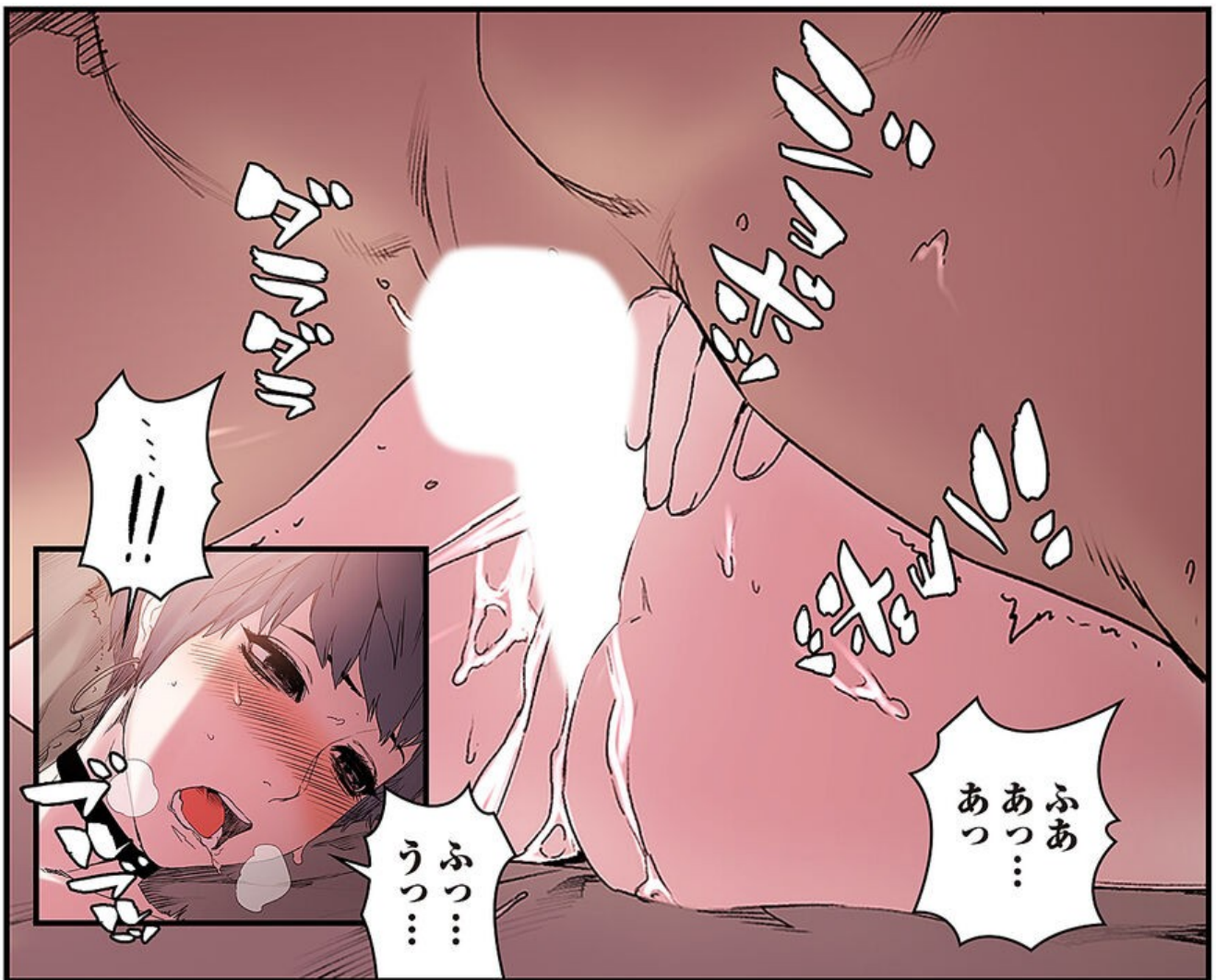
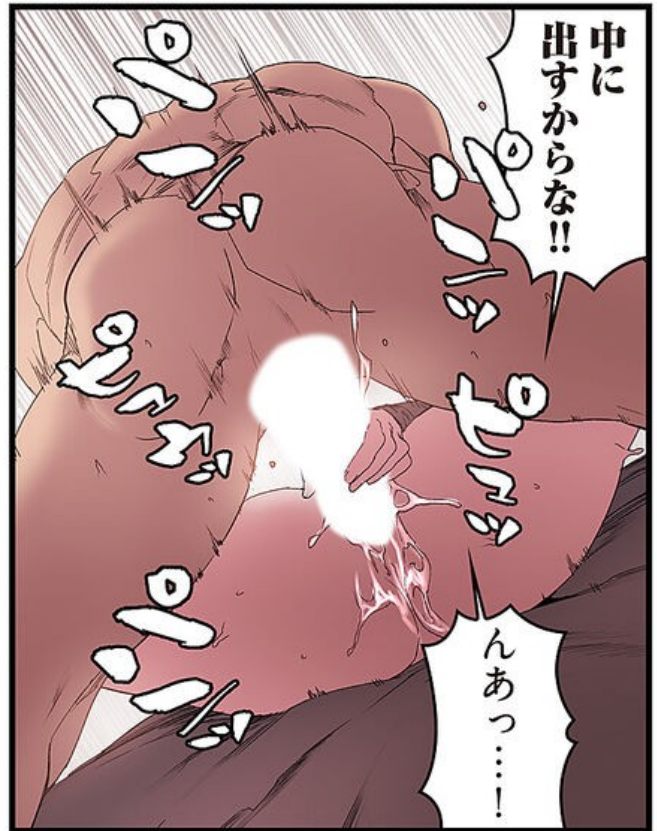


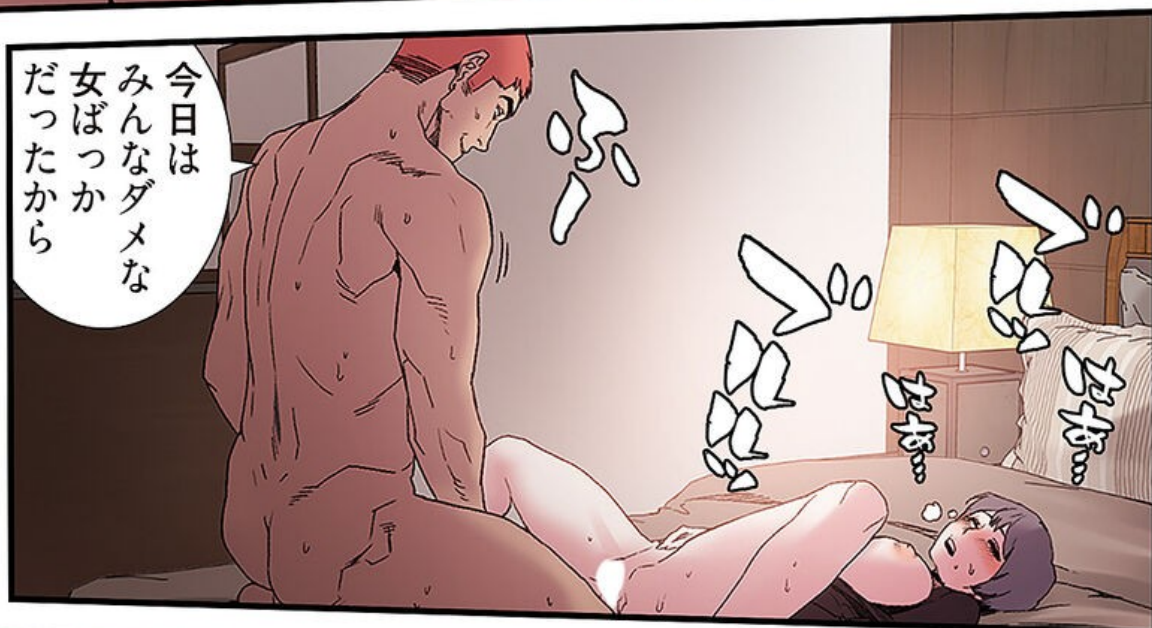
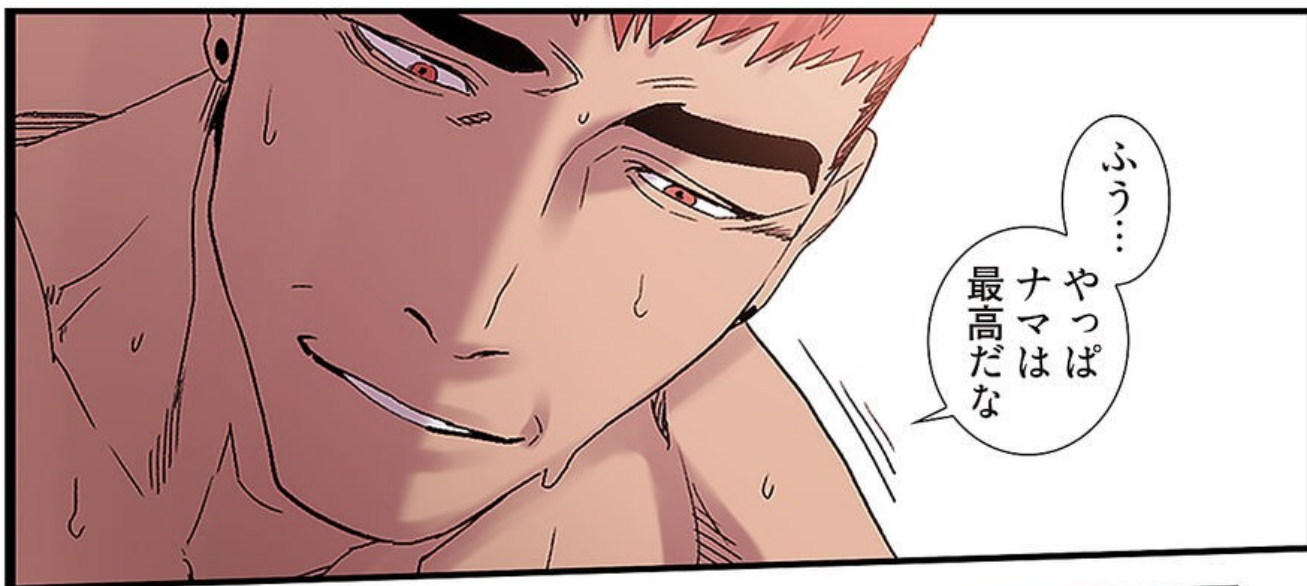
は…?
子供?





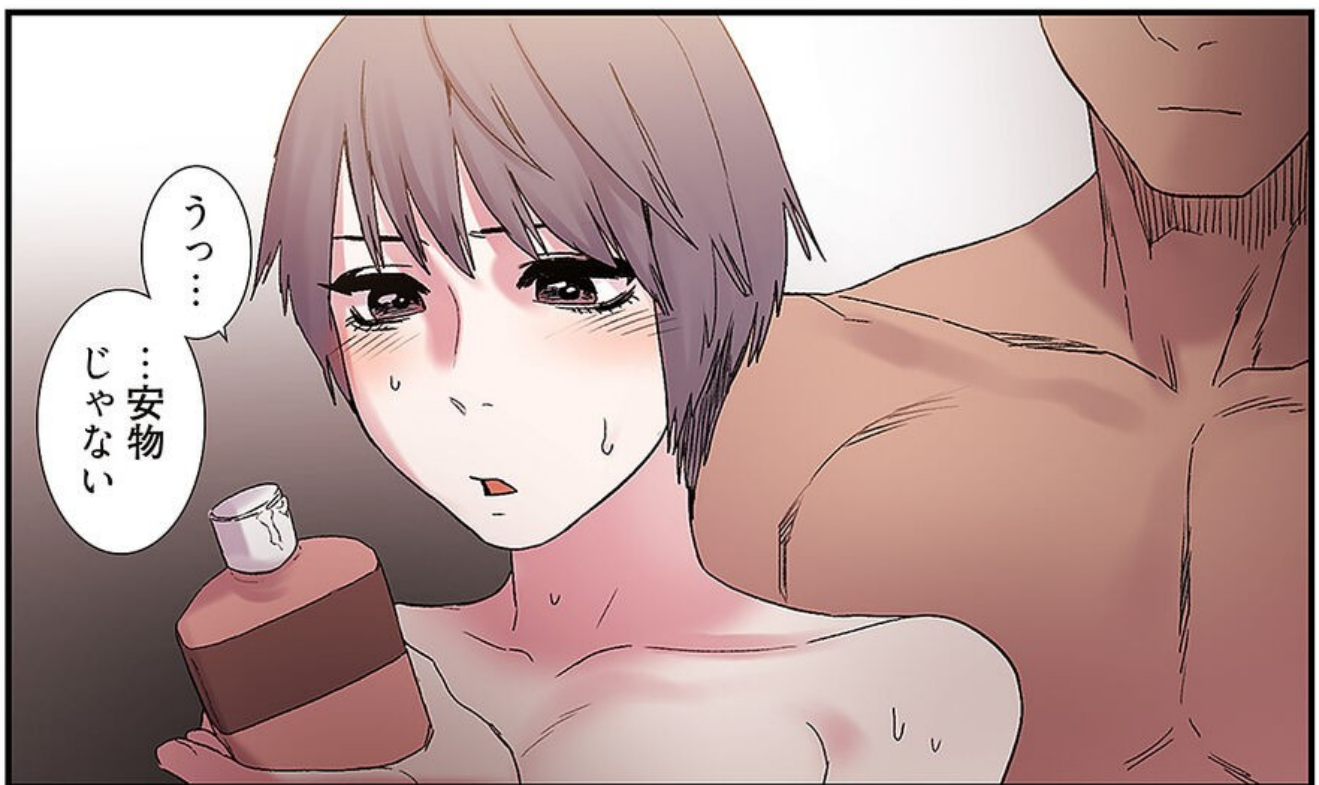
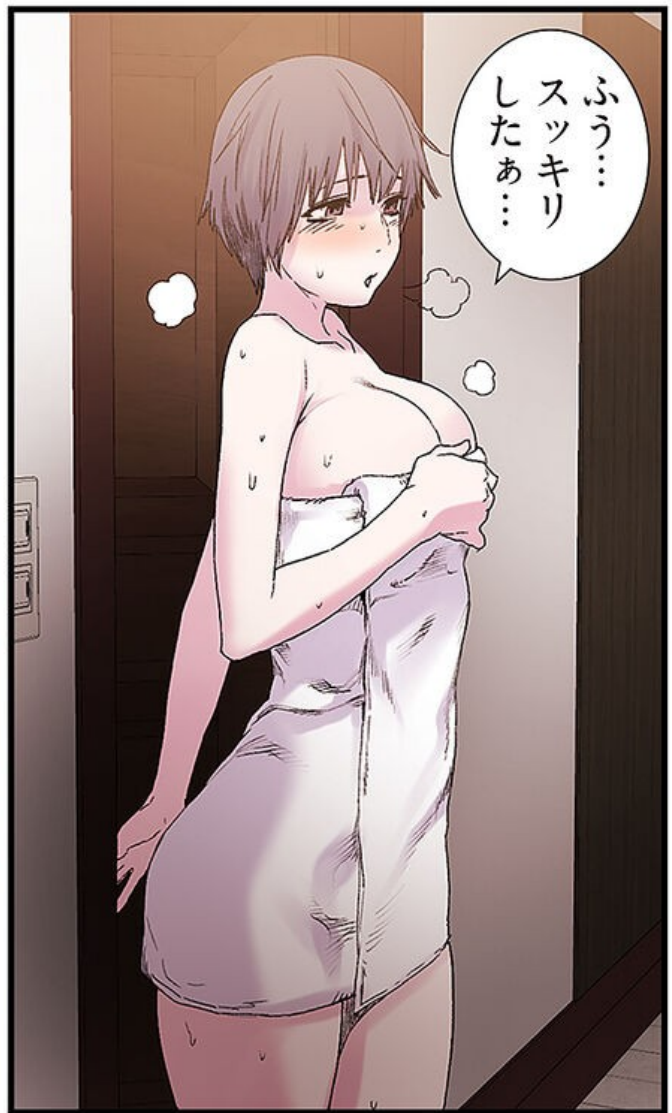
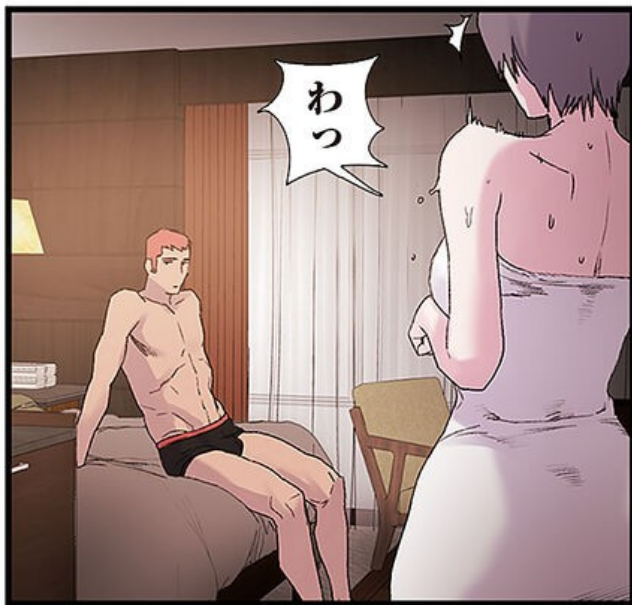




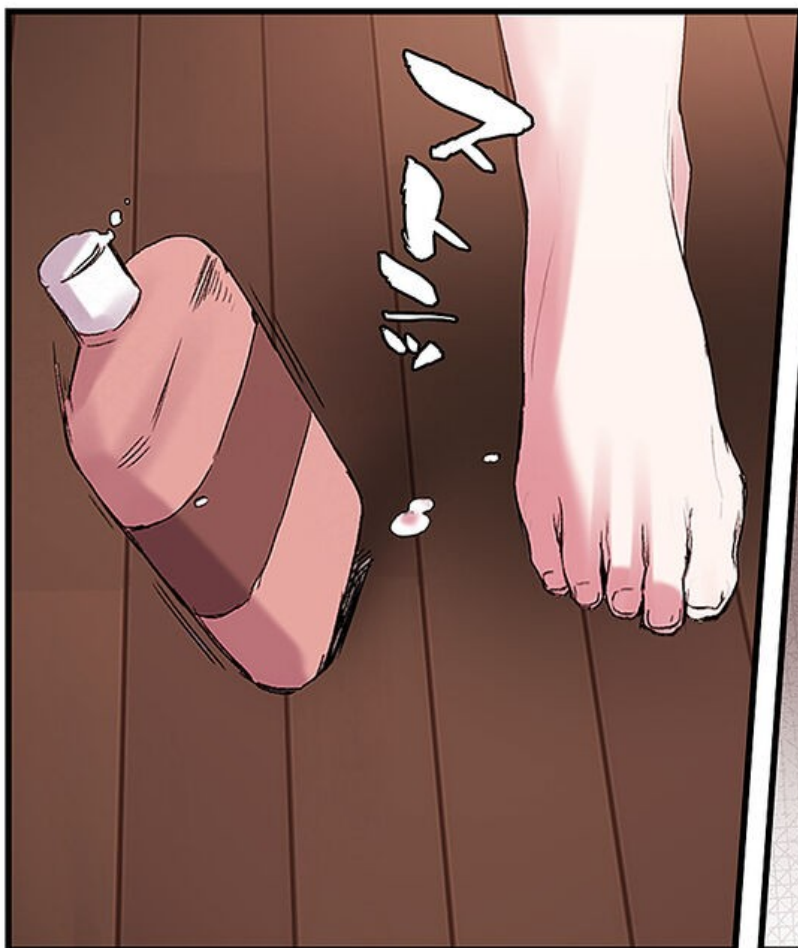
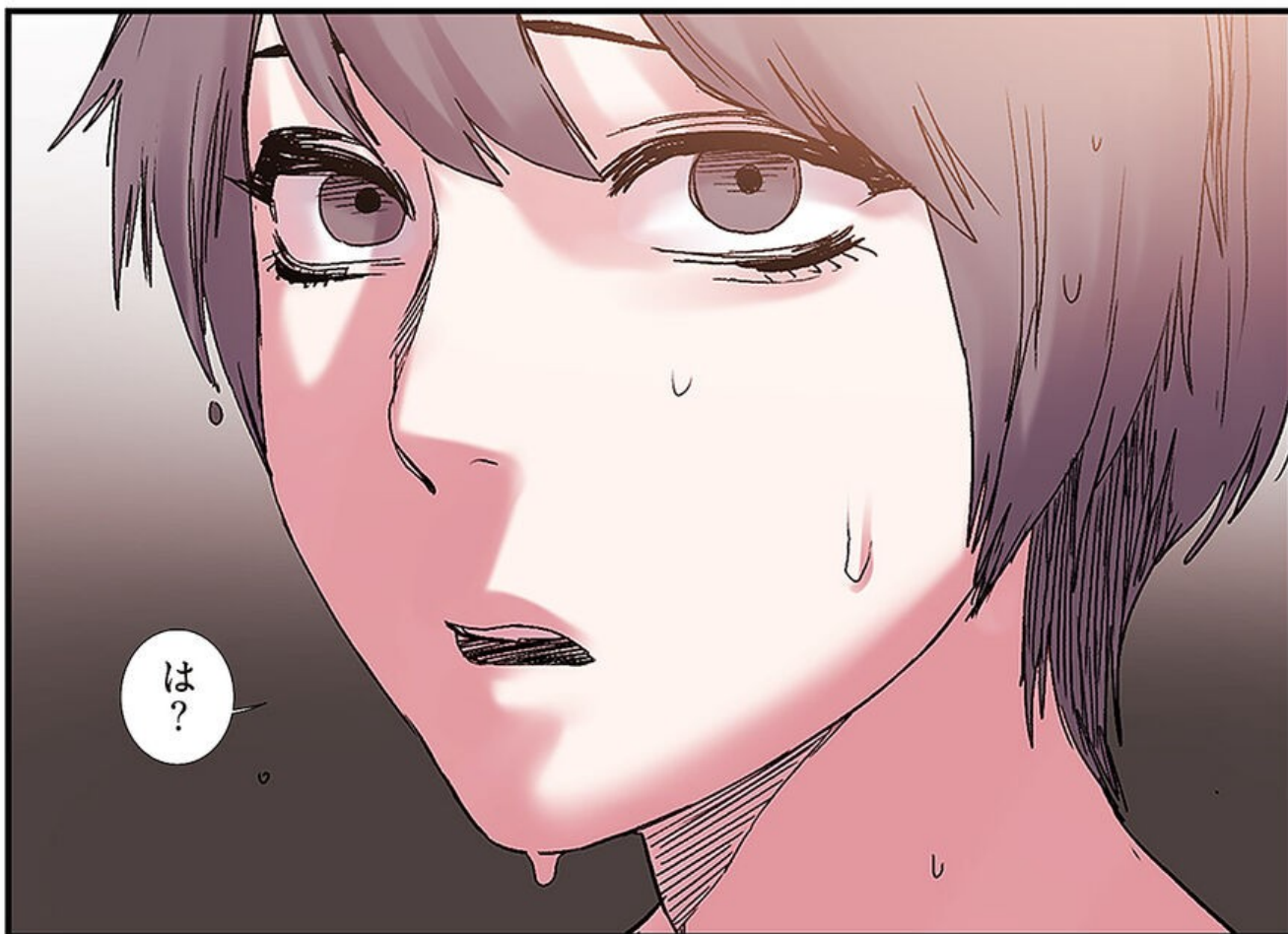




ハッパ







生殘賭博

生殘賭博



あるわけ
ねえだろ

電話に出ねえって
ことは
アレに決まってる



哲矢のヤツ
まだ電話
出ねえの？



ああ
切ってる
わけじゃ
ねえん
けどな



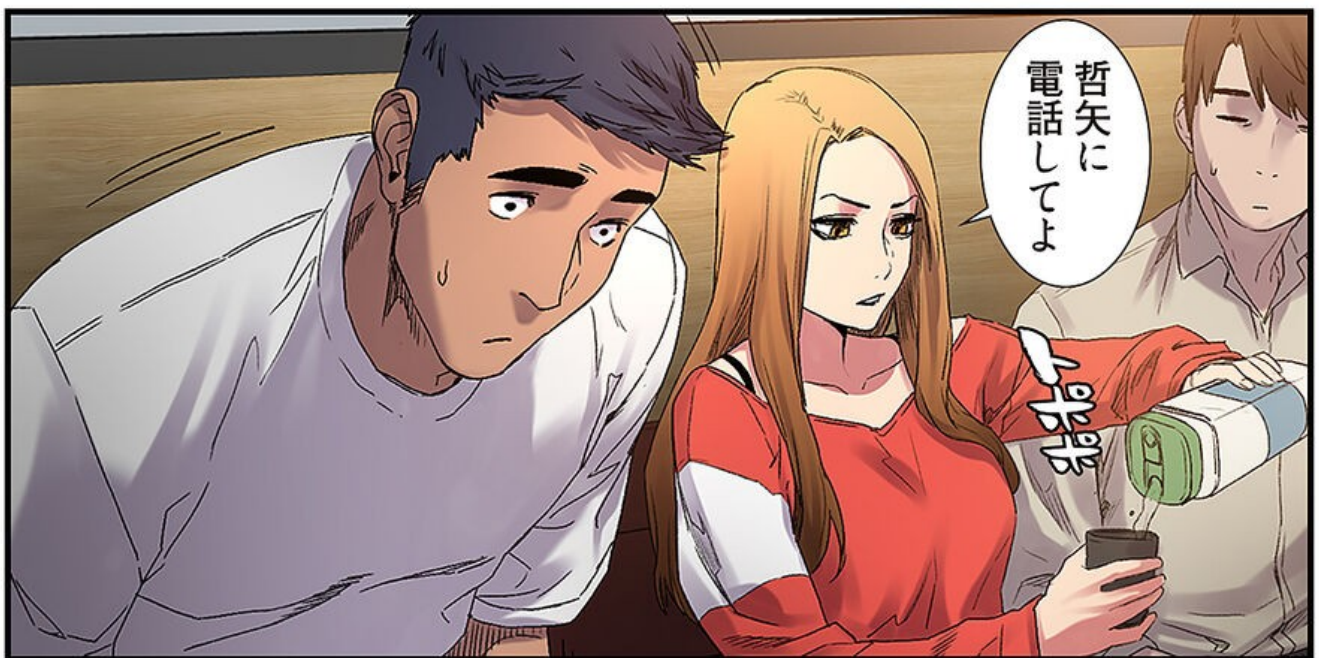
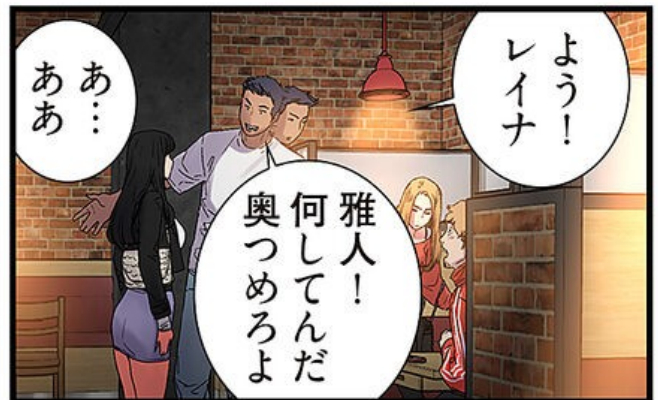
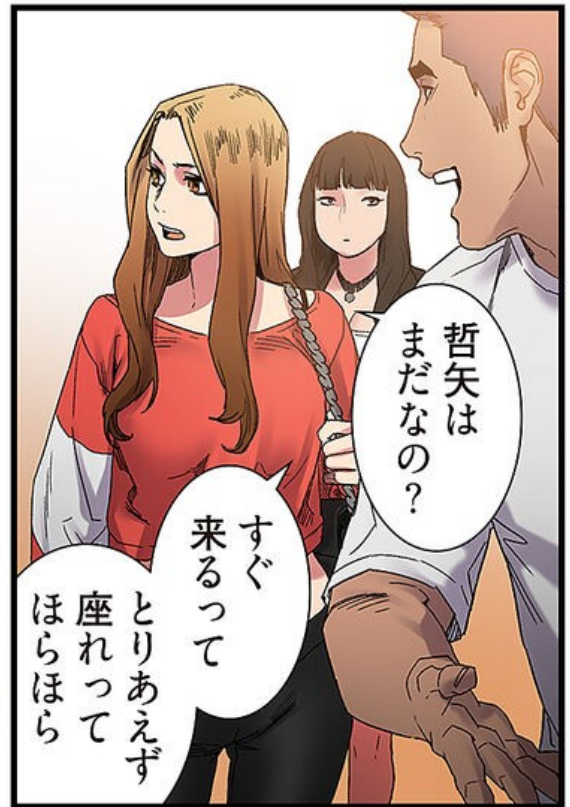
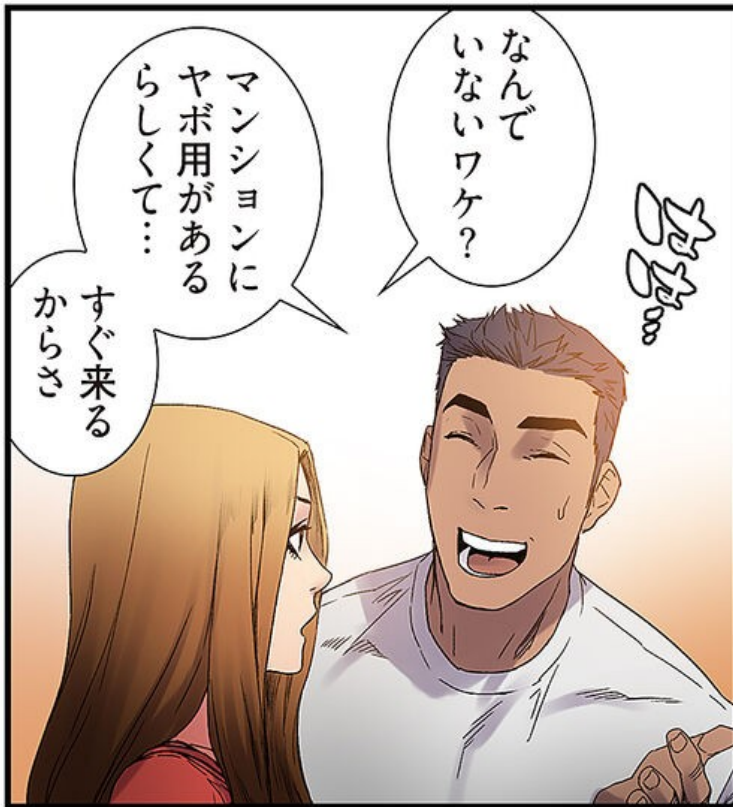
なんか
あつたんじゃ
ねえの？



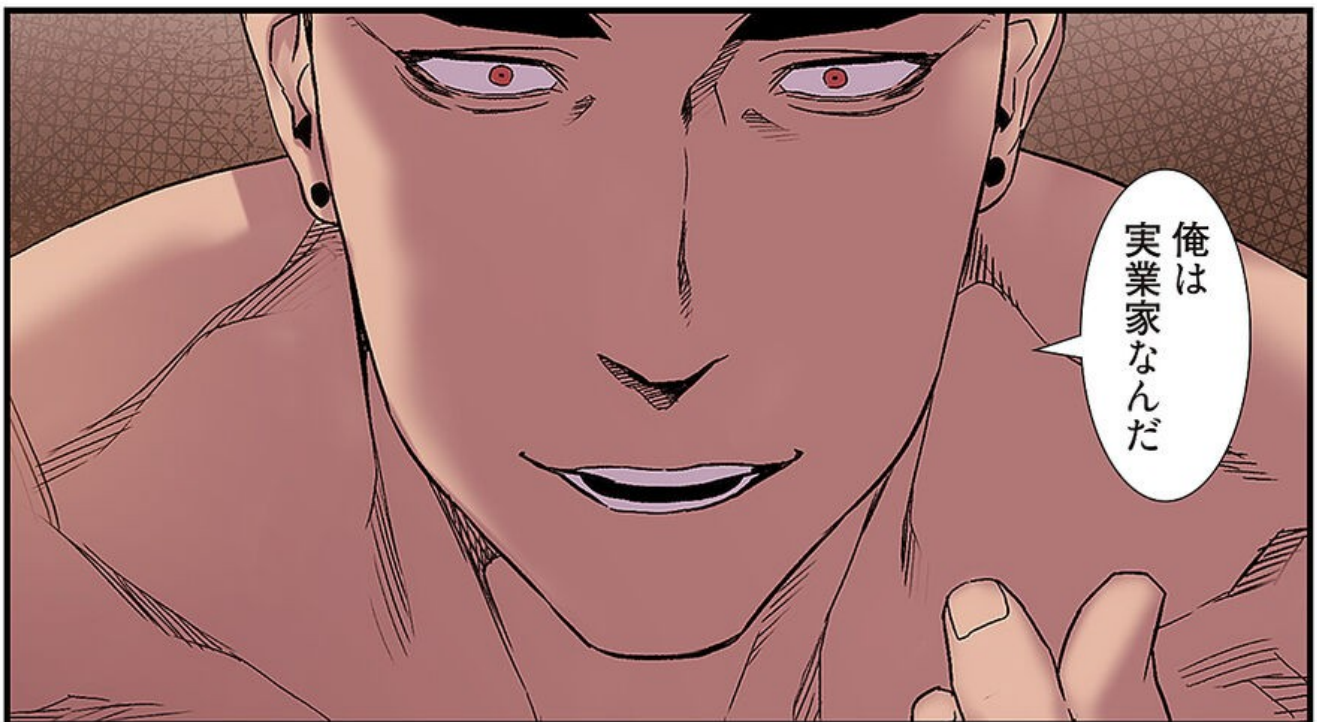
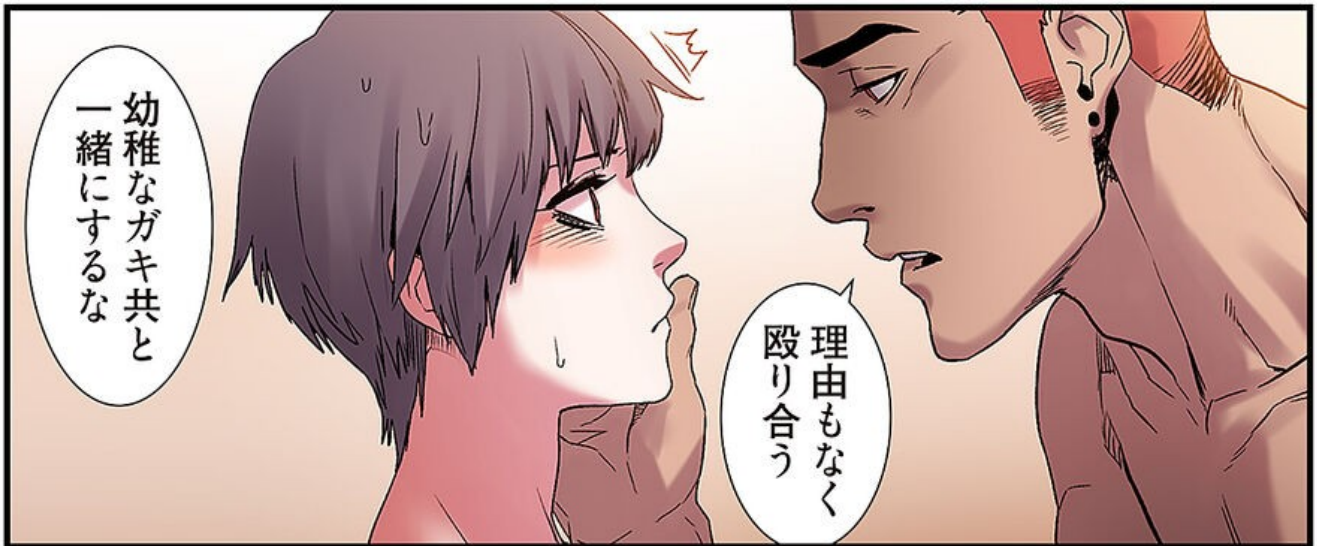
何よ
アレって

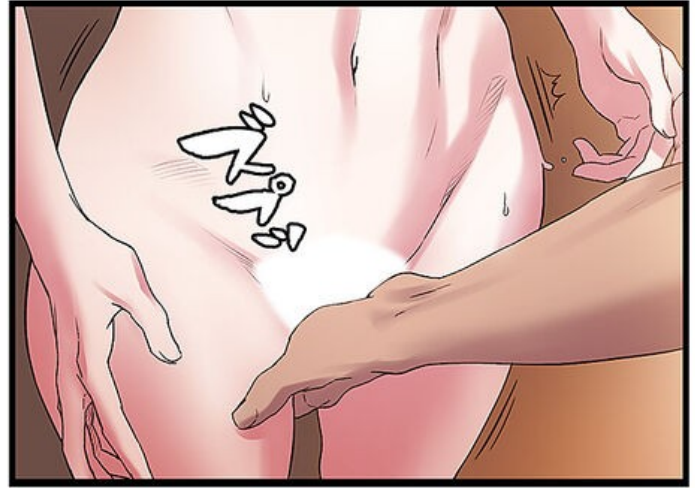


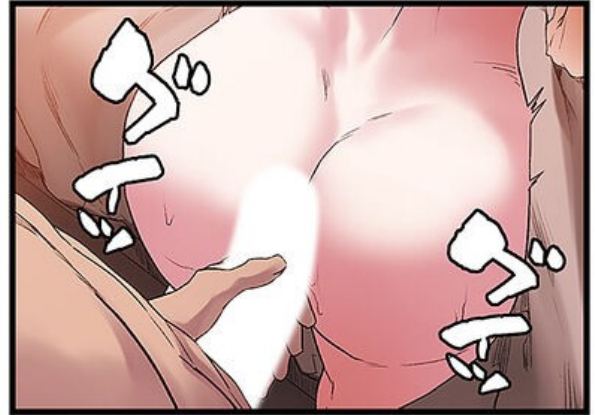
あははく
よう美穂













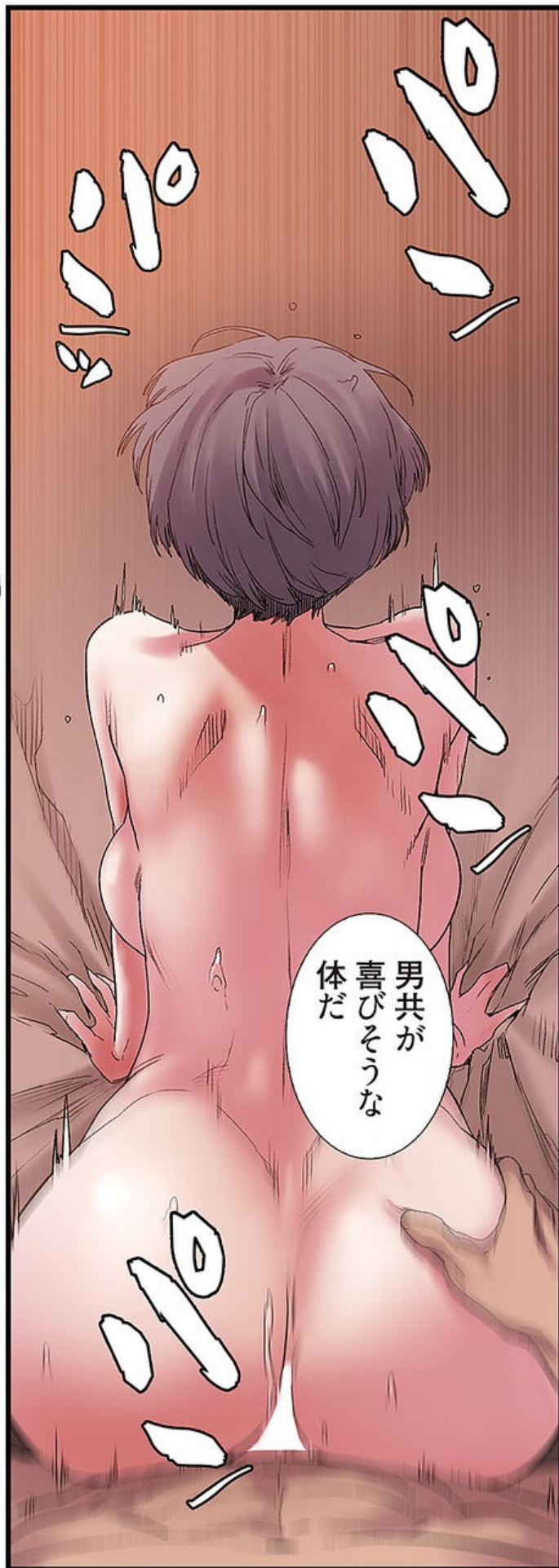
お前は
高く売れる



あんなに…
いったい
何を考え
てるの？



俺はお前の
事情なんか
知ったこっちゃ
ねえ



男共が
喜びそうな
体だ



だが助けが
必要なら
俺と
一緒にいろ

俺がお前を
守ってやる

家に
住ませ

飯を
食わせ

金を
与え

全ての
危険から
守ってやる



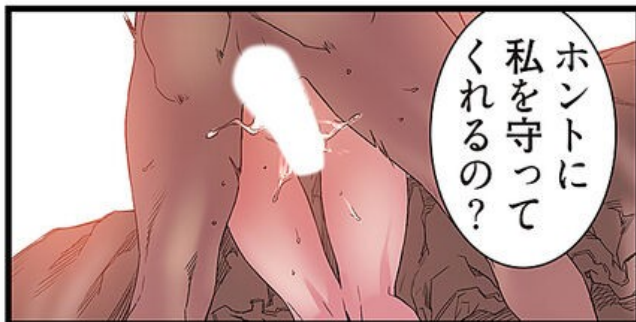
ああ
お前はかなり
運がいい

本当に…
そんなことが
できるの？

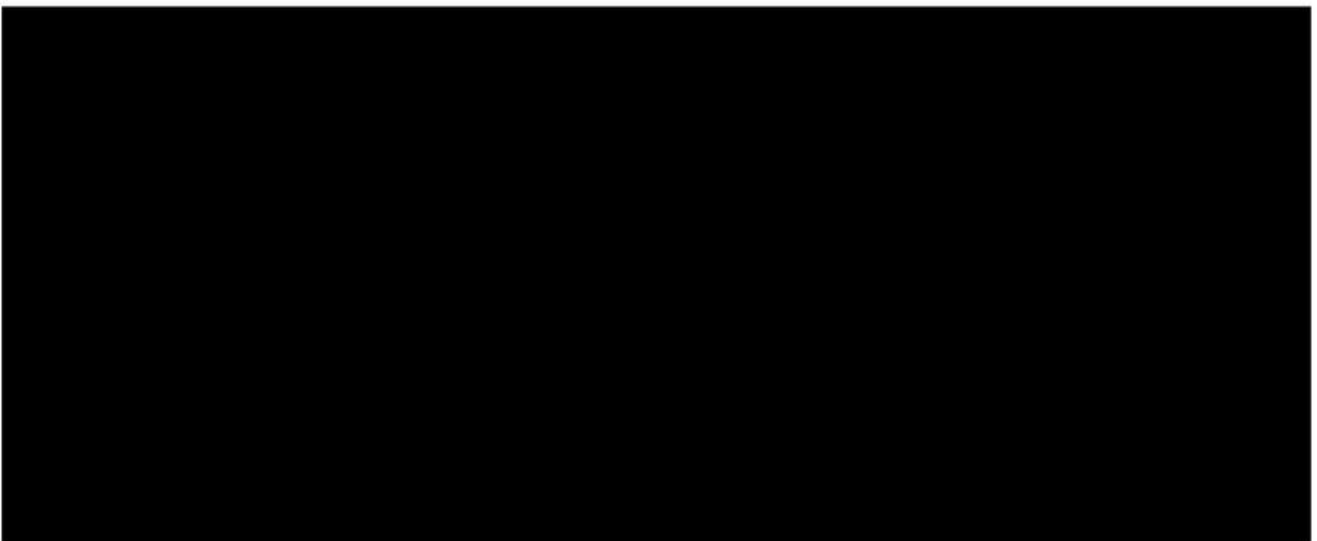
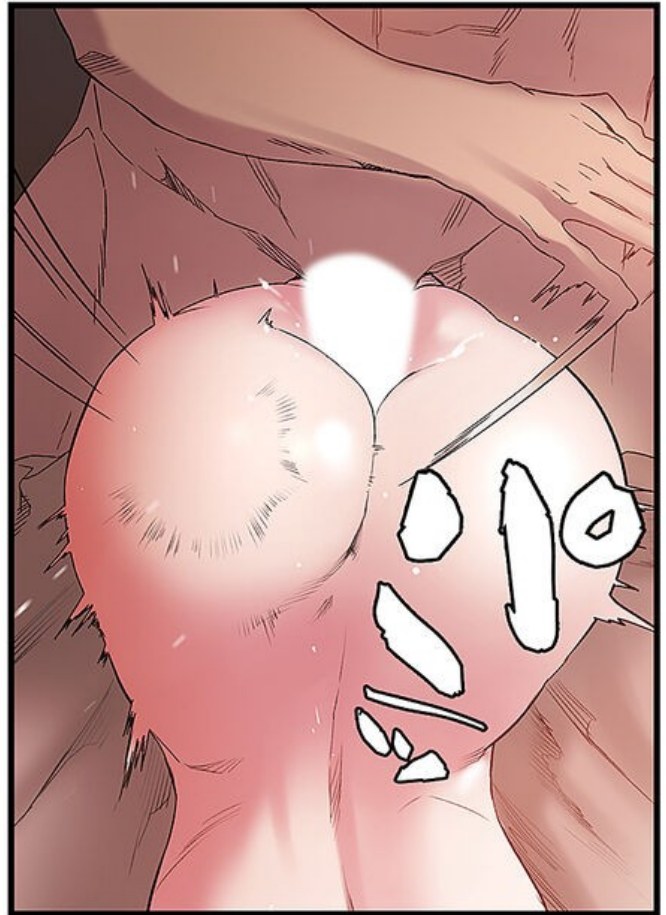


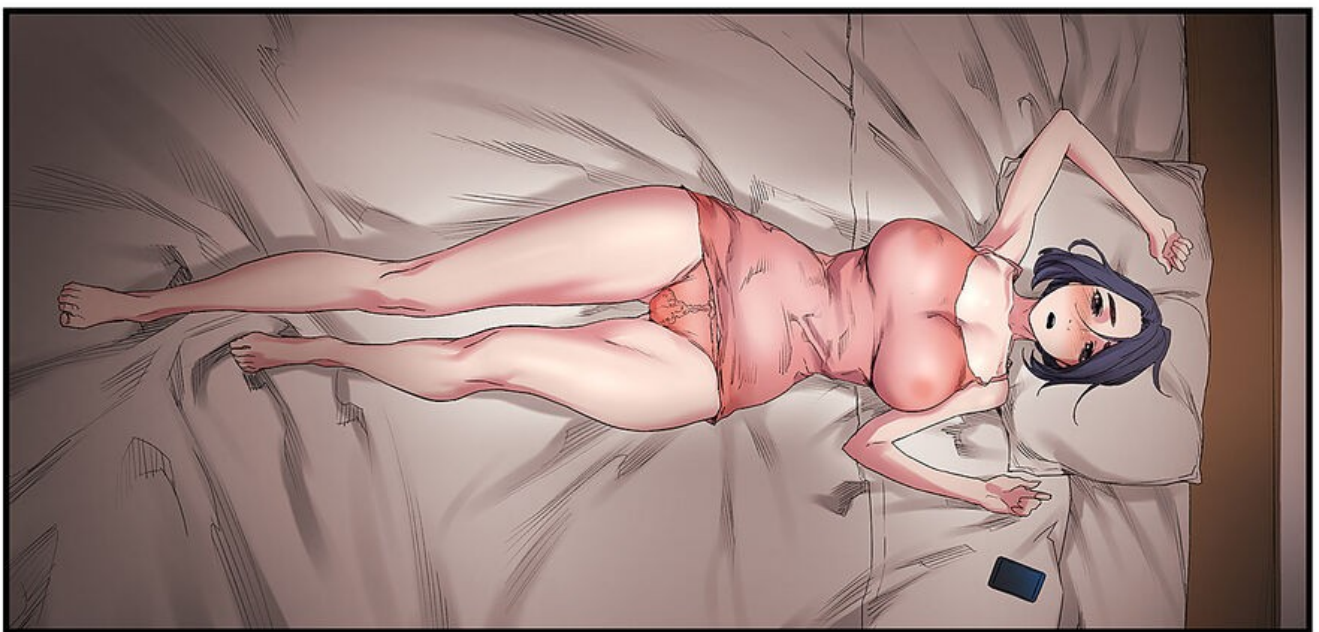
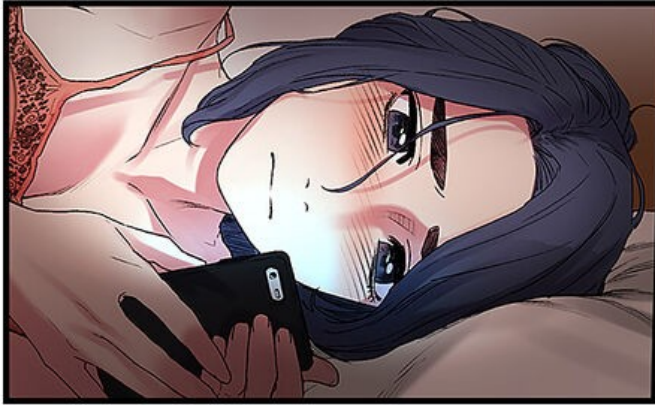
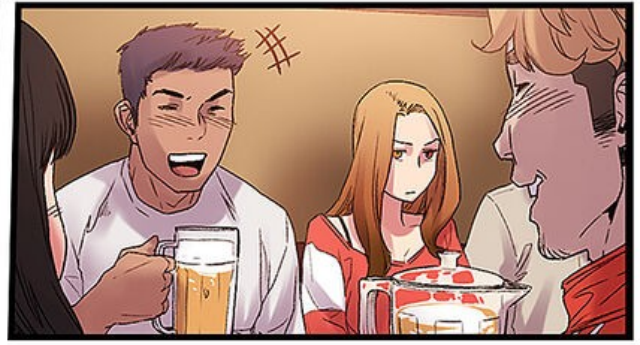
俺がお前の
父親になって
やるってんだ

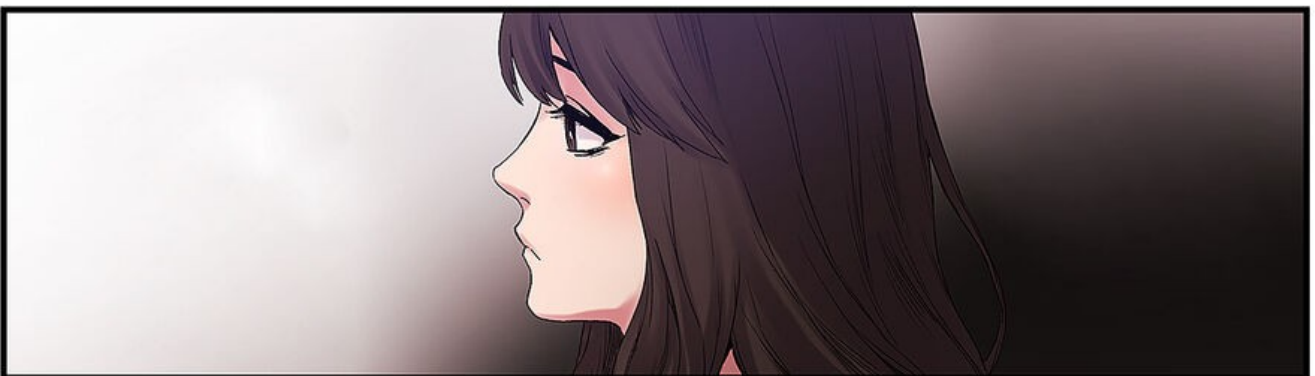
父親だろ？
そういう存在は

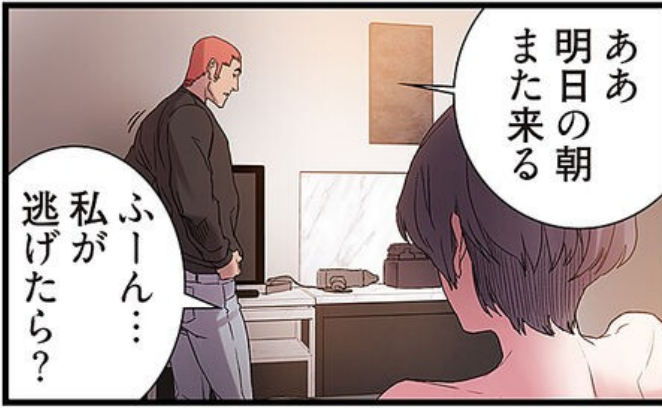


ホントに
私を守って
くれるの？



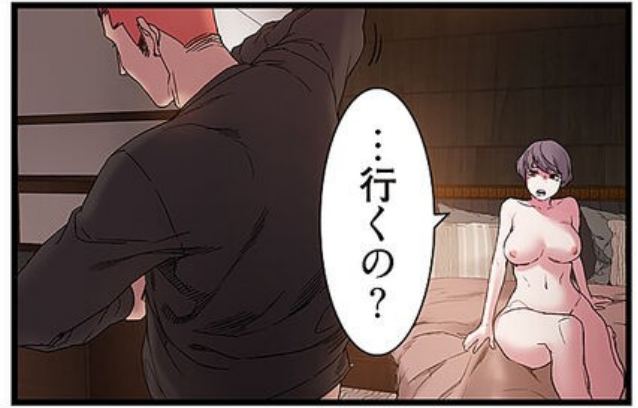






ああ
明日の朝
また来る

ふーん…
私が
逃げたら？



…行くの？

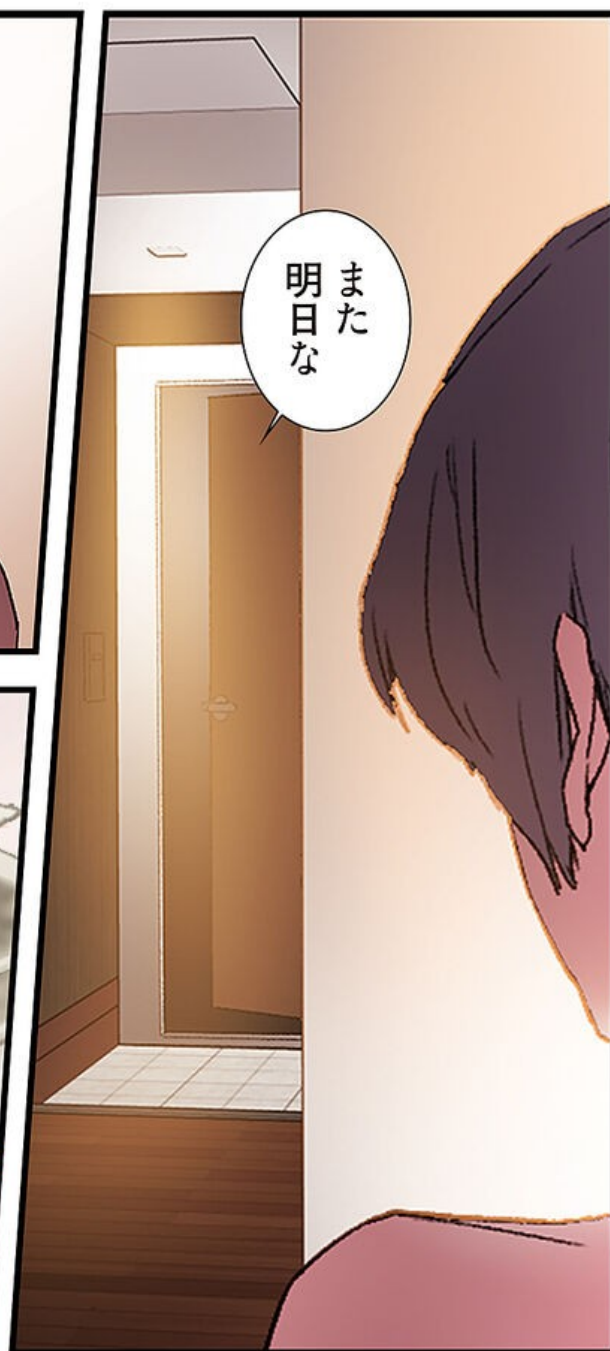
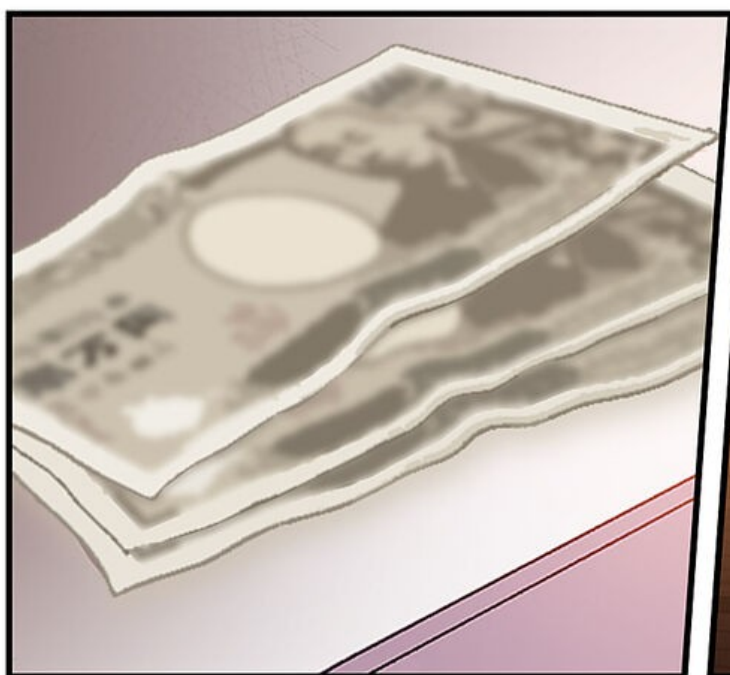
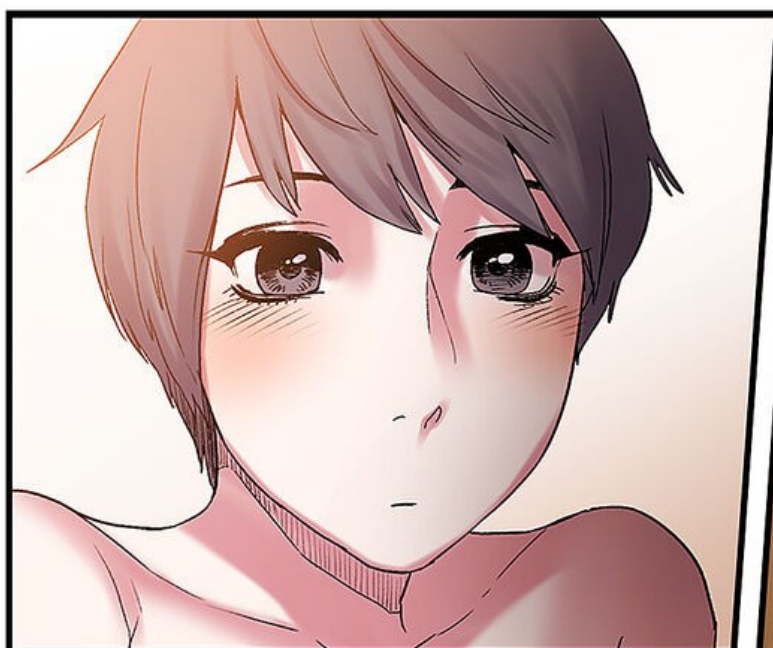


逃げる？

意味が
わからんな

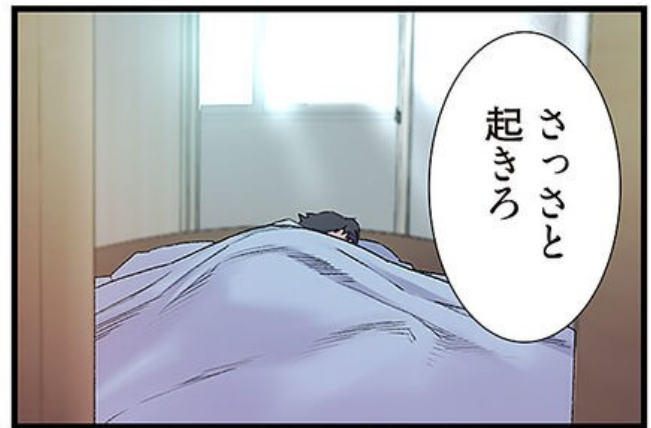
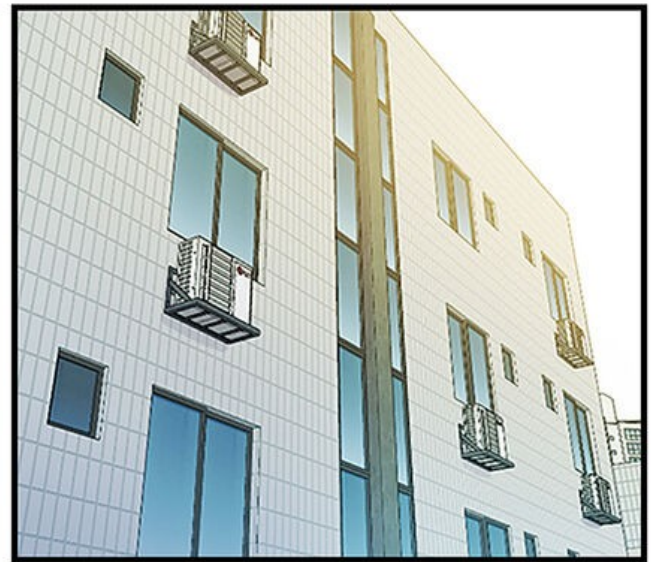


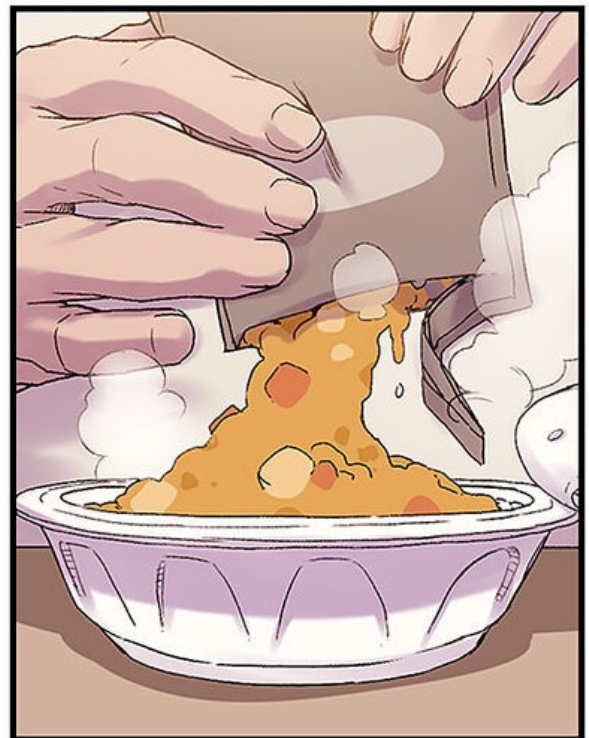
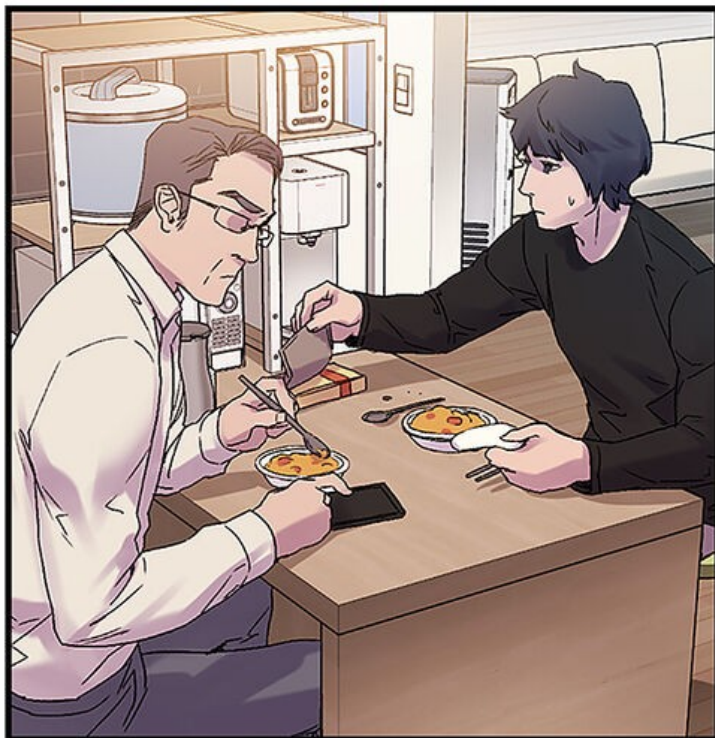
逃げたいなら
逃げればいい
別にお前を
縛るつもりは
ない

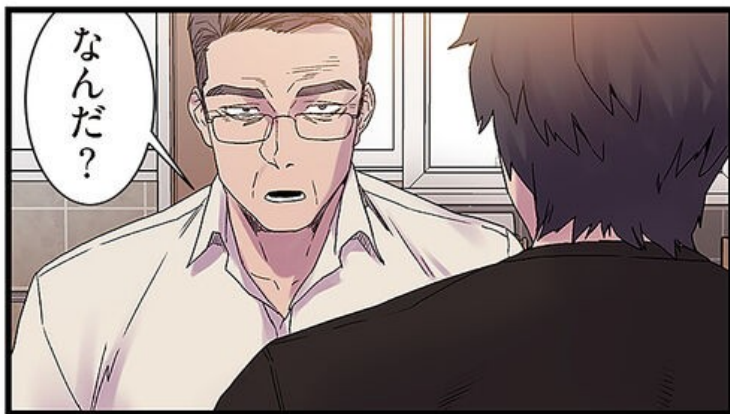


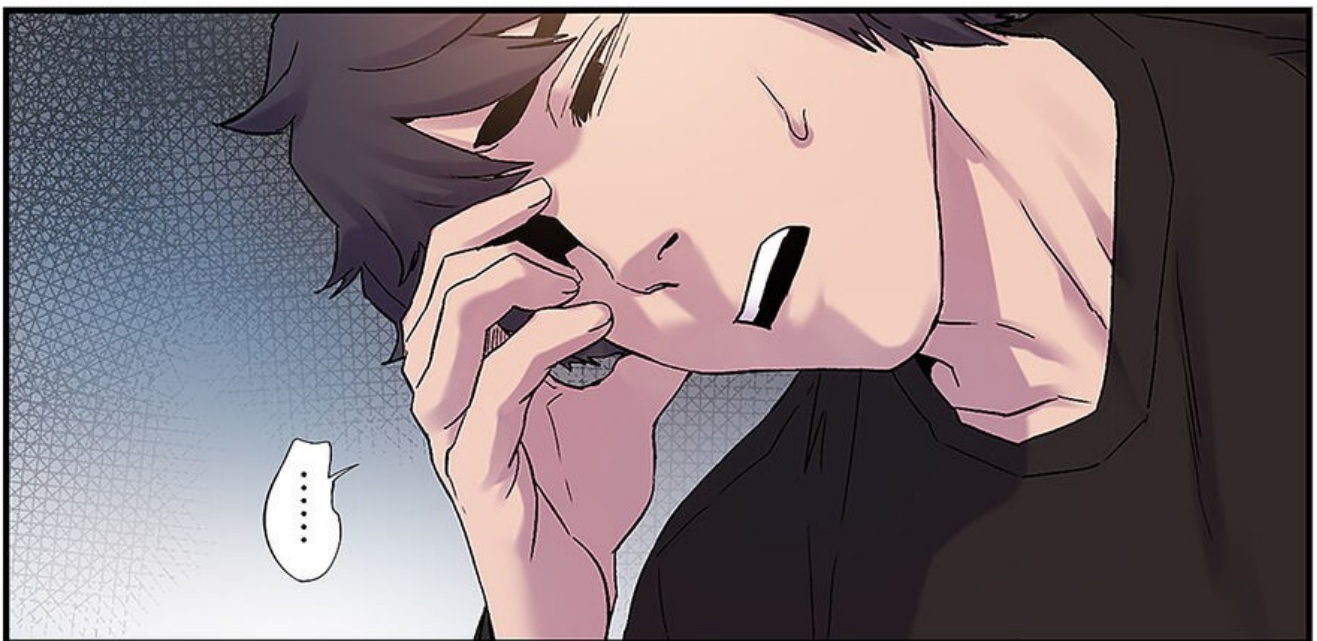
生殘賭博

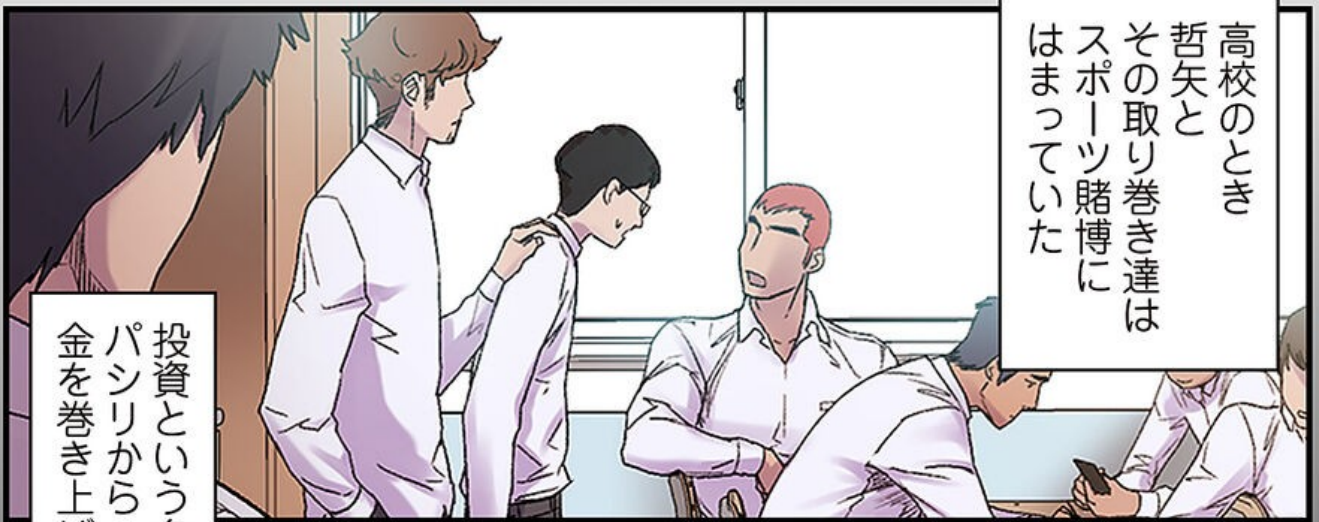
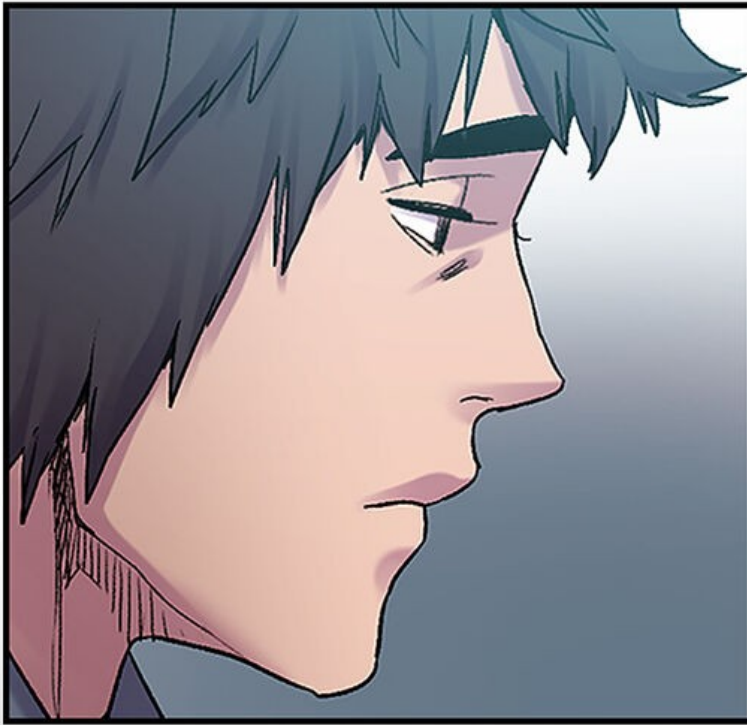
生殘賭博





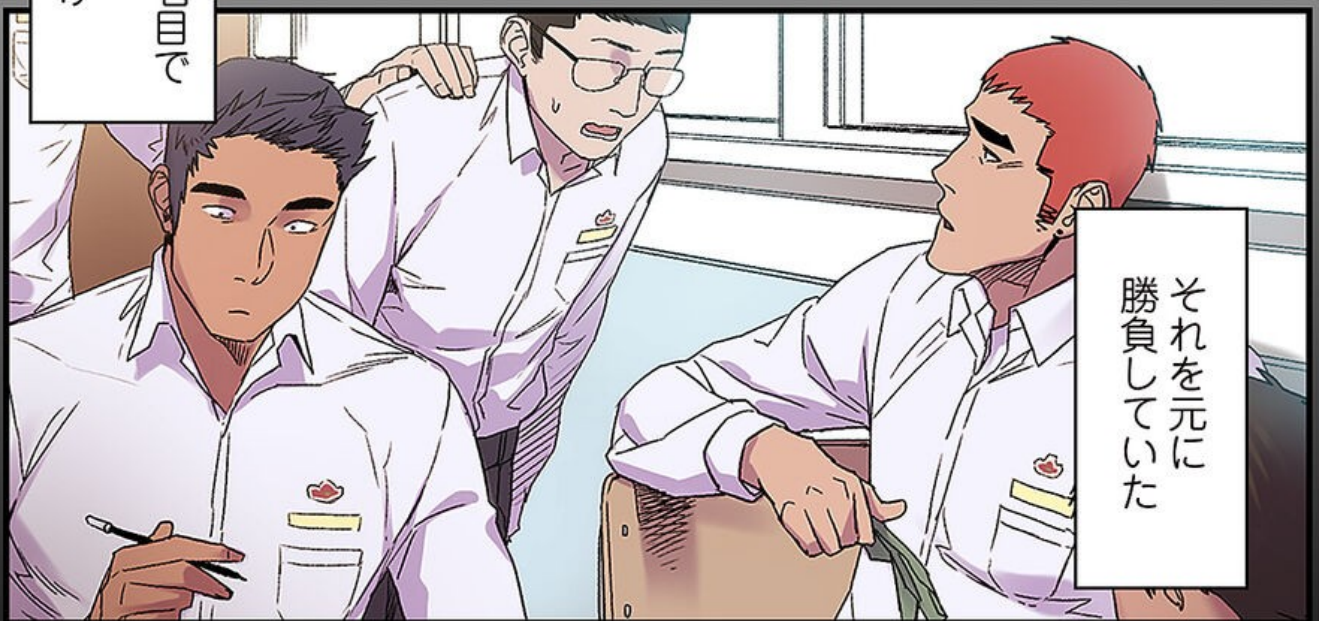






高校のとき
哲矢と
その取り巻き達は
スポーツ賭博に
はまっていた

投資という名目で
パシリから
金を巻き上げ



それを元に
勝負していた



絶対パレハが
勝つに決まってるよ

おいおい
今まで連戦連勝なのに
ルーメなんかには負けるかよ

ルーメは弱小チームだろ
今時そんなことも知らねえ
アホなんているのか？
ハンデ勝ちでいっとけ

もちろん
賭けに負けても
パシリに元金が
返されることなどない

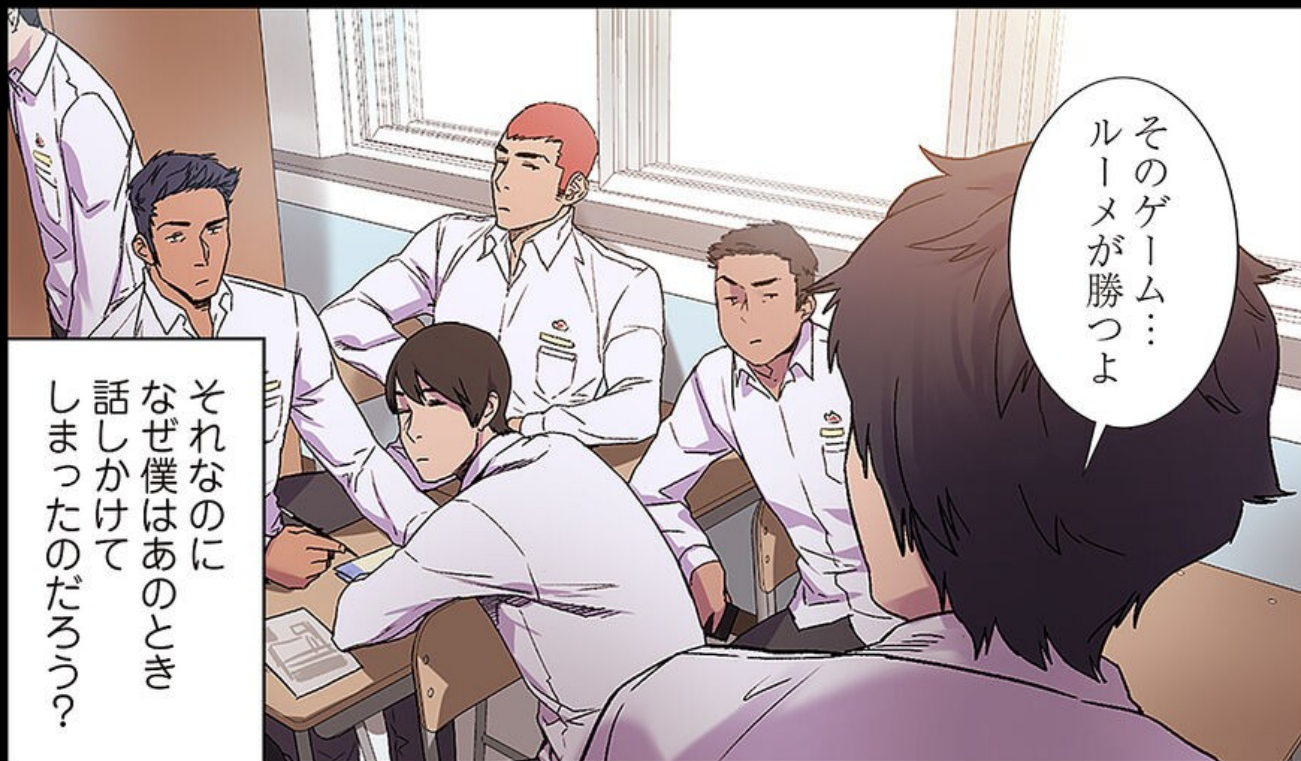
けどよ
もしもってこともあるだろ
ハンデ無しも一応
賭けとこうぜ



引き分けは絶対無い
勝ちでいいって

そんな難しく
考えるなよ
ハンデ勝ちで
いっとけ
ハンデ勝ち

むしろ
再投資だと言
さらに多くの金を
むしり取っていく



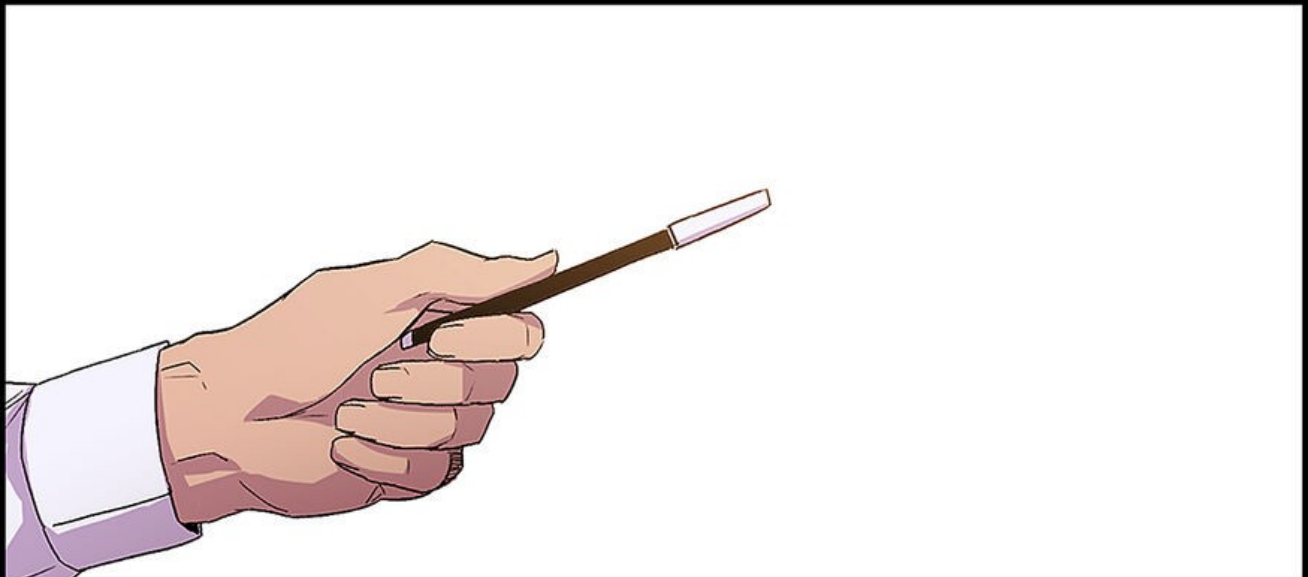
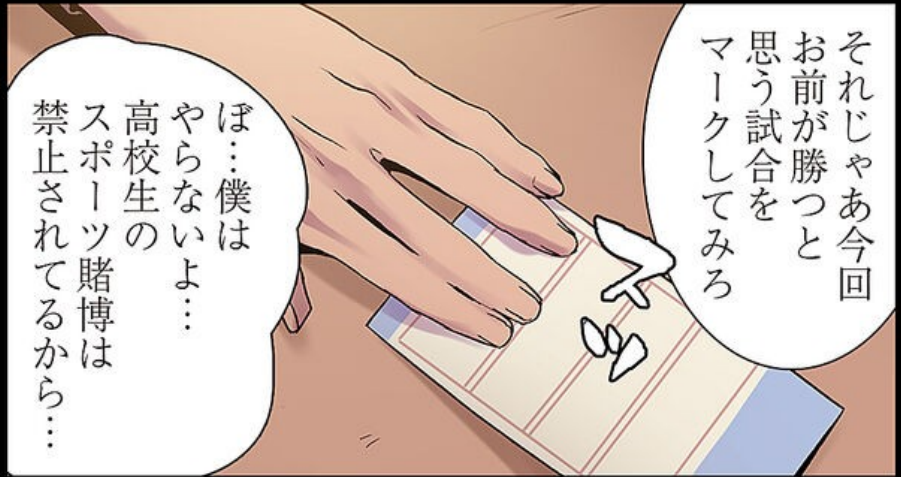
パレハは今
連戦連勝中だけど
選手たちの疲労は
ピークの状態
なんだ

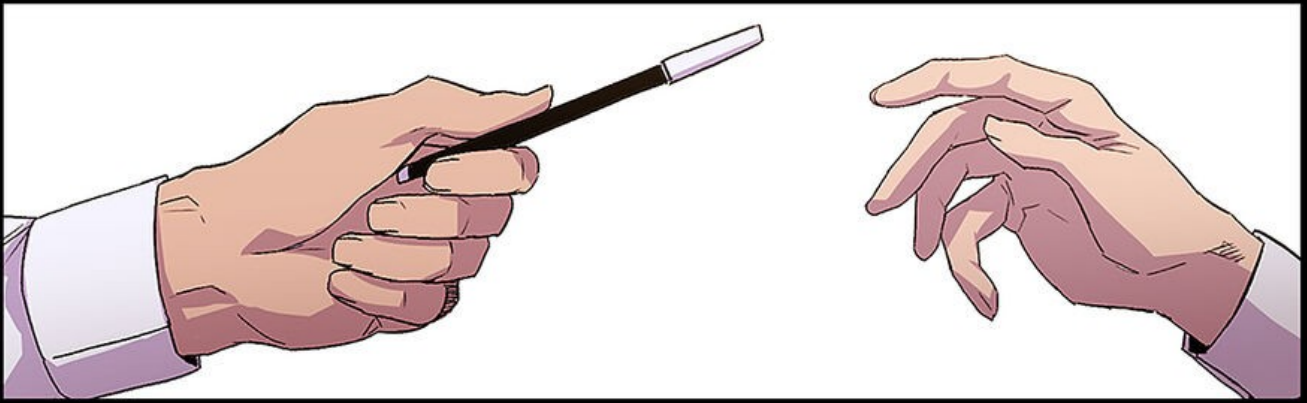
この前のリーグ戦も
主力のリッシが
フルタイムで出てたし

サビエが退場して
ミッドフィールダーが
手薄な状況で…
主力選手のコンディションも
最高といえないとなると—

準備万端なルーメに
かなりの得点差で
負ける可能性が高い

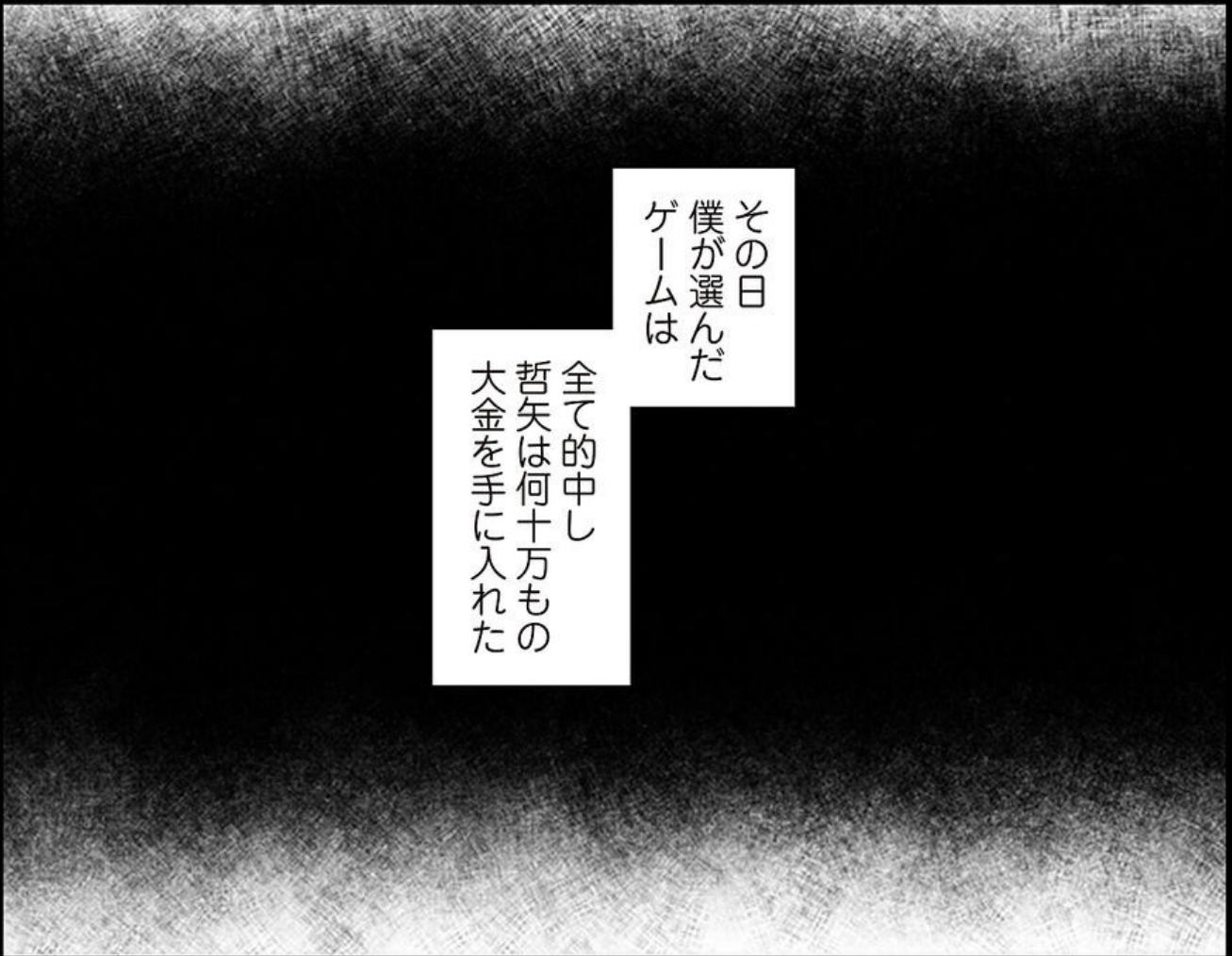






その日
僕が選んだ
ゲームは


全体的中し
哲矢は何十万もの
大金を手に入れた




それから
僕自身も
知らない間に

僕は哲矢の
取り巻きの
ひとりになった





大学受験を諦め
代わりに
スポーツ
ベッティングの
勉強を始める
ことになって



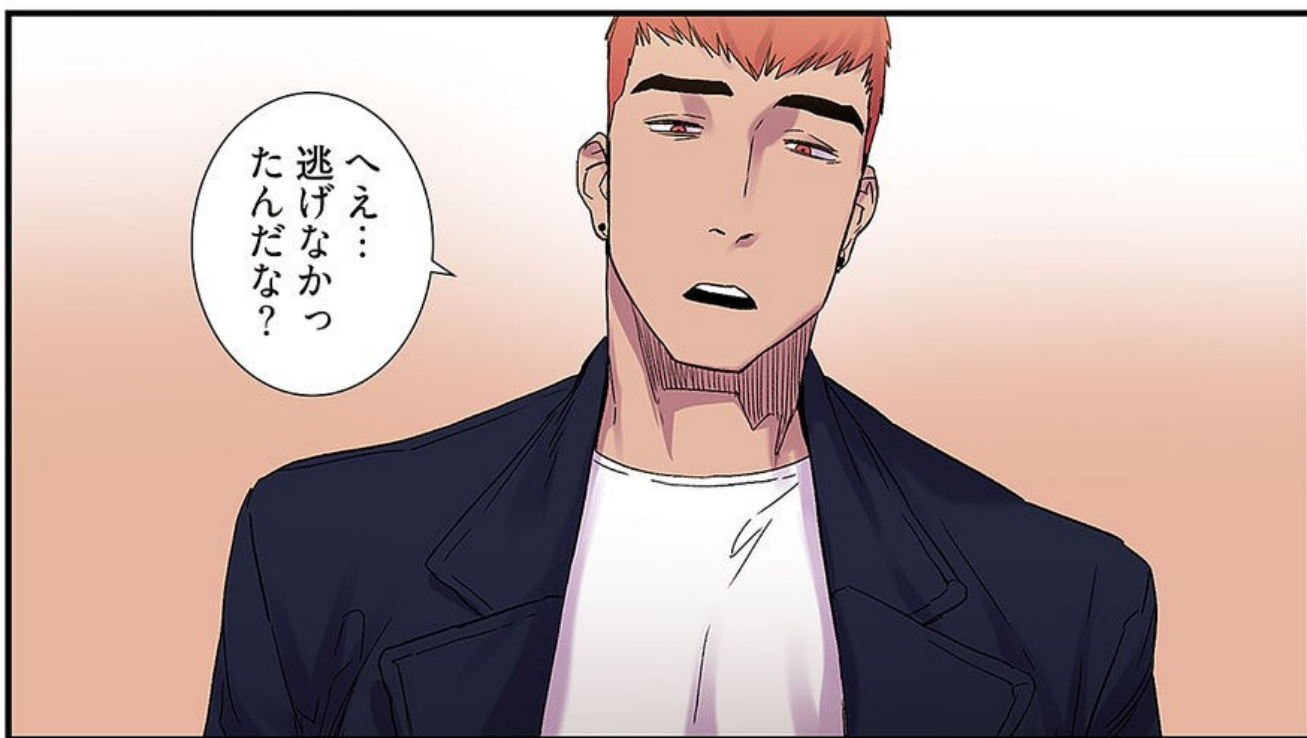
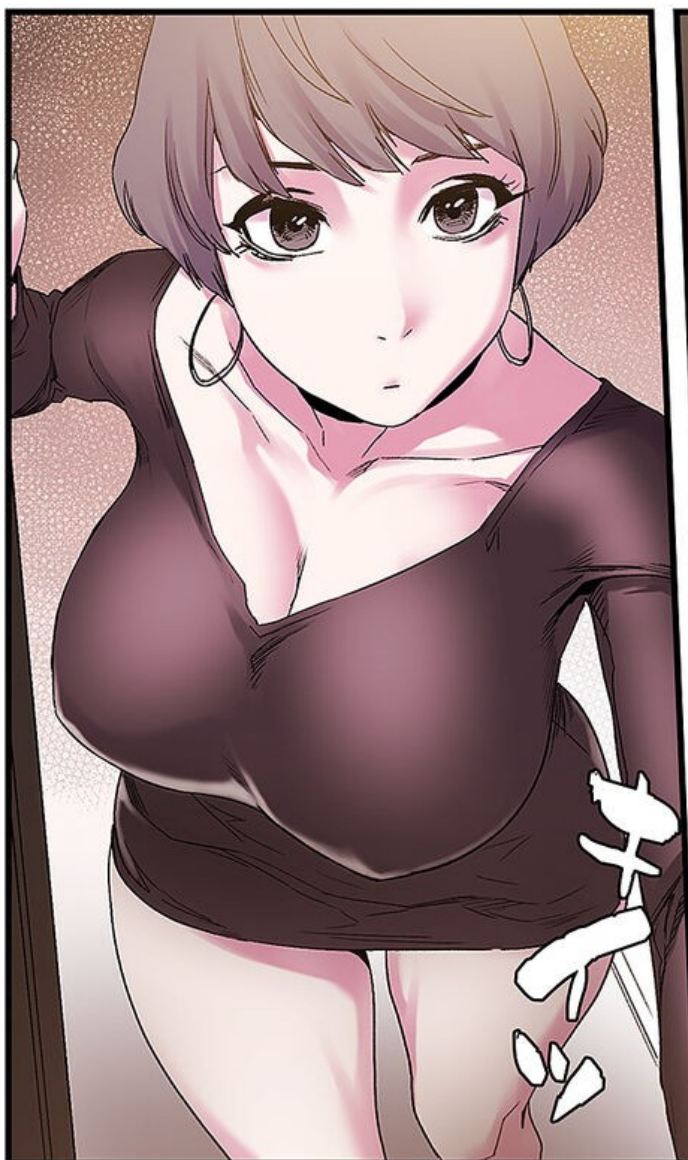
高校を卒業した今も
まだ僕は哲矢の
取り巻きのひとりだ



僕は鉄の鎖で
引きずられる
奴隷であり

銃を
向けられた
捕虜であり

蜘蛛の巣に
かかった虫だ





あんたを信じて
ついてくことに
するわ

オーケー
そりゃ
よかった



それじゃ
朝だし
軽く後ろから
やるか？

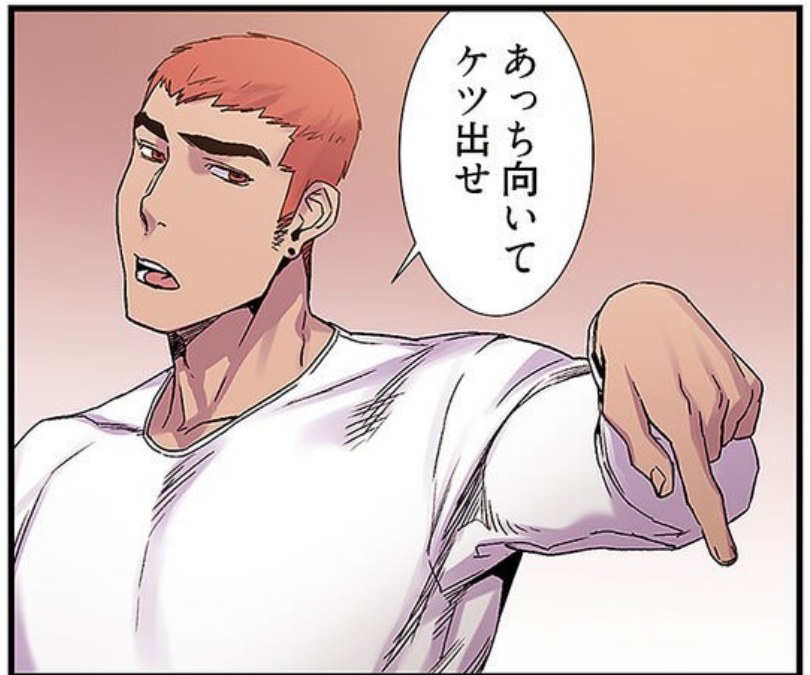
え？



そうよ
いつでも
逃げられるしね



.....



あっち向いて
ケツ出せ

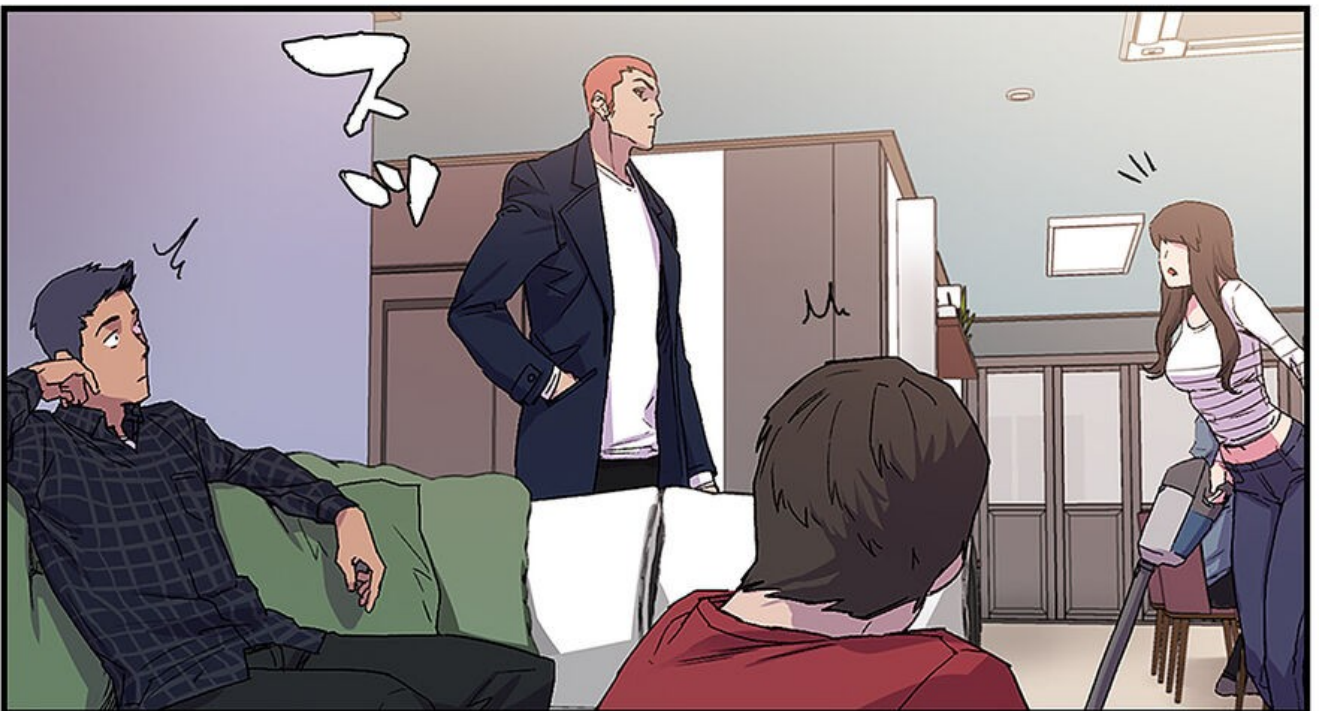
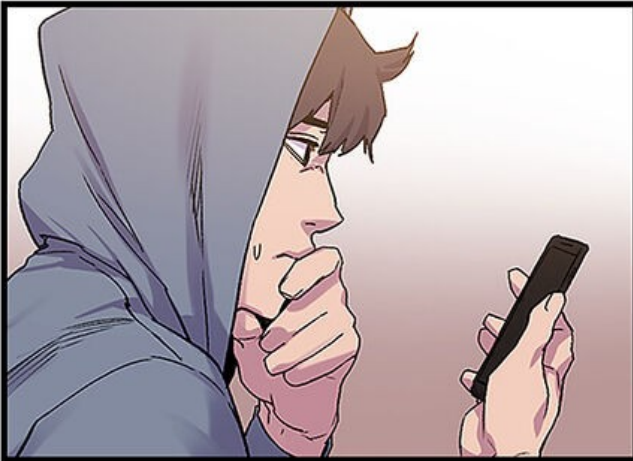


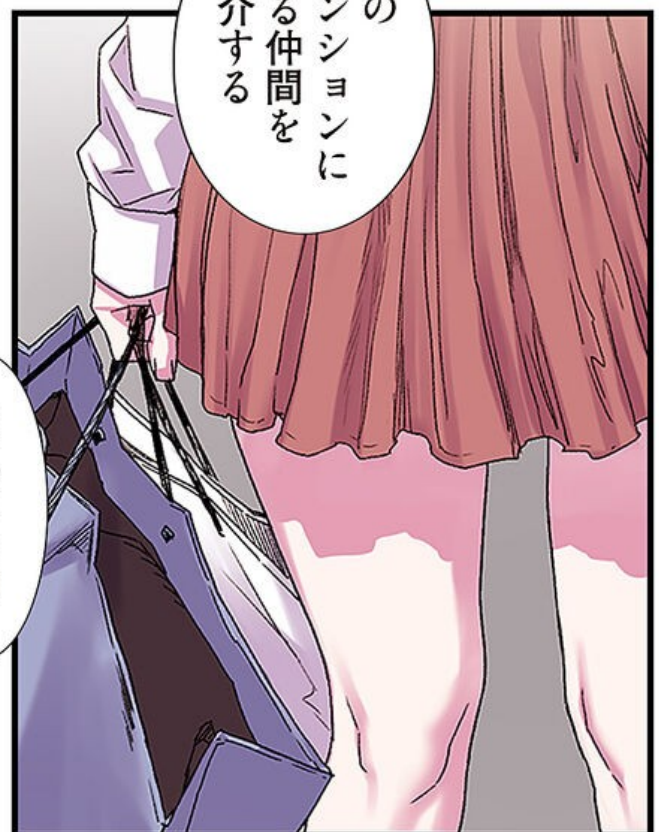
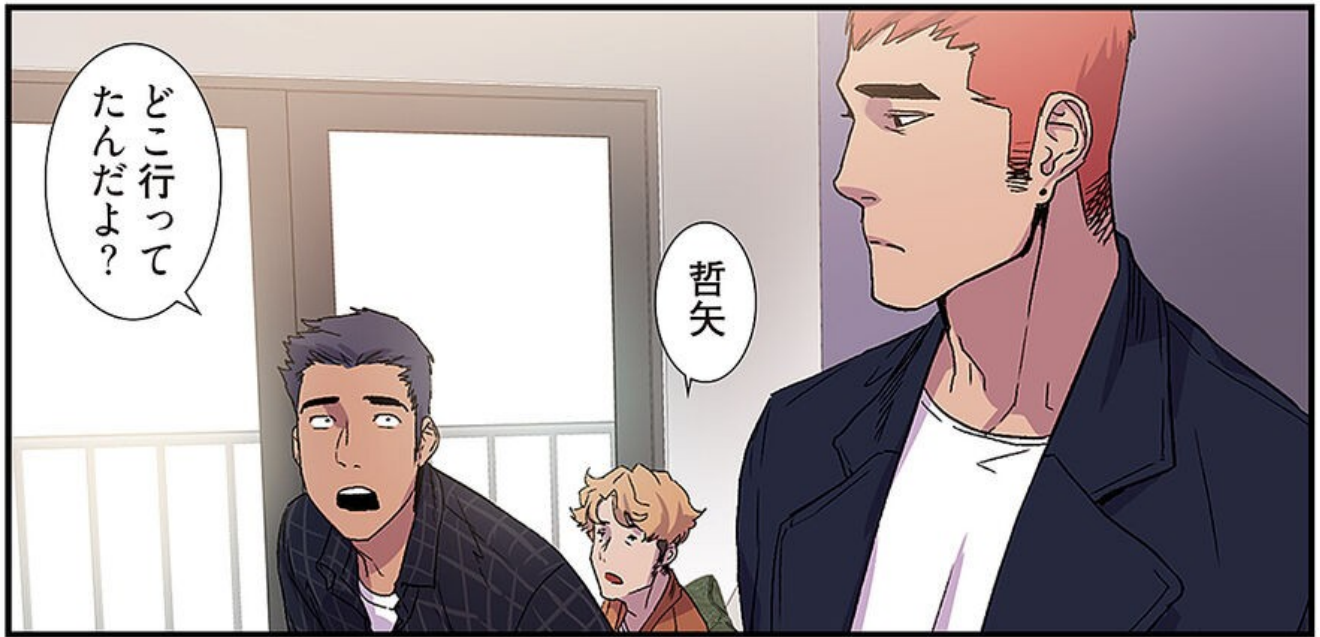
私が
ここまで
するぐらい

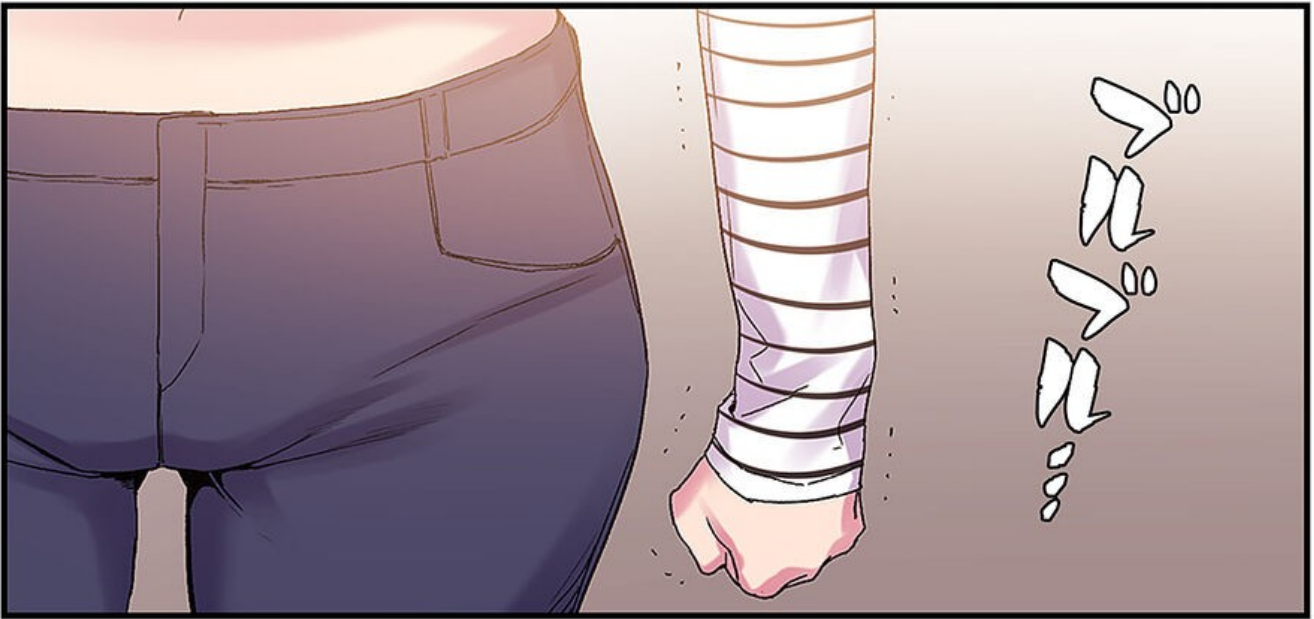
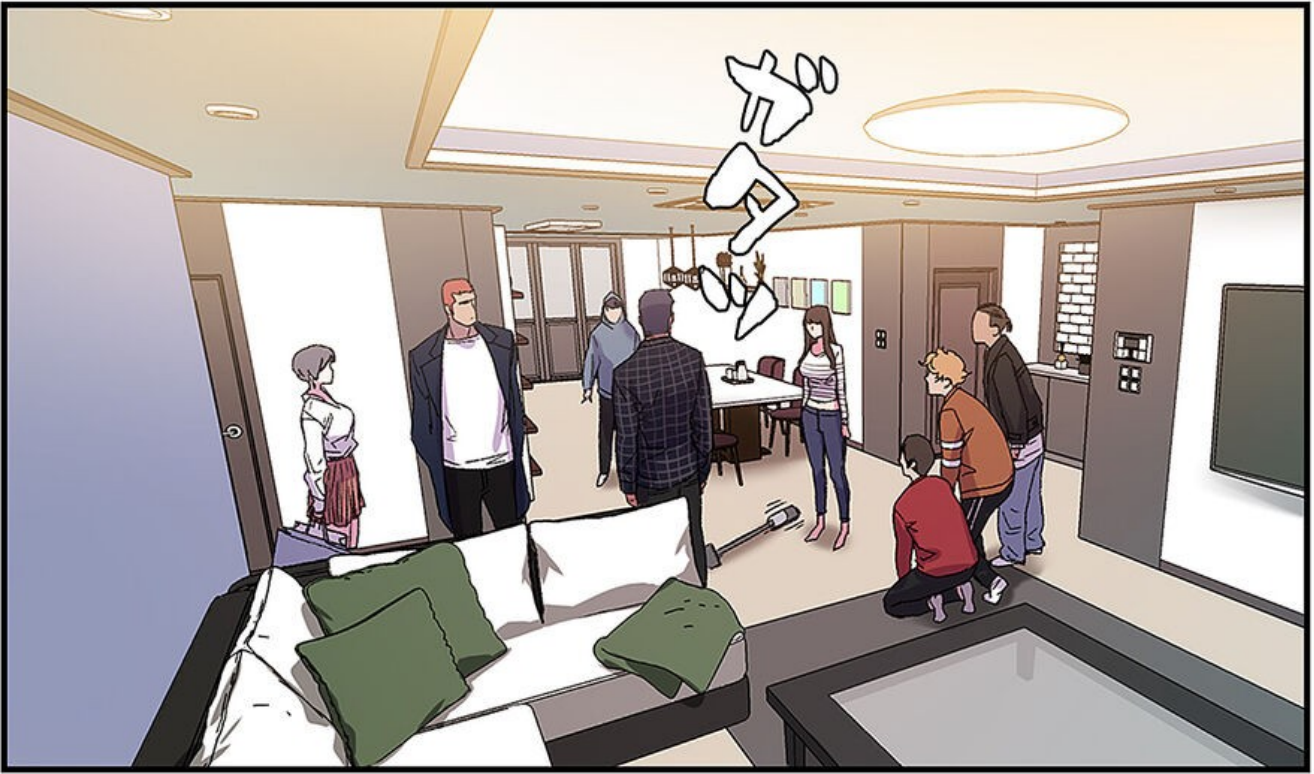
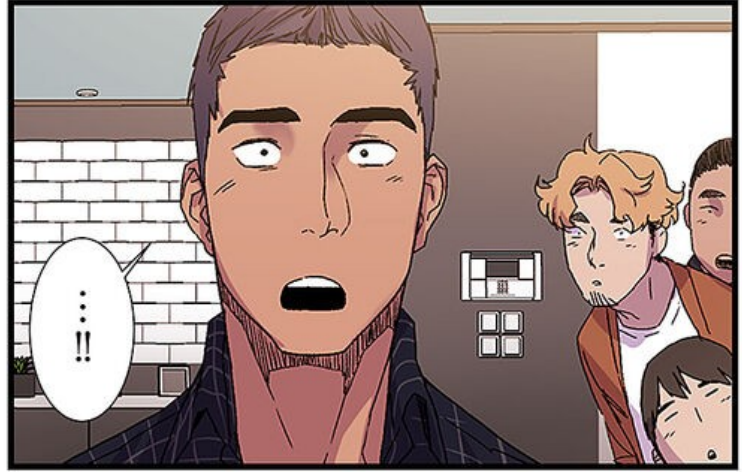
あんたが価値ある
人間なことを
願ってるわ

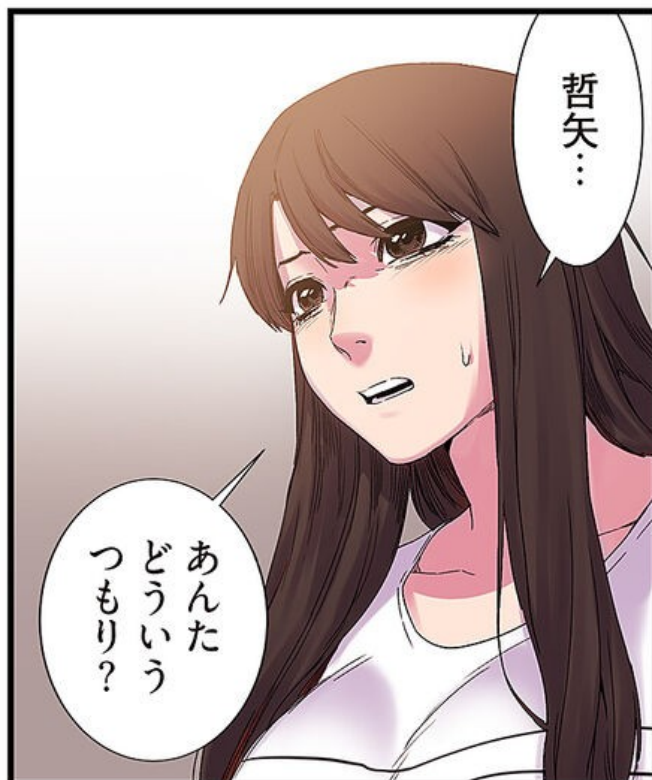


オーケー
そう考えていい







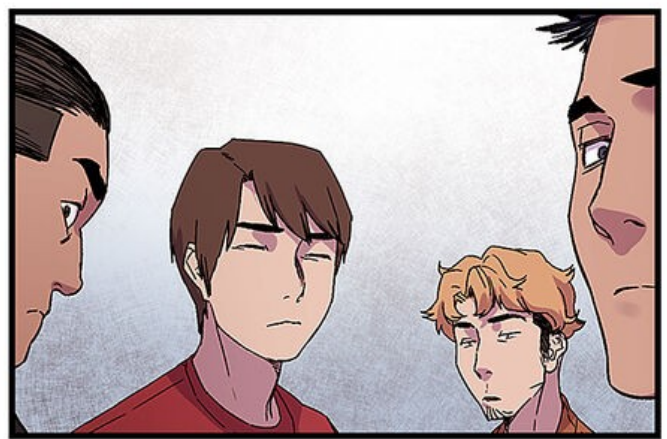


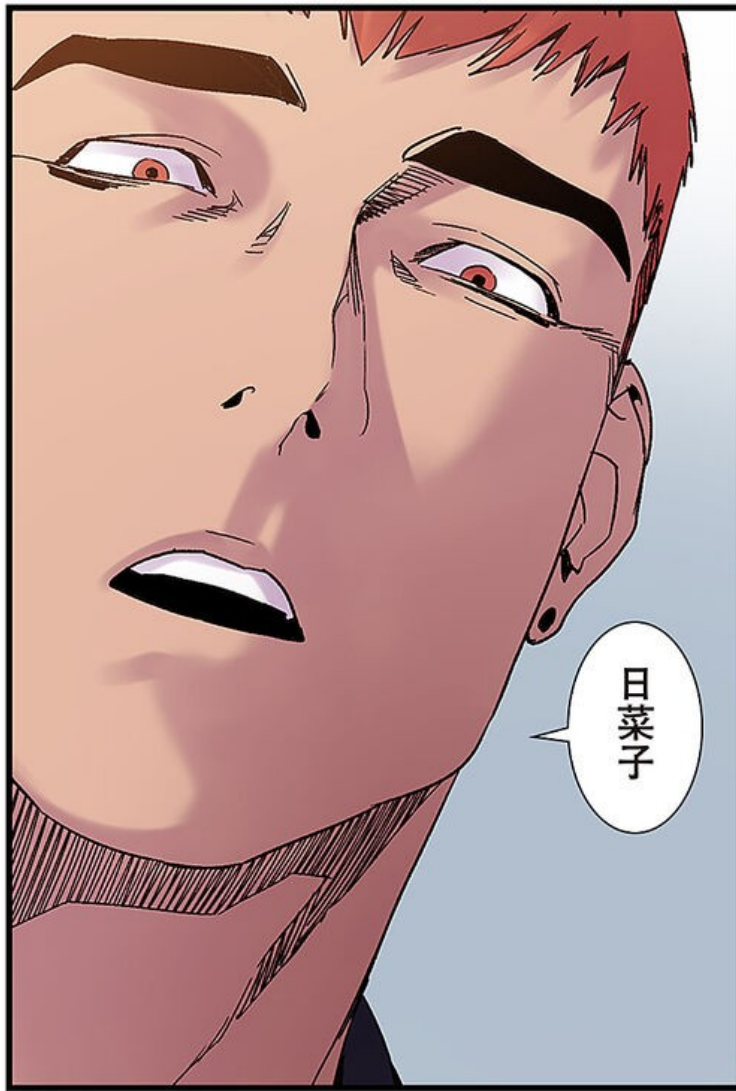
生殘賭博

生殘賭博



第8話 ねるの？





日菜子



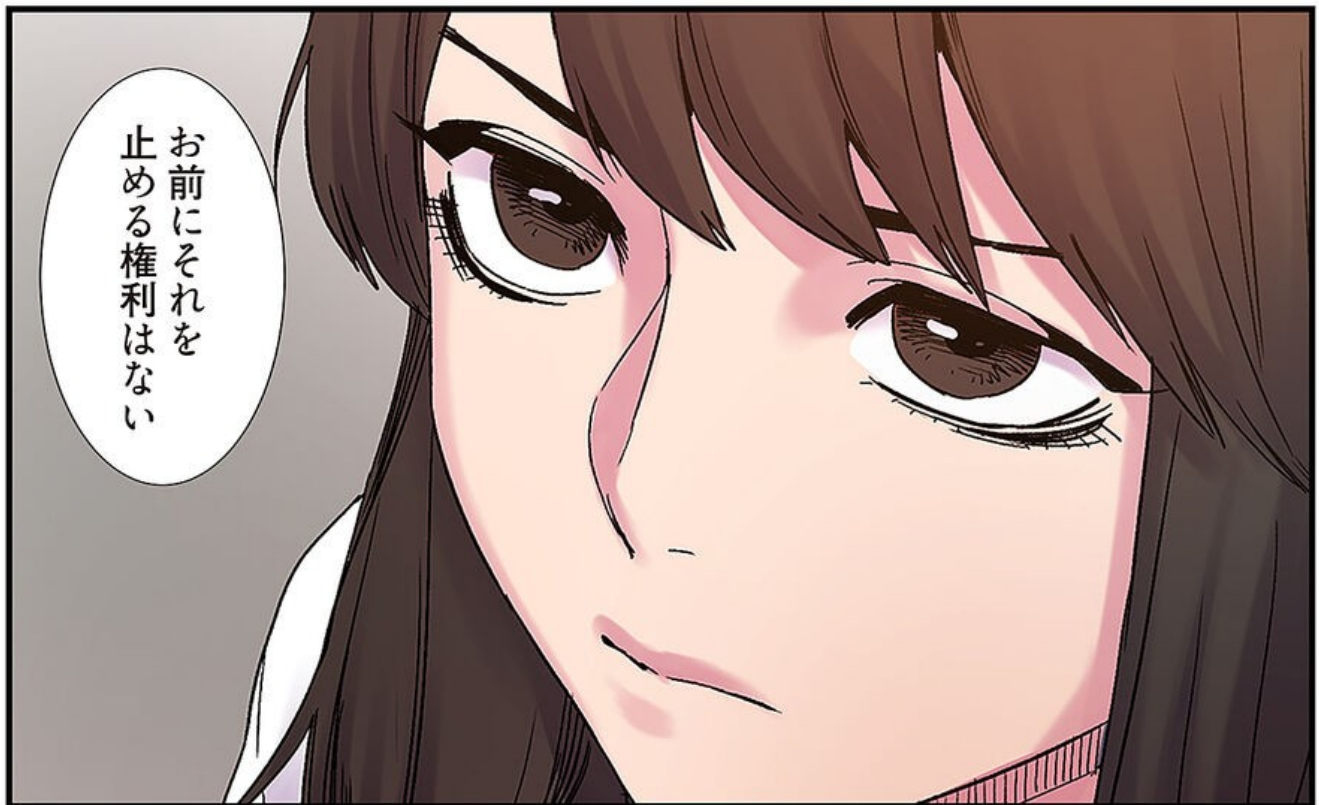
前から話してた
だろ

俺は
ビジネスを
やる

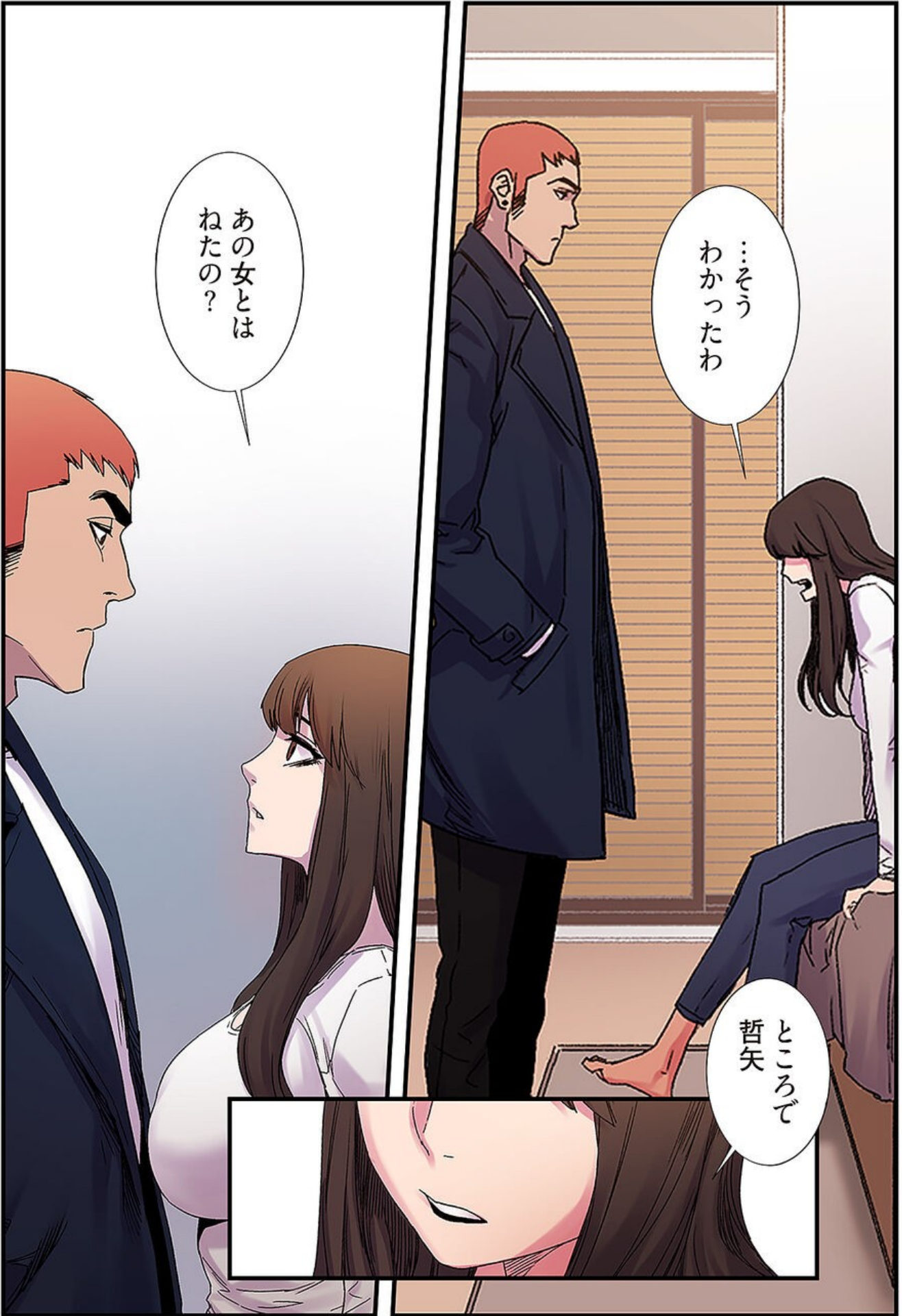


今は
汚い仕事だろうが
キレイな仕事だろうが
選べる余裕はない

なんだって
やってやる



お前にそれを
止める権利はない

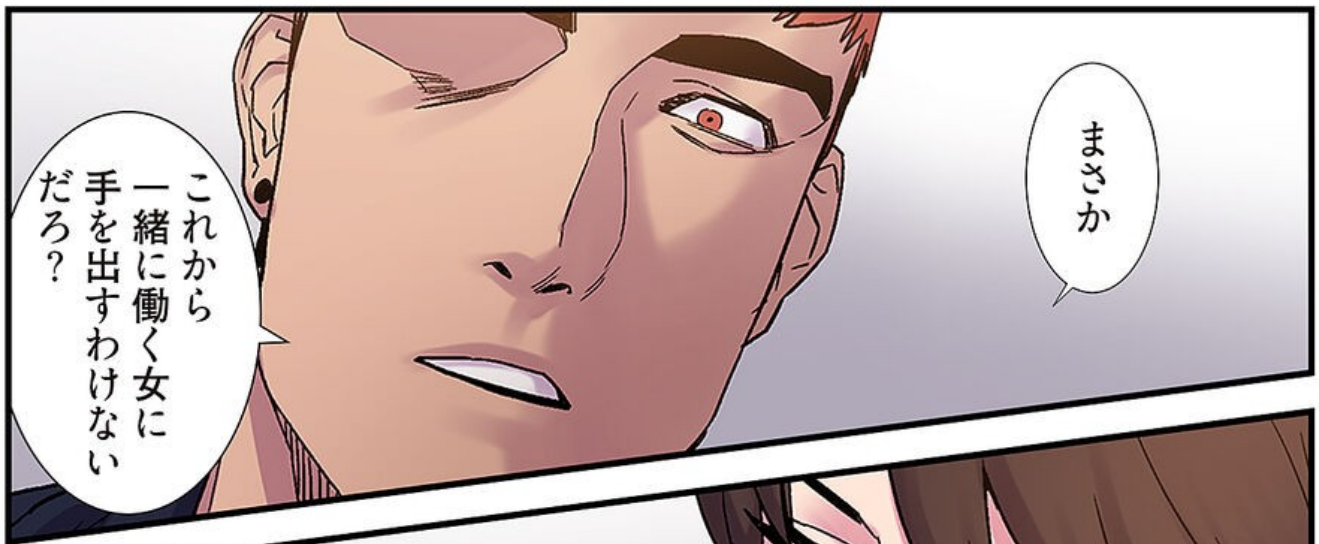


あの女とは
ねたの？

…そう
わかったわ

ところで
哲矢



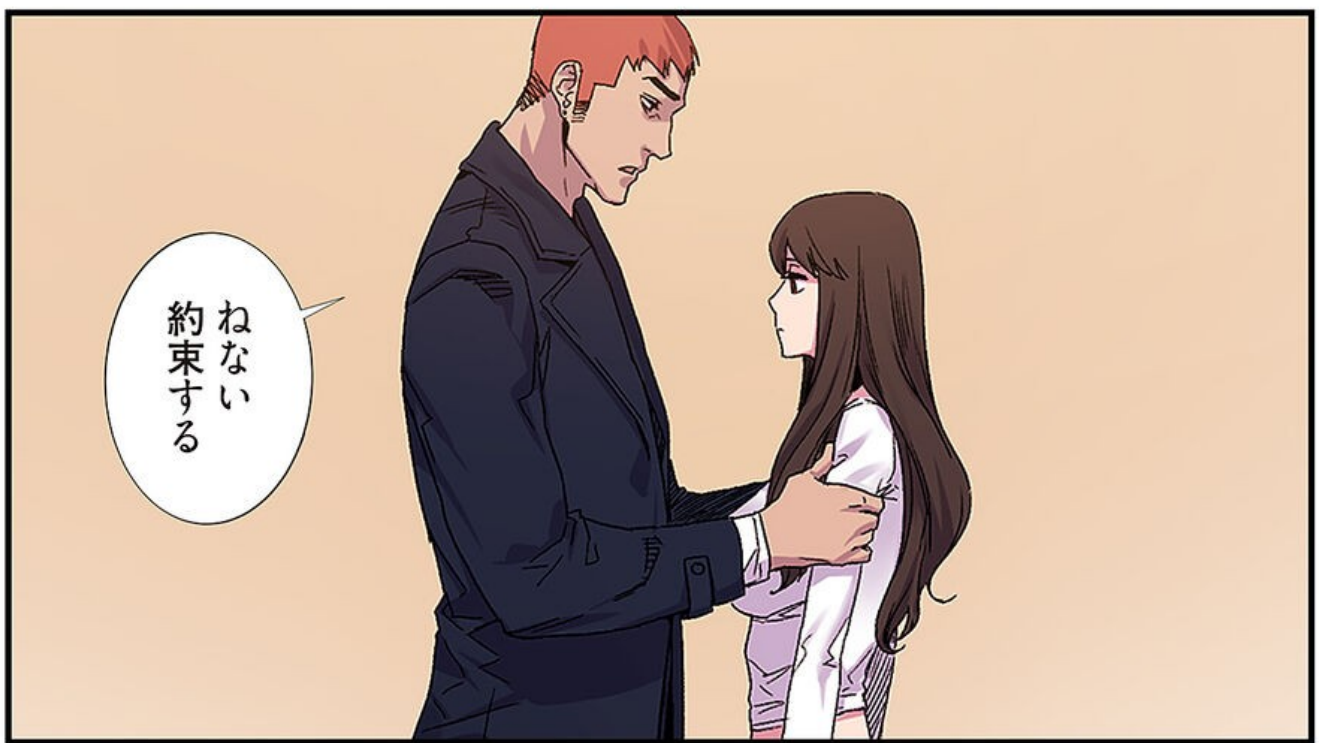


まさか

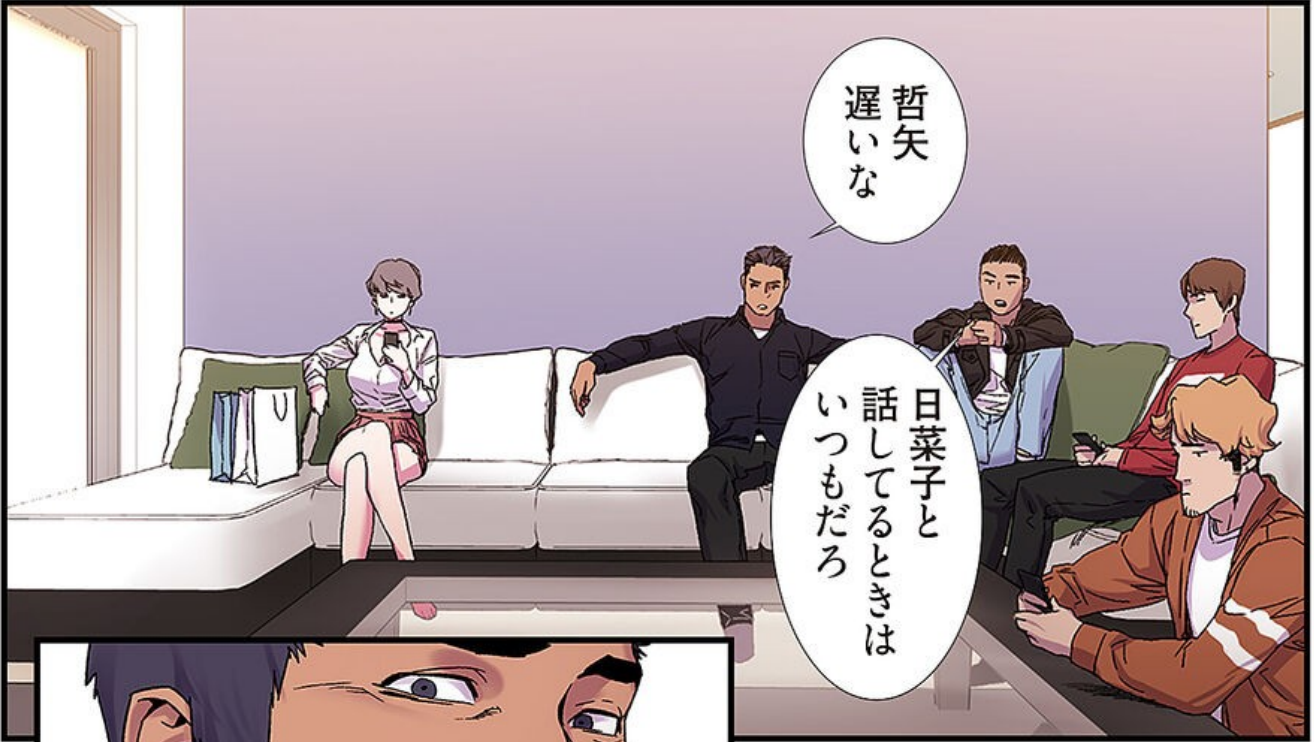
これから
一緒に働く女に
手を出すわけない
だろ？

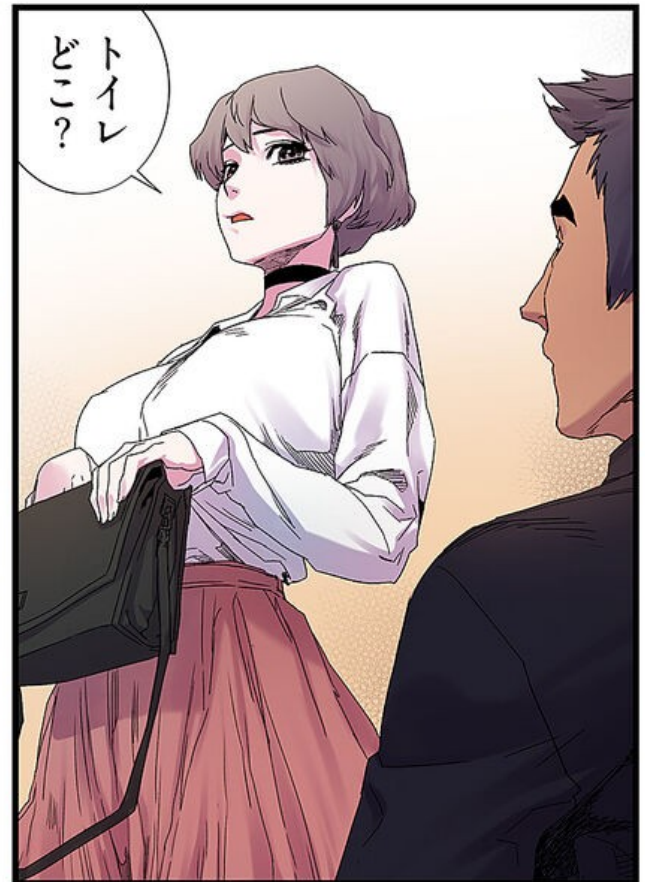
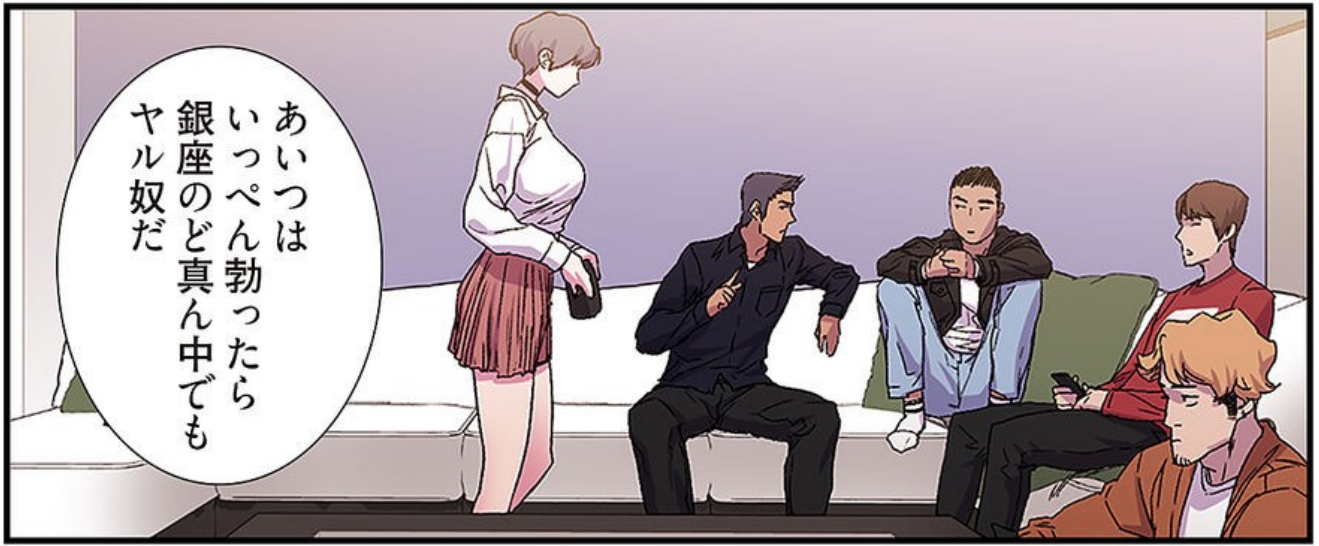
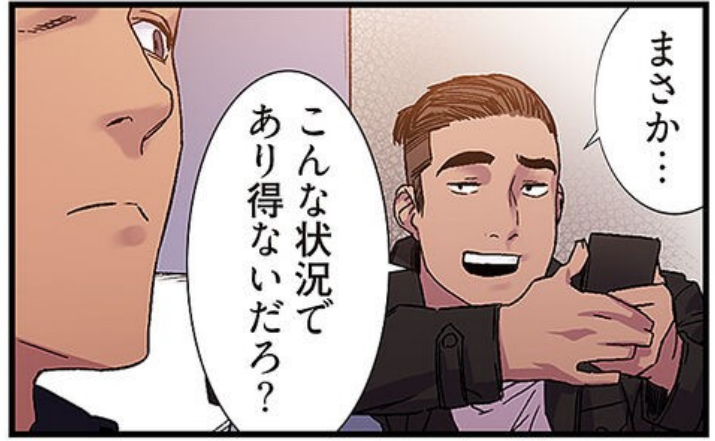


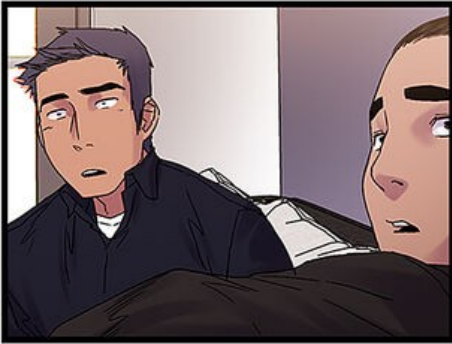
じゃあ
働かない間は
ねるの？



ねない
約束する







哲矢のやつ
あの女どっから
とってきたんだ？
デリヘルか？

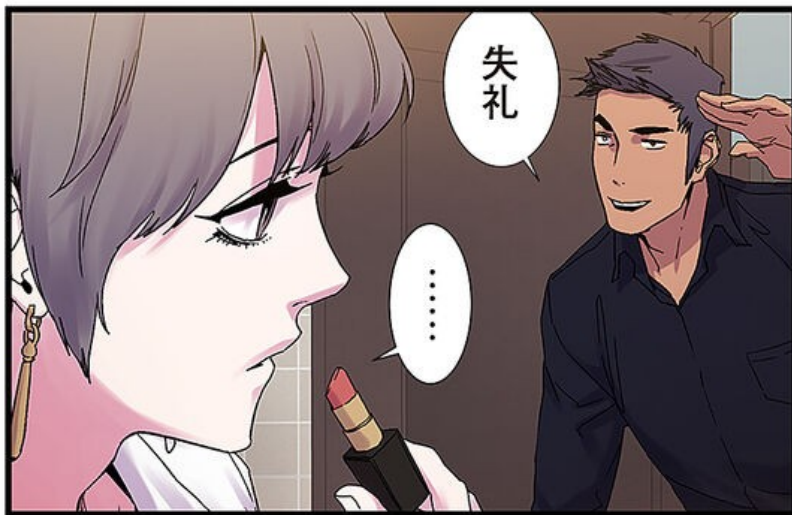


はあ…
それよか
やべえな…
めっちゃ
そそられん
だけど



六本木の
クラブとか
じゃねえの？

さすがだな





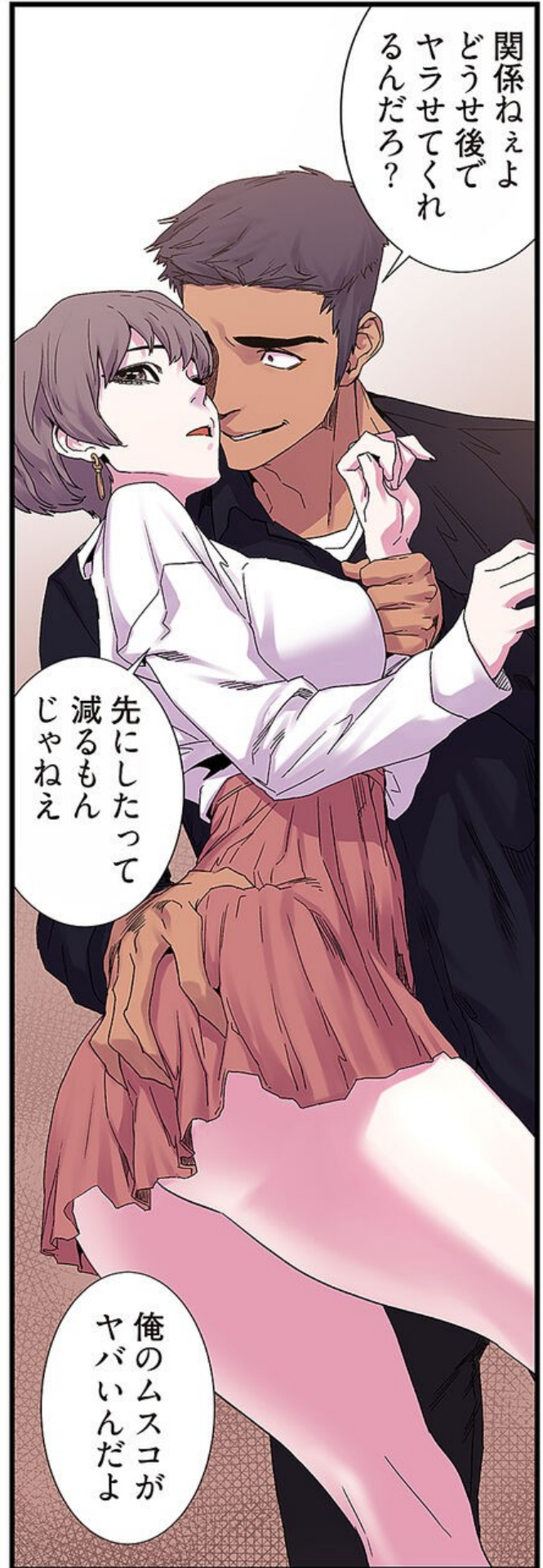
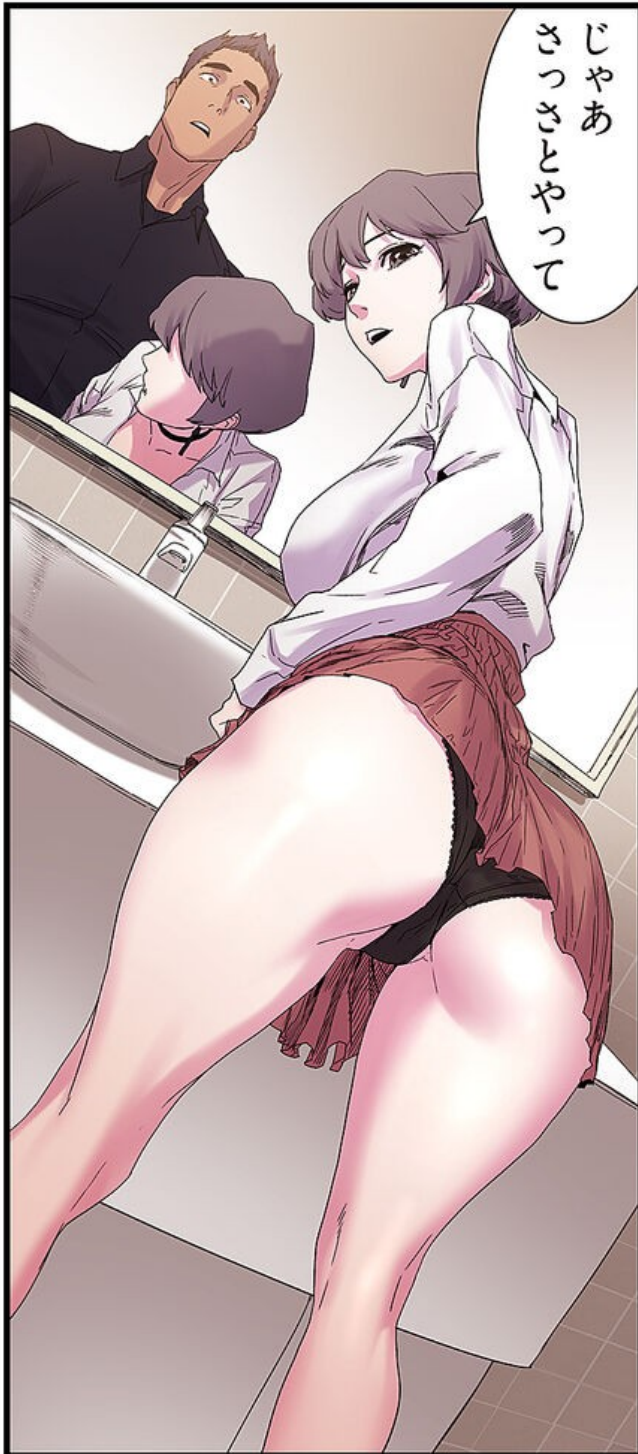
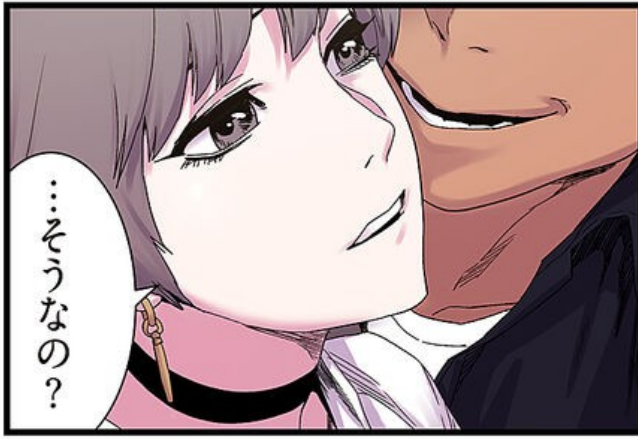
子供…？

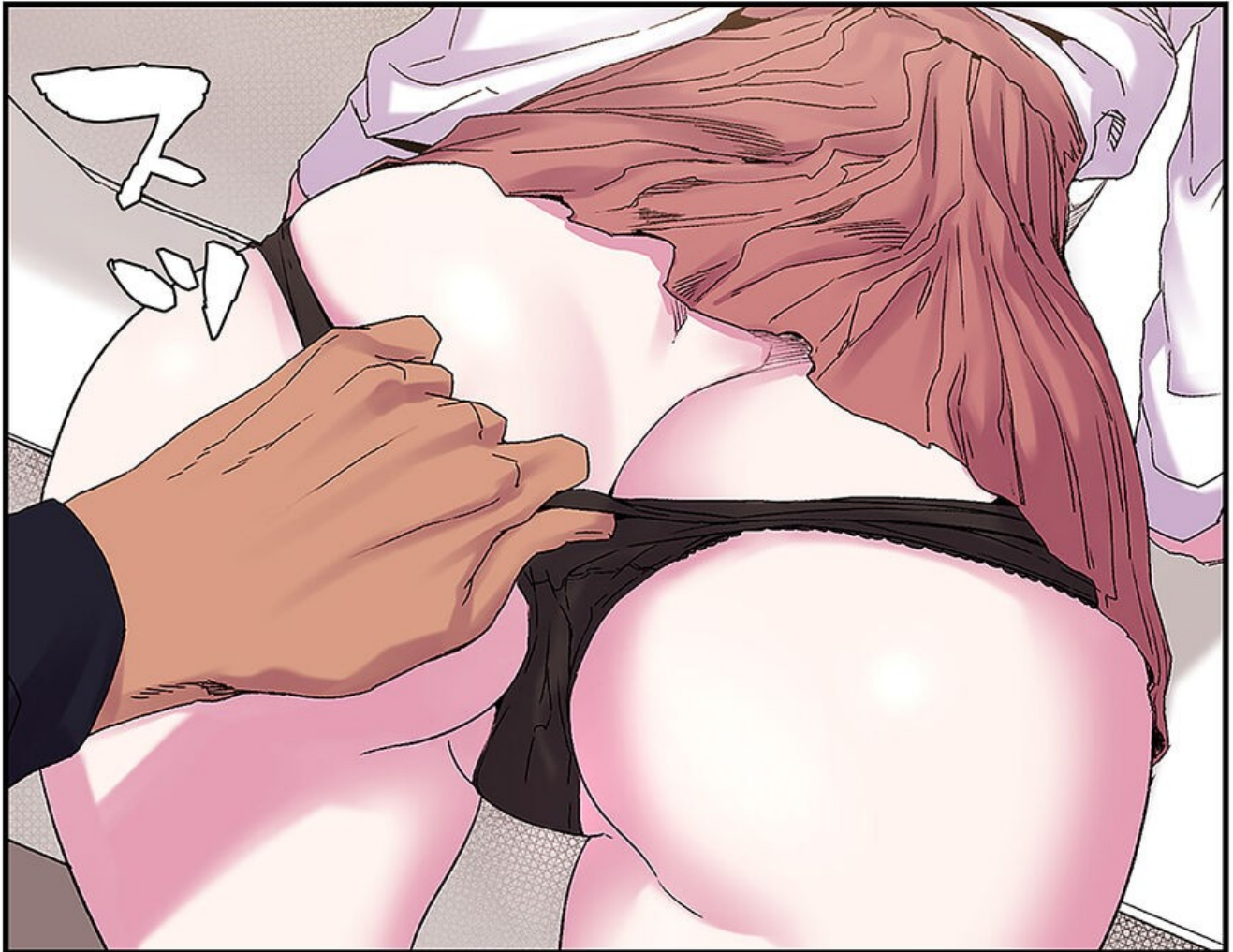


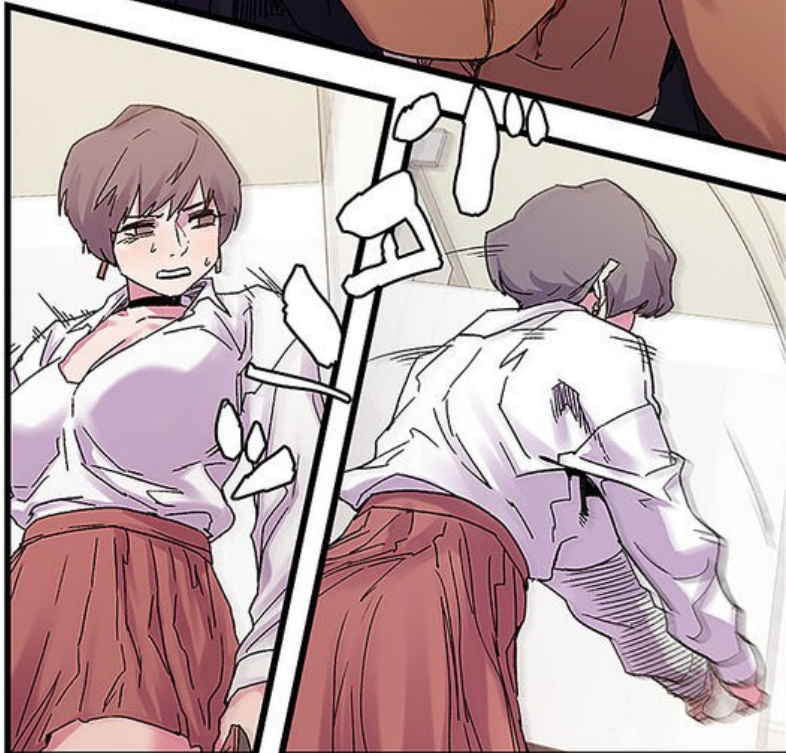
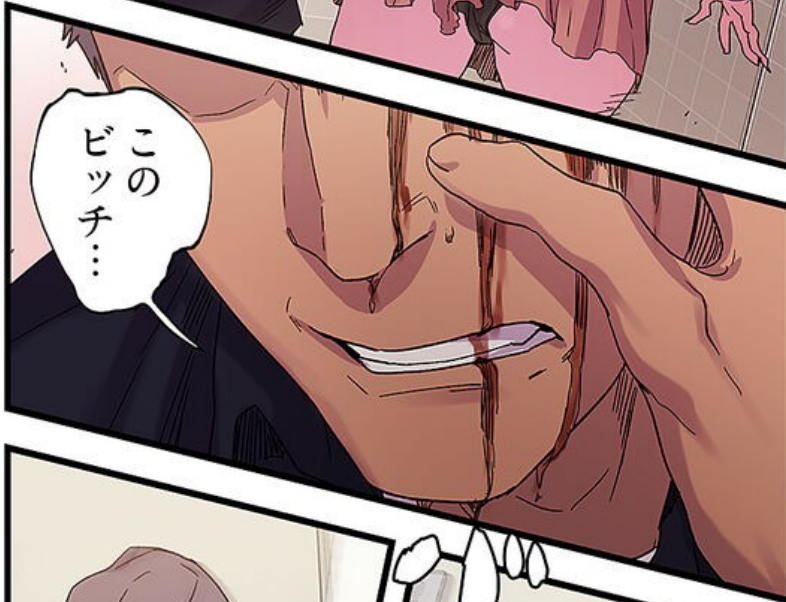
子供の力を
見せてやろうか？

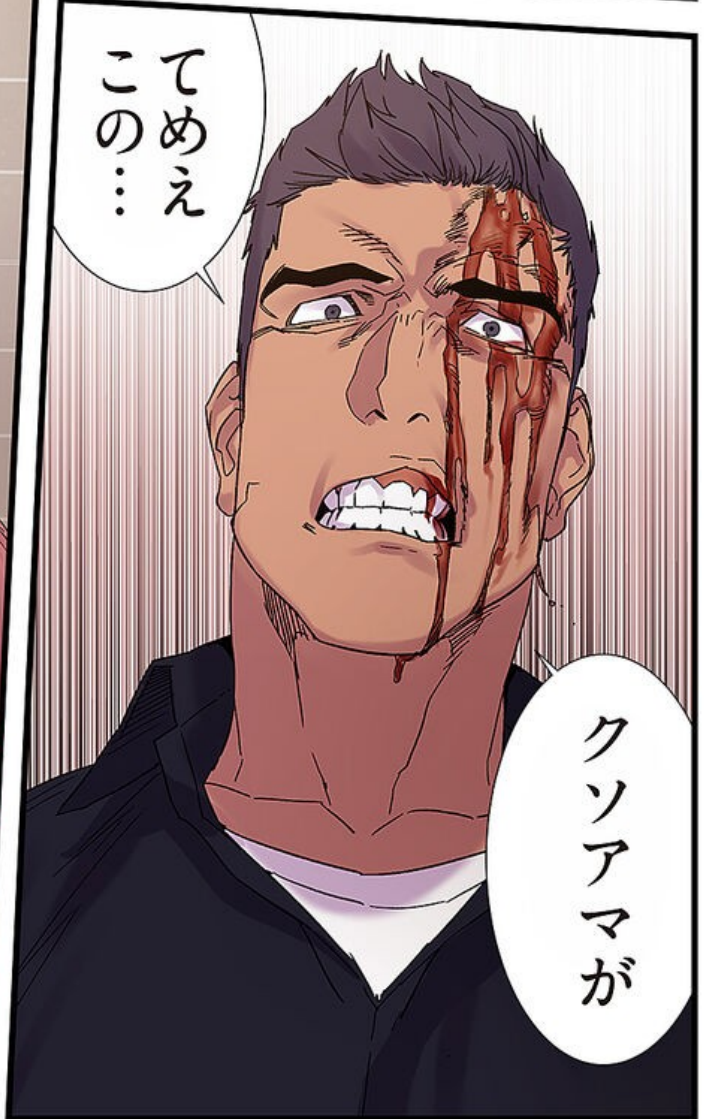
放して
私に変なことしたら
あんたたちのボスが
怒るわよ？

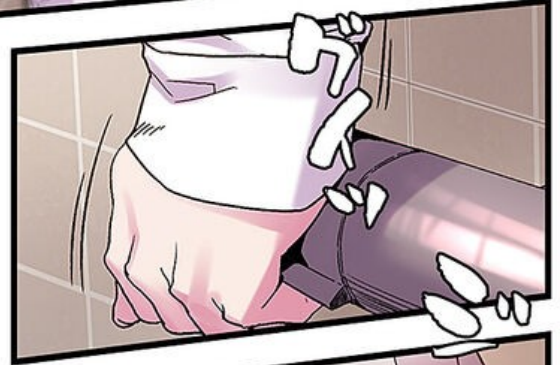
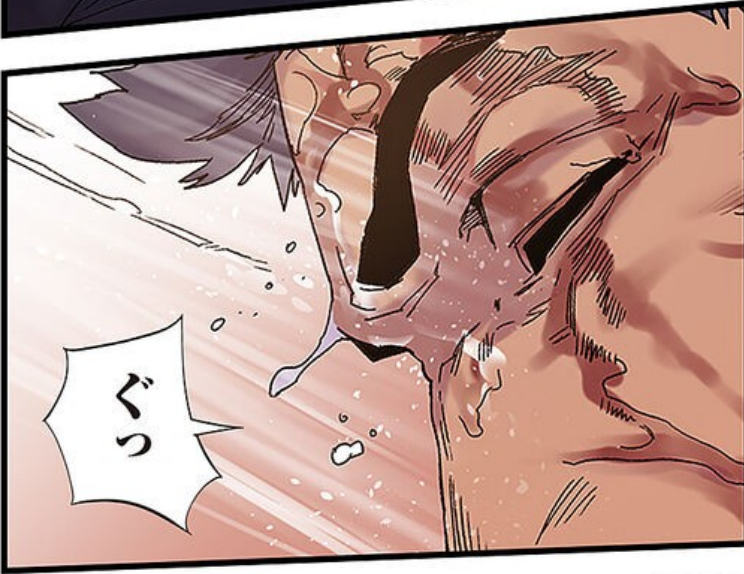


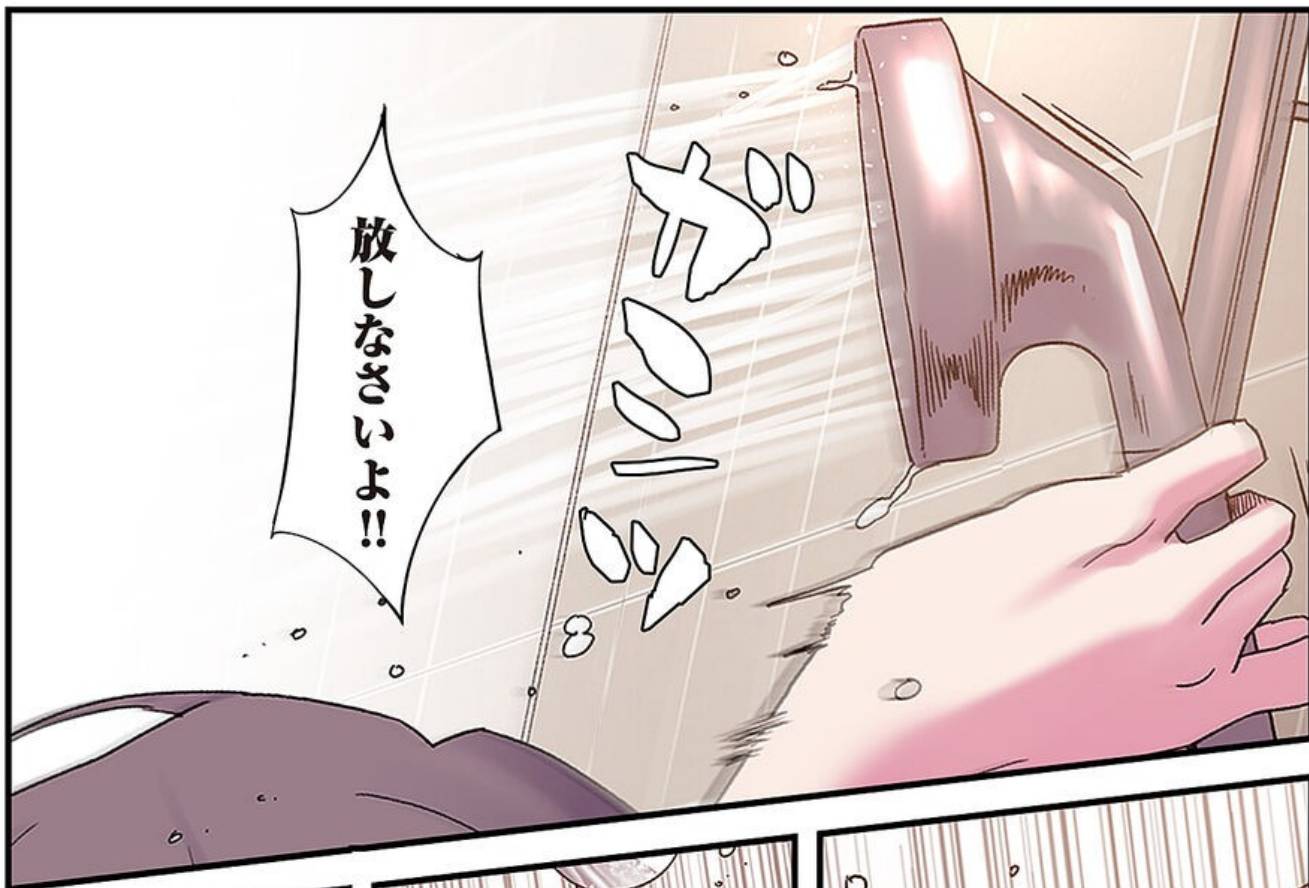


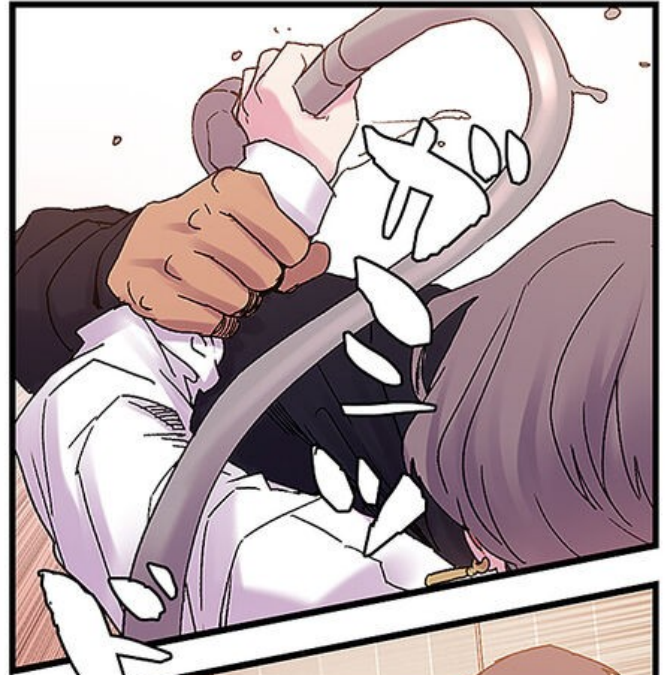


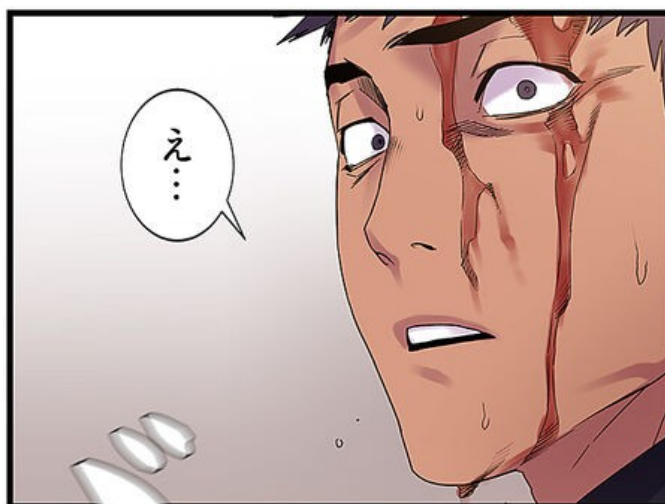
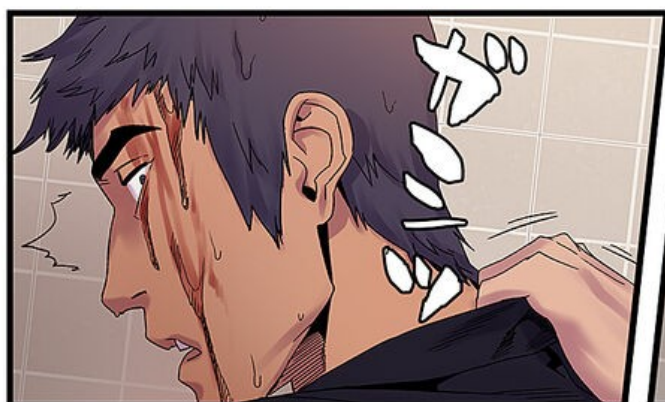
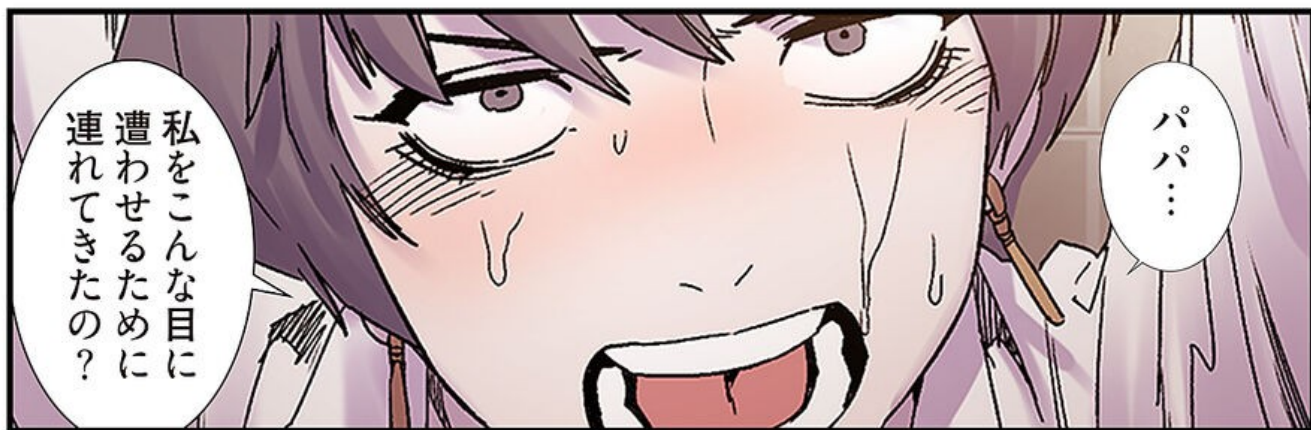






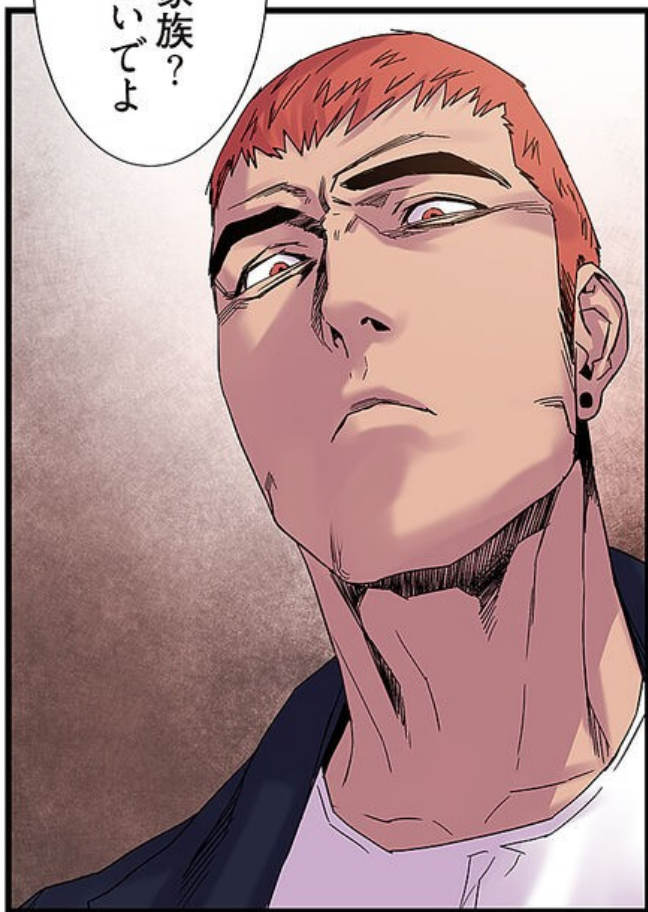








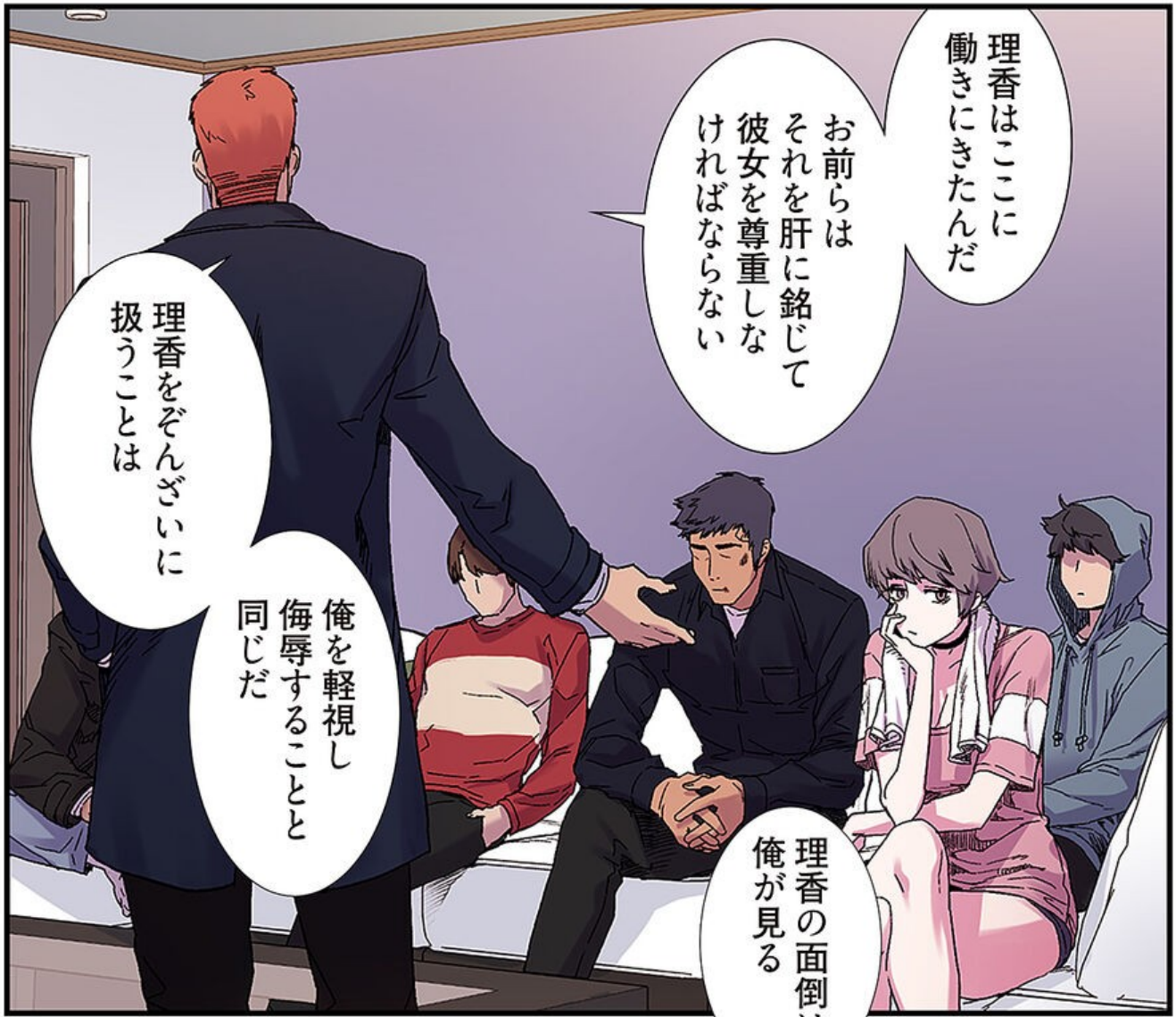
父親？ 家族？
笑わせないでよ



生殘賭博

生殘賭博





理香はここに
働きにきたんだ

お前らは
それを肝に銘じて
彼女を尊重しな
ければならない

理香をどんざいに
扱うことは

俺を軽視し
侮辱することと
同じだ

理香の面倒は
俺が見る



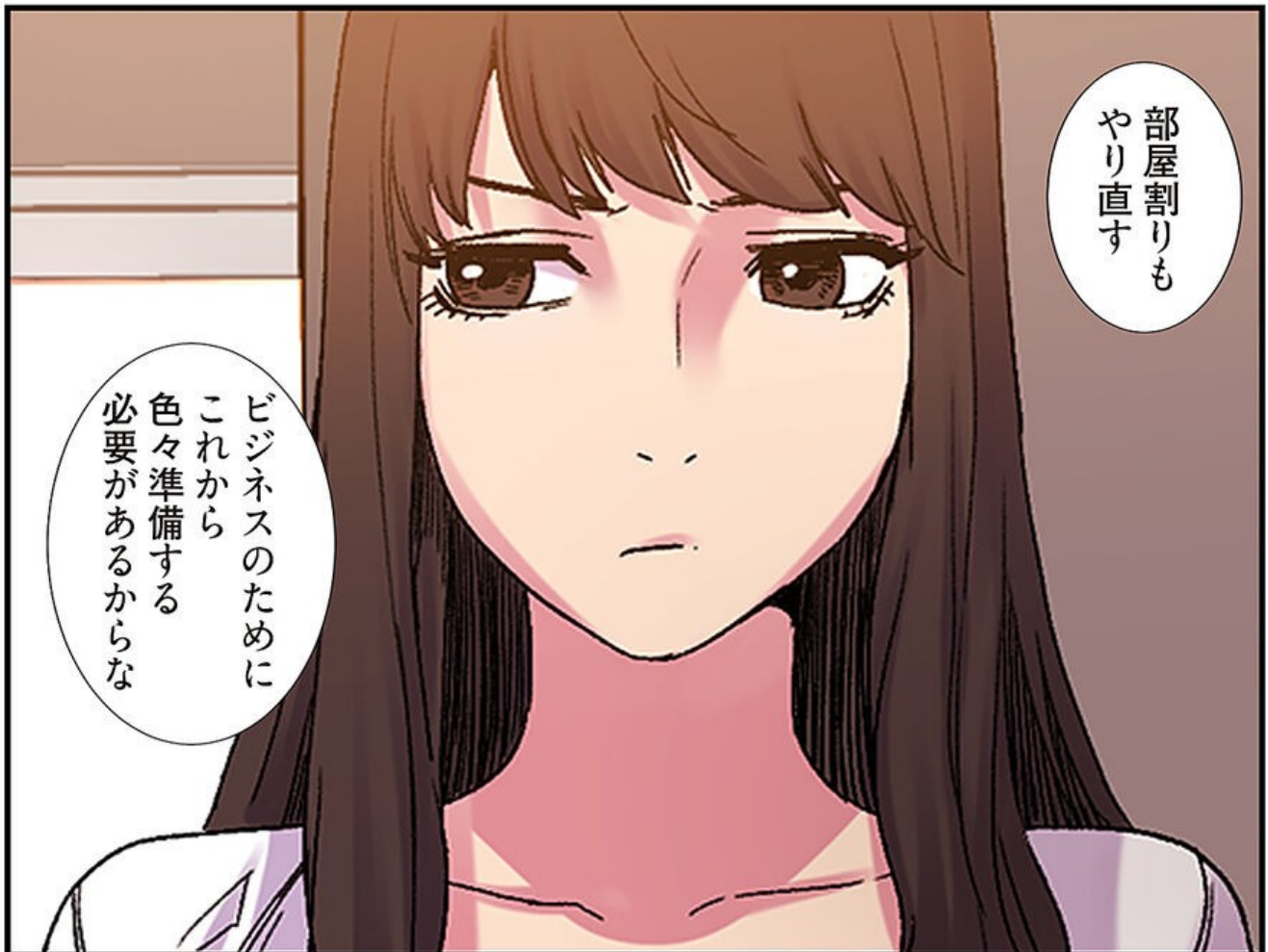
頼む

俺の口から二度と
同じことを
言わせないでほしい



そう約束した
それを俺は何より
優先するつもりだ







俺たちは
もう大人だ

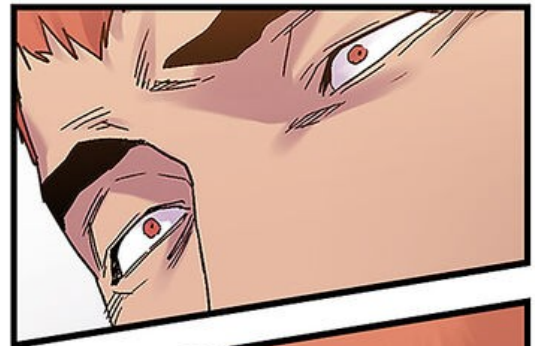
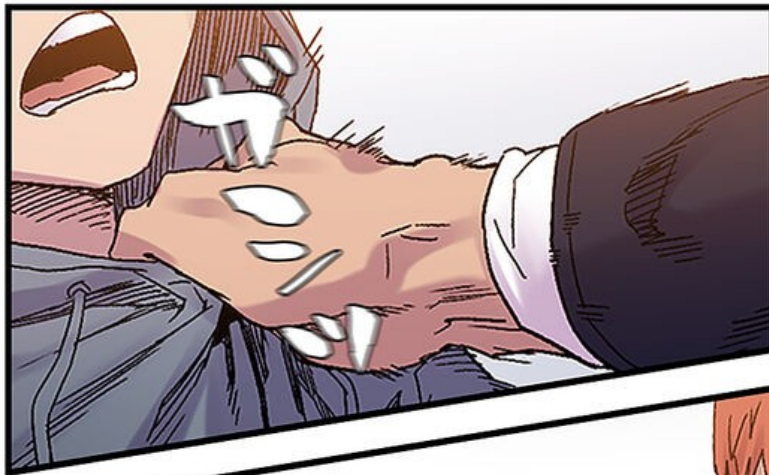
遊びじゃない
計画的に
ビジネスを
始めよう



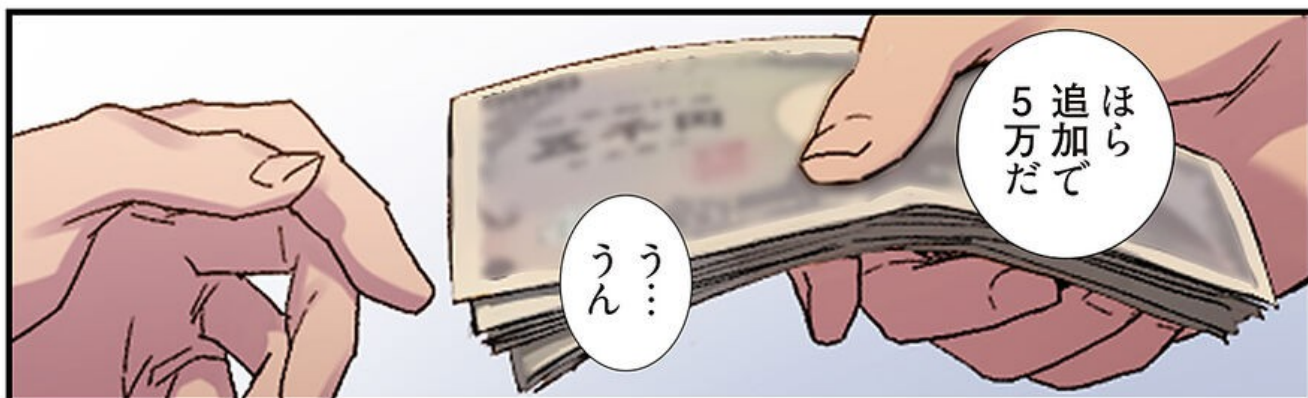
それから
賢司

お前はちよつと
書齋にこい










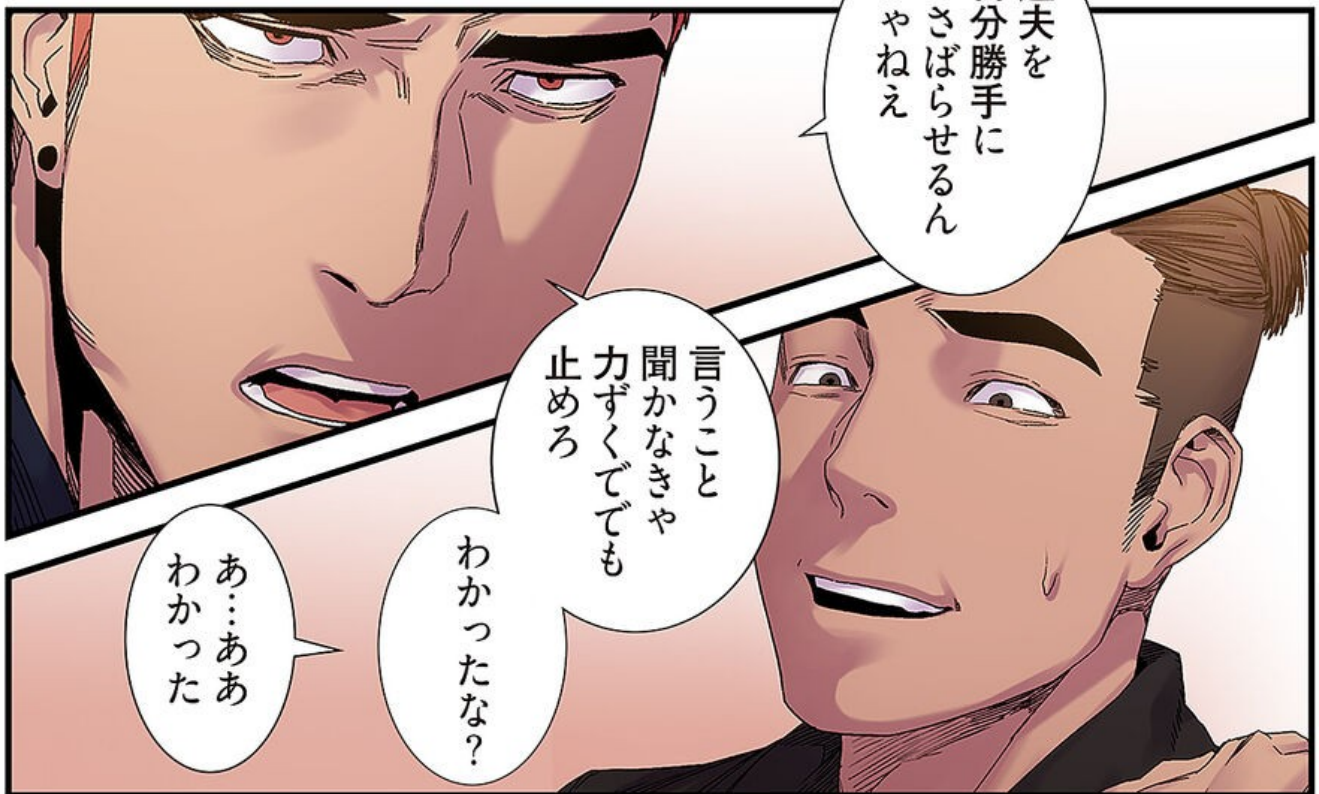
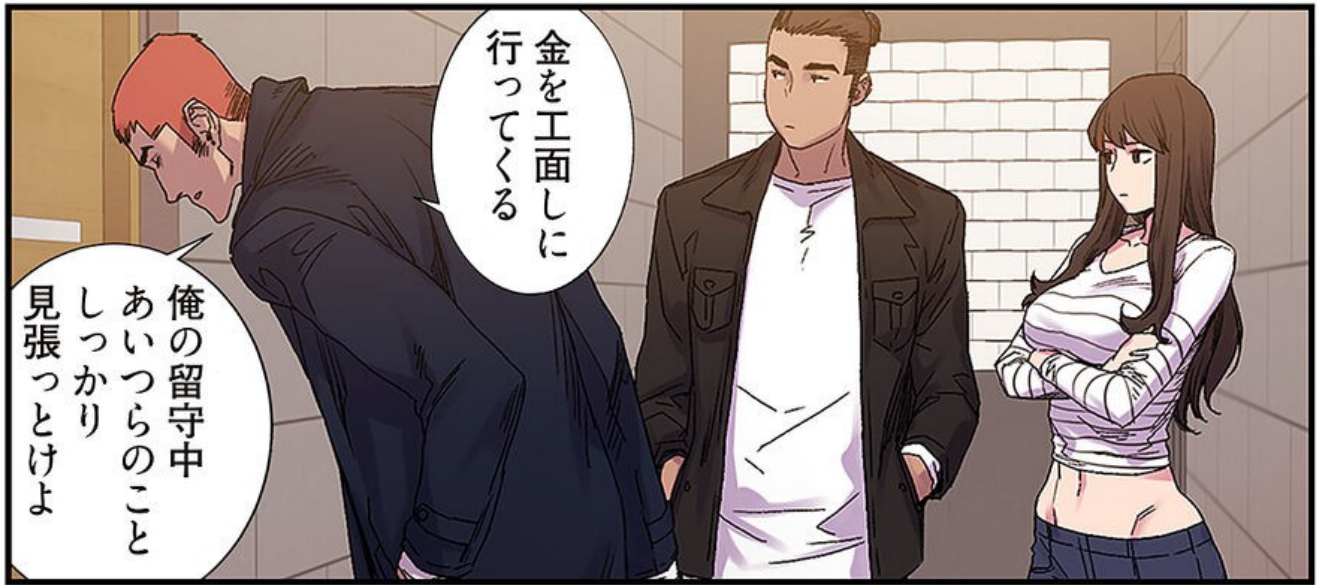


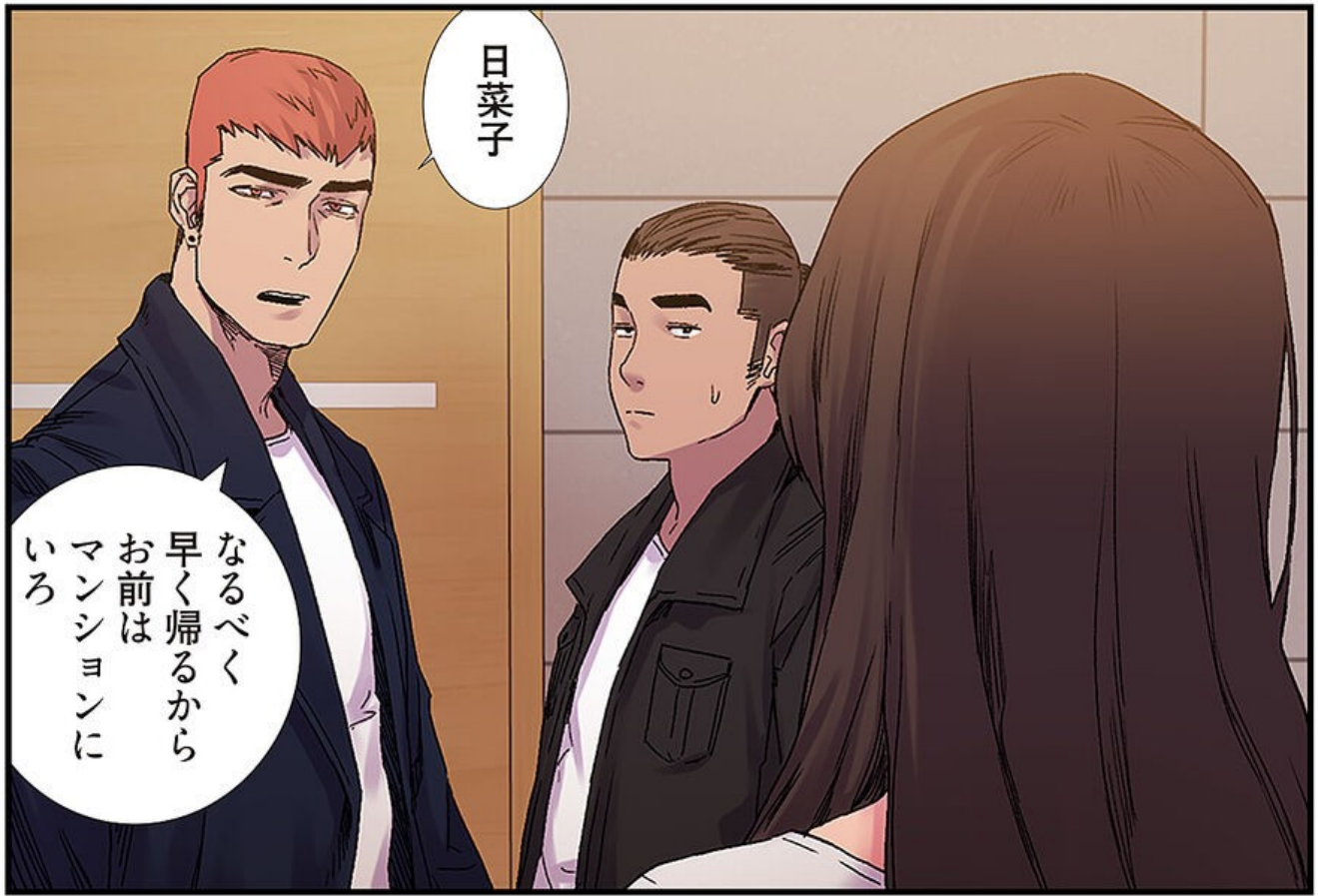
今回は…

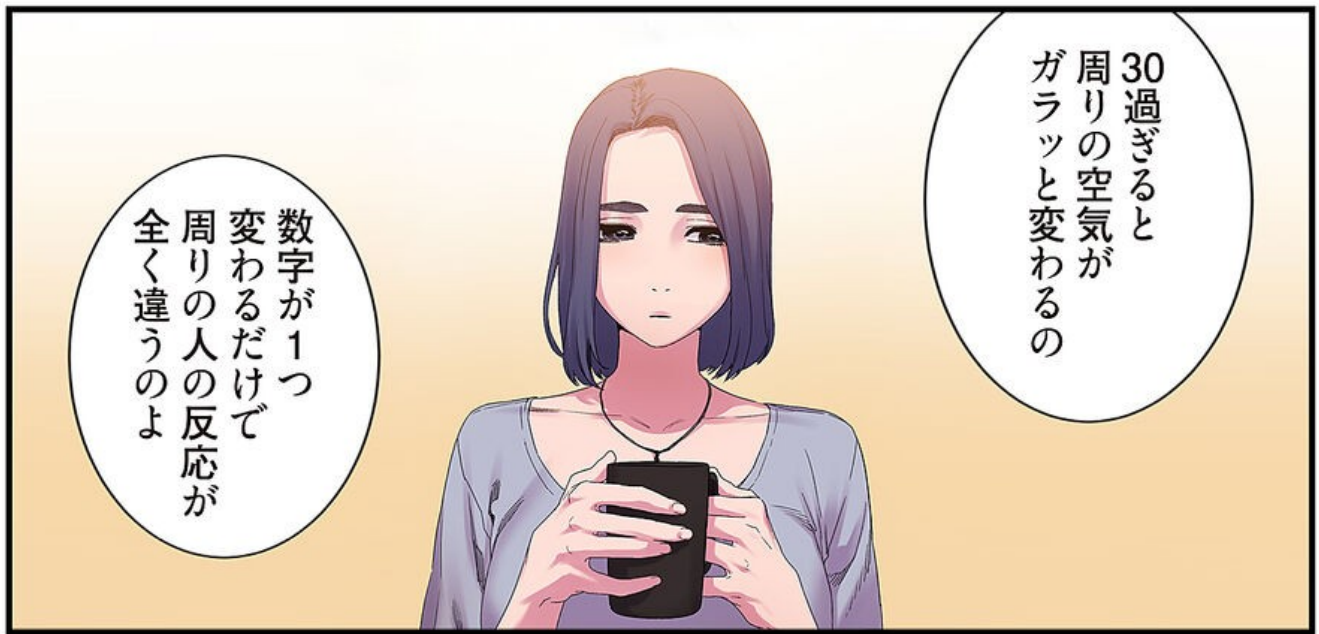


わ…
わかってる…

絶対に
失敗するなよ？







30過ぎると
周りの空気が
ガラッと変わるの

数字が1つ
変わるだけで
周りの人の反応が
全く違うのよ



20代と30代を見る
男共の目は
天と地ほどの
差があるんだから

ほんとに態度が
ガラッと
変わるのよ



結婚は
30過ぎてからでも
いいけど

付き合うんだったら
20代の内がいいわ



朱莉 あんたも
いい男がいないなら
婚活アプリに
登録しなさいよ

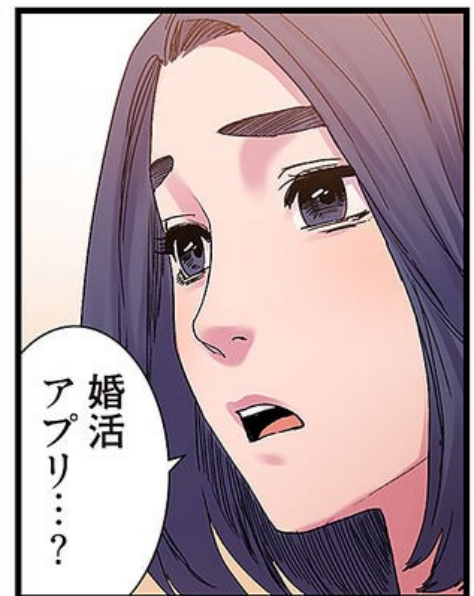


だめよ
今のうちに色々な男と
会っておかなきゃ

朱莉は仕事も
家も問題ないし
外見なんて
最高じゃない!

女は価値が一番高い時に
売っておくのが
ベストなんだから

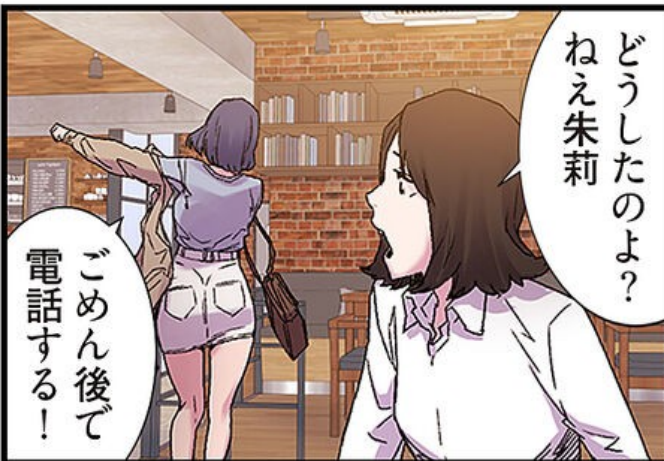
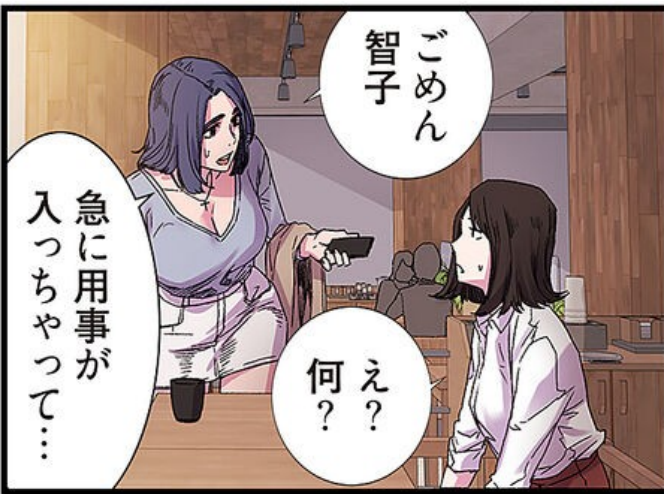
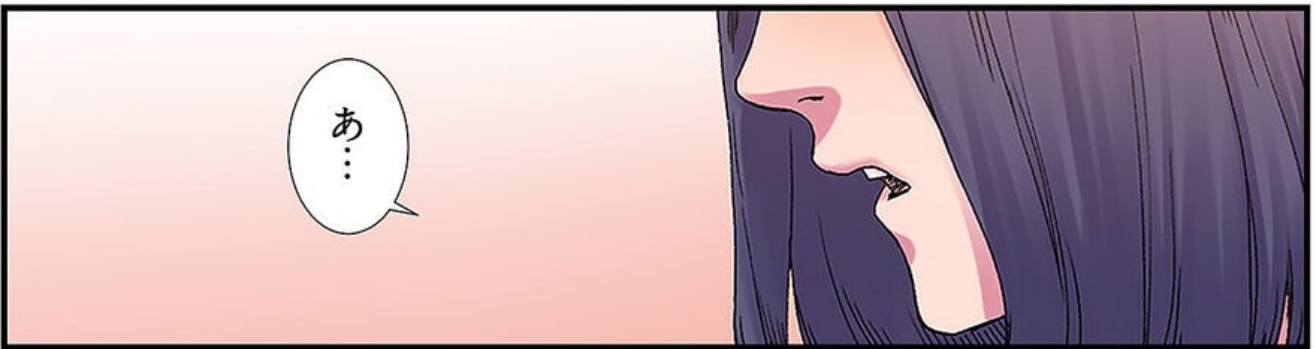
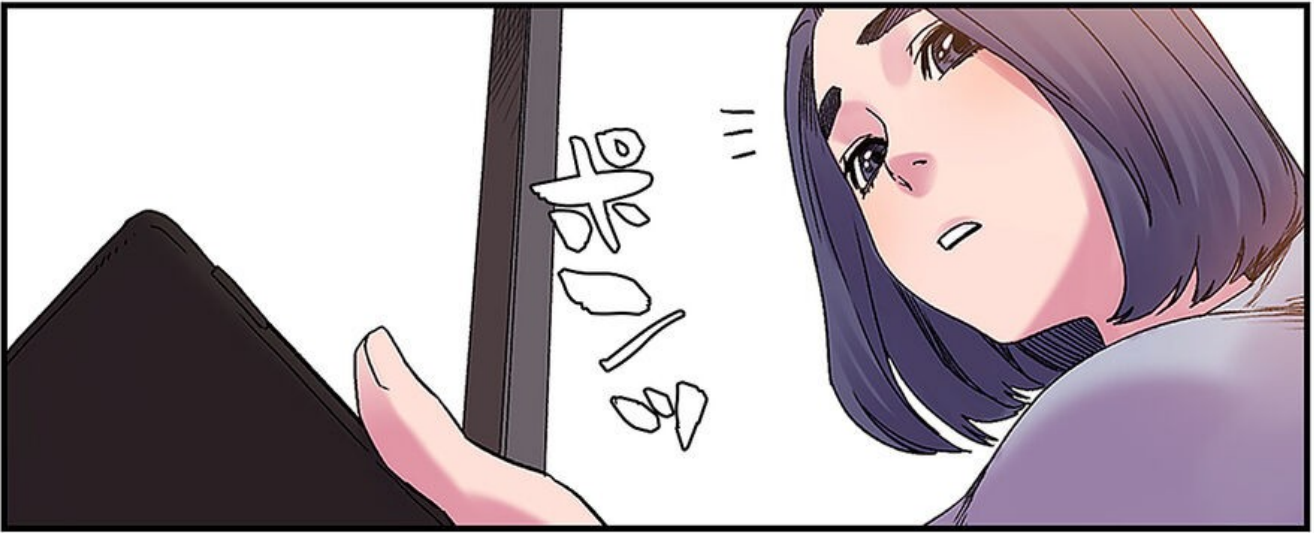
あんたが
その気にさえなれば
きつとすぐに
男なんて長蛇の列よ

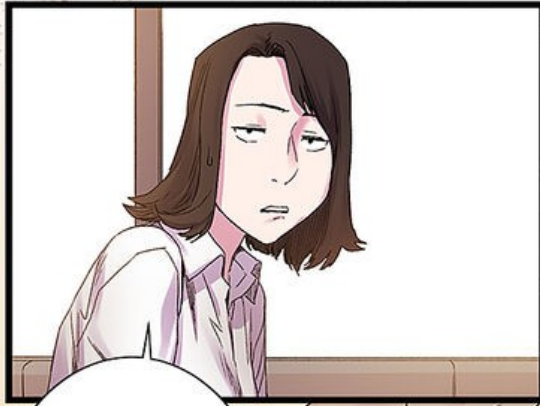


婚活
アプリ...?



もう!
ホントに
興味ないのね





何よ
彼氏からの
呼び出しじや
あるまいし…



